

令和2年度使用

教科用図書採択調査研究資料

《小学校用》

気仙沼地区教科用図書採択協議会

## 目 次

1	国 語	.....	1 ~ 4
2	書 写	.....	5 ~ 9
3	社 会	.....	10 ~ 12
4	地 図	.....	13 ~ 14
5	算 数	.....	15 ~ 20
6	理 科	.....	21 ~ 26
7	生 活	.....	27 ~ 34
8	音 楽	.....	35 ~ 36
9	図画工作	.....	37 ~ 38
10	家 庭	.....	39 ~ 40
11	保 健	.....	41 ~ 45
12	英 語	.....	46 ~ 52
13	道 徳	.....	53 ~ 60

種 目	国語	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	国語		書名	あたらしいこくご									
			東書		101	102		一上	一下	二上	二下	三上	三下	四上	四下	五上	五下
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の目標と内容に即し、単元の始めに学習を通じて身に付けたい資質や能力を「言葉の力」と明確化し、学習の見通しを持つことができるようになっている。</li> <li>○ 「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の単元の流れで、身に付けたい資質や能力を意識して学習することを通して、主体的に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 単元の終わりの「ふり返る」では、振り返りの観点と言葉の力を提示し、児童が学習で身に付けた力を具体的に確認できるようになっている。</li> <li>○ 今日的な社会の変化や児童の実生活に関連した教材を偏りなく取り上げている。また、復宮城県や被災地の復興に関わりのある教材が取り上げられている。</li> <li>○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されている。</li> </ul>																
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習を通じて育成する資質・能力が系統的・段階的に育成されるよう、単元が配列されている。</li> <li>○ 単元の「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の3ステップで組織し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のバランスが適切である。</li> <li>○ 習得すべき知識及び技能が明示されており、基礎的・基本的な内容の確実な定着への配慮がされている。</li> <li>○ スタートカリキュラムに対応し、入門期の児童が楽しく主体的に活動しながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 同じ作者が書いた他の本や多様な図書の紹介、図書館の活用について学ぶ教材を学年段階に応じて設定している。</li> </ul>																
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程における児童の活動や思考の流れを具体的に提示し、指導計画が立てやすい。</li> <li>○ 単元の終わりに「生かそう」を設け、学習したことを他教科や日常生活で生かすことができるよう具体的に観点を示している。</li> <li>○ 学習した話型や文型を単元末の「言葉」で取り上げ、日常生活や作文で使える語彙力や表現力が育つよう配慮されている。</li> <li>○ 児童同士の協働や考えの共有など対話的な学習活動を通じて互いの考えを尊重したり、考えを深めたりすることができるようになっている。</li> <li>○ Dマーク等が配置され、学習の効果を高めるための配慮がされている。</li> </ul>																
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図表、挿絵、吹き出し等を効果的に取り入れ、児童が学習内容を理解しやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 全ての児童にとって読みやすい教科書になるようユニバーサルデザインや特別支援教育への配慮を取り入れている。</li> <li>○ 本文は簡潔で、児童の発達段階に応じて分かりやすい表現を用いている。</li> <li>○ 生き生きとした元気なイラストと明るいデザインが、児童の学びに向かう気持ちを高め、楽しく学習することにつながるよう工夫されている。</li> <li>○ 児童が持ち運びにしやすいように軽量かつ強度に優れた用紙を使用している。また、環境に配慮し、再生紙や植物油インキを使用している。</li> </ul>																

種 目	国語	発行者の 番号・略称	1 1	教科書 の記号・ 番号	国語	書 名	しょうがっこうこくご	一上	一下							
			学校図書		103 104 203 204 303 304 403 404 503 504 603 604		小学校こくご	二上	二下	小学校国語	三上	三下	小学校国語	四上	四下	小学校国語
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元ごとに「国語のかぎ」が示され、言語活動や言語の決まりが系統的に配列されているとともに、協働的な学習が成立するよう「話し合う」学習を明確に位置付けている。</li> <li>○ 学年の発達段階に応じ、季節感を感じたり伝統文化を味わうことができる「小単元」を位置付け、日本語のもつよさを感じられるように工夫している。</li> <li>○ 児童の助けになるような考えをキャラクターの発言として示し、学習の方向性をとらえ学習に取り組むことができるように工夫している。</li> <li>○ 言語活動を通して、論理的な思考力、創造的な思考力、コミュニケーション、追求力等問題解決に必要な力が身につくようバランスよく単元が構成されている。</li> <li>○ 巻頭の「つきたい力」に単元のねらいが明確に示されており、バランスよく配置されていることが分かるだけでなく、関係性や違いを意識して学習を進めることができる。</li> </ul>															
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に学年でつきたい力を一覧表にして示しており、児童が見通しをもって学習することができるような配慮がなされている。また、協働でよりよく学ぶことを意識した構成がされている。</li> <li>○ 単元の目標が明確に示され、「学習のてびき」を活用し児童が主体的に学ぶことが可能となるつくりになっている。</li> <li>○ 大単元と大単元の間、接続詞、文末の違い等、特化した指導を行う小単元が組み込まれており、基礎・基本の確実な定着に向けた工夫がなされている。</li> <li>○ 各領域の内容や言語活動が上下間に配置されており、多様な年間指導計画に柔軟に対応できるような配慮がなされている。</li> <li>○ 幅広い教材を取り上げており、児童の生活や実態に配慮された内容になっている。</li> </ul>															
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小単元での学習を生かして、大単元において主体的で、協働的な学習が成立するよう配列・構成となっている。</li> <li>○ 児童の生活や興味関心がある事柄と関わるような教材を取り上げ、主体的に学習に取り組み自分事として協働的に解決に向かうことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 伝え合う学習において、多様な意見を例示しており、多様性を大事した学習構成が無理なくできるよう構成されている。</li> <li>○ 算数科や社会科等での学習を意識したグラフや人物、事象等が取り上げられ、他教科の学習と関連付け活用することを意識した工夫がなされている。</li> <li>○ 「学習のてびき」や挿絵、ウェブページのアドレス等、分かりやすく配置されている。</li> </ul>															
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達段階に応じた表記や表現がなされており、加えて、ユニバーサルデザインの観点からの配慮がなされている。</li> <li>○ 物語の世界や事象をイメージしやすいような挿絵や写真が効果的に配置されている。</li> <li>○ 発達段階に応じた活字の大きさになっており、無理がない。用紙の色合いや印刷にも配慮がなされる。</li> <li>○ 図表等の大きさ配置においては、文章を読み取る上で効果的に配置され、視覚的な理解につながるよう配慮されている。</li> <li>○ 各学年、上下間に分冊され、特に国語科の教科書は、毎日使用するものであるため、軽量で堅ろうであることがありがたい配慮である。</li> </ul>															

種 目	国語	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	国語 105 106 205 206 305 306 405 406 505 506 605 606	書 名	ひろがることば しょうがくこくご 一上 一下 ひろがることば 小学国語 二上 二下 ひろがる言葉 小学国語 三上 三下 ひろがる言葉 小学国語 四上 四下 ひろがる言葉 小学国語 五上 五下 ひろがる言葉 小学国語 六上 六下
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の目標に則し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性等」を一体的に育成できるよう内容が工夫されている。</li> <li>○ 学習過程を明確にした教材を配置するとともに、重点的に扱う学習の過程を設定して、効率的に知識・技能を学べるように工夫されている。</li> <li>○ 各巻の冒頭に1年間の学習内容や身に付ける力が示されており、児童が見通しをもって学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 多様で活発な言語活動で作品が教材化されており、生活のさまざまな場面で生きて働く力となるための配慮がなされている。</li> <li>○ 各領域の指導事項と言語事項が偏りなく満遍なく取り上げられており、出所や出典も明らかである。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材の特性を生かすために、単独の教材での単元、複数教材を組み合わせた融合的単元との組み合わせで学習の効果が上がるように工夫されている。</li> <li>○ 単元の目標や学習過程が明確化されており、ねらいに沿った学習活動ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 領域ごとの学習事項では、学んだ学習内容を繰り返すことで上達し、学びを積み重ねることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習の流れを踏まえ、知識・技術の向上に活用できるよう、単元と単元の間に小単元的な教材を配置し、次につながるスキルを身に付けるよう工夫されている。</li> <li>○ 防災教育や食育等の今日的課題に結びつくものを取り上げており、児童の生活や地域の実態に適合できるようになっている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「読むこと」の領域の単元では、導入に学習のねらいに沿った言語活動を行い、基本的な知識や技能を習得し、活用させるための工夫がされている。</li> <li>○ 学習過程の中に、見通しと振り返りが位置づけられていること、各教材に学び合いの場が設けられていることで主体的・対話的な学習に繋がるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻末の付録に既習事項や発展的な教材が示されており、児童それぞれの課題にあった学習ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 他教科と同じテーマについて、国語科としての見方・考え方を働かせることで論理の展開や思考の組み立てなど、学びの基礎を育むよう工夫している。</li> <li>○ 単元の後に手引きのページが配置され、単元のねらいと、それに合わせた学習過程が具体的に示されており児童が学習しやすいよう配慮されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年の教材文に常体と敬体が入り入れられており、児童の発達段階に応じて、読みやすい表記や表現になるよう配慮されている。</li> <li>○ 表紙絵が2学年ずつ同じテーマできれいな色彩で描かれており、児童が親しみやすいように工夫されている。</li> <li>○ 児童の発達段階に合わせて読みやすい文字の大きさになっており、大事な所を色分けするなど、視覚的な面で工夫が見られる。</li> <li>○ 図や表、写真や絵を用い、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などが工夫されており適切に配置されている。</li> <li>○ 再生紙と植物油インキを使用しており、環境への配慮がなされている。表紙には耐久性を高める加工が施されており、堅牢な製本となっている。</li> </ul>						

種 目	国語	発行者の 番号・略称	38	教科書の 記号・番号	国語 107 108 207 208 307 308 407 408 507 607	書 名	こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぽぽ こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造
			光村				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活の人との関わりの中で思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や創造力、判断力を高めていくことができるよう内容が工夫されている。</li> <li>○ 学習指導要領に示された言語活動例が、低・中・高学年それぞれの段階でもれなく扱えるようにし、育成をみざす資質・能力が明確になるよう教材が作成されている。</li> <li>○ 学習に臨む際に全体を見通す、振り返るなどの場面を設定したり、見開きページで学習活動を一覧できたりするなど、主体的な学びが引き出せる構成になっている。</li> <li>○ 精選された人間の姿を多様な角度から描いた優れた文学的文章、また、たゆまぬ探究心から取り組む姿やその成果をまとめた説明的文章などが、数多く掲載されている。</li> <li>○ 児童を取り巻く環境に合致した教材や、伝統文化や環境など多様な分野から偏りがなく教材が取り上げられており、資料の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知識及び技能」の習得・活用・探求が繰り返されながら着実に身に付けられるように、教科書全体の構成が工夫されている。</li> <li>○ 学習のまとめりごとに身に付けたい力と言語活動を明確にし、明示するとともに、学習を理解するためのポイントを巻末に示すなど、配列が工夫されている。</li> <li>○ 「たいせつ」「いかそう」で、着実に学びを積み重ねていくために、学びの軌跡を確かめ、身に付けた力を他教科や日常生活で生かすことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 特定の時期に偏ることがないように、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の育成をみざして設定された教材が単元と小単元を適切に配分し配置されている。</li> <li>○ 地域差を避け、国際的視野が育つように話題・題材が工夫されているとともに、学習活動や学校生活とも有機的な関連がはかれるように設定されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語活動及び指導事項については、学年を越えて繰り返し体験できるように工夫され、また、身に付けた技能がどのような場面で活用できるか示唆されている。</li> <li>○ 「対話の練習」を通し、身近な課題に対しての必要なスキルを身に付け日常生活に生きる対話の力を育むことができるようになっている。</li> <li>○ 感想や評価を述べるときに使う語彙を豊かにし、表現力を身に付け、深く考えさせるようにするために、巻末に「言葉の宝箱」が設けられている。</li> <li>○ 新学習指導要領での「情報の扱い方に関する事項」に特化できるよう「情報」の系列が設けられ、各教科や各領域の学習活動と密接に関連できるようになっている。</li> <li>○ 巻頭や巻末付録には、学んだことの整理や並行読書、自習学習の助けとなるような資料・教材が工夫されている。また、二次元コードによるデジタル教材も設定されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正しい表記が身に付くように、全学年にわたって表記の基準が統一されている。また、分かち書きについては、2学年の中で通常の書き方に移行するなど、発達段階に配慮している。</li> <li>○ 美しく、楽しく想像を広げられるような挿絵や、児童の想像を助ける資料などが提示され、興味関心が高められるよう配慮されている。</li> <li>○ 本文は書き文字に近い書体で書いてあり、はっきりと見せたい箇所や読みやすさが必要な箇所には、独自の書体を使用している。</li> <li>○ 写真やイラストは、境目がはっきり分かるようになっており、紙面の見やすさ、また、文章の読みやすさに配慮されている。</li> <li>○ 表紙は耐久性を高める加工が施され、製本は堅ろうである。印刷は、環境への負荷に配慮し、重量が軽く色の裏写りが少ない用紙と植物性インキを使用している。</li> </ul>						

種 目	書写	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	書写101	書 名	あたらしいしよしゃ 一
			東書		201		新しいしよしゃ 二
					301		新しい書写 三
					401		新しい書写 四
					501		新しい書写 五
					601		新しい書写 六
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるような内容になっている。</li> <li>○ 単元の始めに「見つけよう」を配置し、身近な硬筆の文字から課題を見出し、文字を整えて書くための原理・原則を見付けることで、児童が主体的に学ぶことができるようになっている。</li> <li>○ 単元ごとに「書写のかぎ」を設け、指導事項を簡潔に示し、学習のねらいを明確にしている。</li> <li>○ 活用単元を設け、学習したことをどのように役立てるのか具体的にイメージでき、書写の日常化に役立てられる。</li> <li>○ 単元ごとに「書写のかぎ」を設け、指導事項を簡潔に示し、学習のねらいを明確にしている。</li> <li>○ 国語の教科書で扱う教材文や言語活動を取り上げることで、国語の授業と合わせた効果的な指導をすることもできる。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書写で身に付ける知識・技能を「書写のかぎ」として系統的に整理し、単元ごとに配置されている。</li> <li>○ 硬筆で発見した課題を毛筆で確認し、再度硬筆に生かす課題解決型の学習展開構成になっている。</li> <li>○ 全学年で学習の姿勢や準備の指導を丁寧に扱っており、繰り返し確認し定着できるようになっている。</li> <li>○ 毛筆教材と硬筆教材の配分や指導の順番が適切である。</li> <li>○ 「集めて使おう、書写のかぎ」でインデックスにカテゴリーを示すことで、系統性を意識できるようになっている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語や他教科と関連している教材には、教科関連マークを付けて意識付けを図り、学習したことを広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「ふり返って話そう」では、学習したことを言語化することで確かな学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>○ Dマークのある単元では、学習に役立つデジタルコンテンツを活用することができ、書写が得意ではない指導者の助けになる。また、児童にとっても筆使いを繰り返し再生し確認することができる。</li> <li>○ 「生活に広げよう」では、学習したことを日常の生活に役立てることができるようになっている。</li> <li>○ 小中の関連として、文字の歴史で行書を扱ったり、中学校に向けて話し合う活動を無理なく取り入れている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 点画を分解し、それぞれ色を変えることで、どこまでを一筆で書くのかを理解しやすくしたり、書き始めと書き終わりに記号を付けたりするなど、全ての児童が学びやすいユニバーサルデザインを取り入れている。</li> <li>○ AB版の紙面を活用して図版が大きく、書き込み欄が充実している。</li> <li>○ 左利きの児童への配慮や色覚多様性への配慮がなされている。</li> <li>○ 毛筆教材文字のページは、半紙の縦横比率に合わせてあるので、半紙での配列の参考になる。</li> <li>○ 用紙は、鉛筆で書き込みがしやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを使用している。また、環境に配慮した再生紙や植物油インキを使用している。</li> </ul>						

種 目	書写	発行者の 番号・略称	11	教科書の 記号・番号	書写 102	書 名	みんなとまなぶ しょうがっこう しょしゃ 一ねん
			学図		202		みんなと学ぶ 小学校しょしゃ 二年
					302		みんなと学ぶ 小学校 書写 三年
					402		みんなと学ぶ 小学校 書写 四年
					502		みんなと学ぶ 小学校 書写 五年
					602		みんなと学ぶ 小学校 書写 六年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」「振り返ろう」の4段階で構成されており、学習を通じた自分の成長が実感できるつくりになっている。</li> <li>○ 「書写のかぎ」に「確かめて」書く、「考えて」書くための観点が示してあり、児童が何を学習するか具体的にとらえ取り組むことができるような配慮がなされている。</li> <li>○ 学習したことを生かす場面や、人気があるアーティストの歌詞等児童の興味・関心をひく題材を取り上げ、主体的な学習が期待できる構成になっている。</li> <li>○ 学年相応の内容と量の単元になっている。学習を生かして取り組むための学習が設定されており、活用と発展がなされる津こりになっている。</li> <li>○ 用具の名前や使い方、書くときの姿勢等、学び初めだけでなくどの学年にも示し、題材が変わっても繰り返し適切な指導がなされるよう工夫されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前学年で学習したことの確認から始まり、学年の系統性や、単元の配列に無理がない。6学年においては進学を見据えて行書への挑戦も位置付けられている。</li> <li>○ ねらいがページの初めに明確に示されているとともに、毛筆の学習をしっかりと硬筆に生かせるような構成になっている。</li> <li>○ 教科書を使って学習した基礎・基本を活用する学習が、「振り返ろう」で短い時間でできるように工夫されている。</li> <li>○ 2学年ごとのまとまりを意識した内容と分量になっており、各校の実態に応じた柔軟な年間指導計画が可能である。</li> <li>○ ポスターや色紙等、書写の学習を生かした発展例が示してあり、児童の日常の生活に自然とつながるような配慮がなされている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4段階の学習過程が、書写の技能の確かな育成になるのみならず、考えて書くことを位置付けていることにより、思考力や判断力の育成も可能となる構成になっている。</li> <li>○ 対話のヒントがキャラクターの会話の中に示されており、これらを活用して技能教科である書写においても対話的な学習が可能となるよう工夫されている。</li> <li>○ 書き込み欄が豊富に設定され、学習したことが日常生活・学校生活の中で生きるよう構成されている。</li> <li>○ 他教科と関連した内容を取り入れ、書写の学習が他教科の興味関心を高めたり、確かな理解につながるよう関連付けられている。</li> <li>○ 児童の関心や意欲が高まるよう、挿絵や写真が効果的に配置されている。出典についても適切な大きさの活字で明記され分かりやすい。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年においては分かち書きにするなど発達段階に応じた表記・表現がなされており、分量としても無理がない。</li> <li>○ 他教科の学習や児童の学校生活と関連した題材が教材化され、楽しんで書写の学習に取り組むことができるような配慮がなされている。</li> <li>○ 使われている活字は読みやすく、印刷は鮮明である。ほどよく空間も保たれており、余白の美を意識させることができるつくりである。</li> <li>○ 4段階の学習過程が分かりやすいレイアウトになっている。毛筆教材については原寸大の手本であり、文字の大きさも意識して書くことができるつくりになっている。</li> <li>○ 軽量で、扱いやすい。再生紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮もなされている。</li> </ul>						



種 目	書写	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	書写 103	書	しょうがく しょしゃ 一ねん
			教出		203		小学 しょしゃ 二年
					303		小学 書写 三年
					403		小学 書写 四年
					503	名	小学 書写 五年
					603		小学 書写 六年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の指導事項を踏まえ、児童の発達段階に応じた各学年の重点指導事項が系統的に示されている。</li> <li>○ 日本語の美しさを味わわせ、文字への興味・関心を高めたり、活字と手書きの違いに気づかせ、伝統文化に触れ国語を尊重する態度を養うよう工夫されている。</li> <li>○ 各学年の学習内容が巻頭に明示され、見通しを持って学習できるよう配慮されている。また、「考えよう」で学習課題が示されることより課題意識を持って主体的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 第2学年以上に「はてん」のコーナーがあり、第3学年では毛筆、第6学年では行書体など先の学習を示すことで意欲付けを図っている。</li> <li>○ 国語の教科書と関連した古典文学が取り上げられており出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毛筆の学習で学んだ文字を、次に硬筆に生かすという流れになっており学習の効果を上げる配慮がされている。</li> <li>○ 学年ごとに「めあて」が設定されており、学ぶことが明確になっている。また、学習を見通すことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字の正しい書き方を理解し、習得するために、姿勢、筆使いなどの基礎的・基本的な学習内容を写真や図版を使い、簡潔な解説を添えるなど工夫している。</li> <li>○ 各学年に発達段階や語彙・言語環境を考慮した教材の分量になっており、限られた時間の中で効果が上がるように配慮されている。</li> <li>○ 地域への手紙、リーフレット等、児童の生活に根ざした内容を取り扱っている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「鉛筆の持ち方」「用具の扱い方」の基礎的・基本的な知識と技能を押さえ、普段の生活や学習において主体的に実践できるような構成となっている。</li> <li>○ 教科書の冒頭に「学習の進め方」が示されており、見通しを持って主体的に学習できるよう工夫されている。また、書写の学習用語が提示されていることにより、対話的な学びの場面で活用できるようになっている。</li> <li>○ 運筆の力を高めたり、書き誤りやすい文字を練習できるように第1学年の巻末には、水書用紙が付いている。</li> <li>○ 「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」のページが設定されており、習得した書写の力を学習活動や日常生活に活用できるように工夫されている。</li> <li>○ ウェブサイトのアドレスを目次に掲載し、学習に役立つ情報が提供されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運筆方法を具体的な言葉で示すなど、平易で簡潔な文章用言がされている。</li> <li>○ 運筆を表すイラストは親しみやすい動物が「トン」「すうっ」などの動作で表され、イメージを持って楽しく理解できるようになっている。</li> <li>○ 手書き文字に近いユニバーサルデザインフォント書体を用いている。また、判読しやすい配色が施されている。</li> <li>○ 見開きを基本とした使いやすいレイアウトになっている。また、姿勢図、用具の取り扱い方が鮮明なカラー写真を用いて見やすい大きさを示されている。</li> <li>○ 表紙は撥水加工がされており、水や墨汚れに強い作りとなっている。また、環境に優しい再生紙と植物油インクが使用されている。</li> </ul>						

種 目	書写	発行者の 番号・略称	38	教科書 の記号・ 番号	書写 104 204 304 404 504 604	書 名	しよしゃ 一ねん しよしゃ 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年
			光村				
1 内容に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された「我が国の言語文化に関する事項」の「書写」の指導を全て網羅できるように、単元・教材が作成されている。</li> <li>○ 各学年に国語科との関連教材を2か所以上設け、言語活動を通し日常生活や他教科でも生かせる知識・技能が習得できるよう工夫されている。</li> <li>○ 3年生以上の各教材に「学習の進め方」が示されており、児童が見通しを持つことで主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 各学年段階で求められる「書く力」を確実に身に付けられるように、習得と活用を繰り返しながら螺旋的に高められるように工夫されている。</li> <li>○ 親しみのもてるスポーツ選手の言葉や、言葉としても価値のある教材文字を選択することで、偏りなく取り扱っており、出所や出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毛筆を硬筆の基礎と捉え、毛筆学習の後に硬筆課題を設け、身に付けた力を日常生活に生かせるように工夫されている。</li> <li>○ 1つの教材につき1つの目標とし、そのまま教材名とし、指導内容を焦点化することでねらいが明確になり、効果的に力をつけられるよう配慮している。</li> <li>○ 2年以上の全教材に「たいせつ」を設け、基礎・基本がひと目で分かるようになっている。また、6年には「書写ブック」を設置し、書写の学習で身に付けた力を学習場面や日常生活で生かせるよう工夫されている。</li> <li>○ 算数や生活など、他教科との関連教材が豊富にあり、教科横断的な学習が進めやすく、柔軟な年間計画が可能である。</li> <li>○ 家の人に招待状を書いたり、や地域の文化について新聞にまとめる活動を通して家庭や地域社会と連携が図れるように構成されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全教材の末尾に鉛筆でなぞる自己評価欄「できたかな」「ふり返ろう」が設けてあり、簡単に学習目標に対しての自己の成長を確認できるように工夫されている</li> <li>○ 3年生には自己評価や相互評価に活用できる「たしかめようシール」が用意され、友達との対話を通し、互いの学びが実感できるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習のポイントを示す箇所や、理解を助け課題解決のヒントを与えてくれるキャラクターなど、紙面を構成する要素が明確になっていることで児童の多様な特性に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「横書きの書き方」や「英語で書いてみよう」「原稿用紙の使い方」など、身に付けた力が他教科で生かせる教材が各学年で設けられるよう工夫されている。</li> <li>○ 用具の準備・片付けや、いい姿勢を維持するための「しよしゃ体操」など、学習活動に役立つ動画資料が配置されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の発達段階に応じた分かりやすい文章で表記されている。</li> <li>○ 分かりやすい図やイラストが適所に用いられ、児童の理解の助けとなるだけでなく、親しみをもちながら、学習意欲を高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 鮮明で明確な色調で印刷されており、単元名・教材名や「たいせつ」には、ユニバーサルデザイン書体を用い、読みやすさと見やすさに配慮している。</li> <li>○ 限られた時間で指導できるように、教材文字が大きく示され、またそれに付随する要素は小さく示されることで、めりはりのある構成になっている。</li> <li>○ 表紙は撥水コーティング加工が施され、製本は針金を3カ所に施した中綴じで長期の使用に耐えられるように配慮されている。また、再生紙や植物性インキの使用等、環境にも配慮されている。</li> </ul>						

種 目	書写	発行者の 番号・略称	116	教科書の 記号・番号	書写 105	書 名	しょうがく しょしゃ 一ねん
			日文		205		小学しょしゃ 二年
					305		小学書写 三年
					405		小学書写 四年
					505		小学書写 五年
					605		小学書写 六年
1 内容に 関すること							<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領を踏まえ、「三つの柱」や2学年のまとまりごとの基礎的・基本的な学習内容を重視し、知識・技能を確実に習得できるよう系統立っている。</li> <li>○ 日本語の美しさを味わわせ、文字への興味・関心を高めたり、活字と手書きの違いに気づかせ、伝統文化に触れ国語を尊重する態度を養うよう工夫されている。</li> <li>○ 低学年では「この教科書の使い方」、中学年以上では「書写学習の進め方」が示されており、見通しを持って自発的な学習ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 一年間の学習を生かして発展的に取り組む「学習を生かして」が、各学年のまとめに設定されており配慮されている。</li> <li>○ 題材や資料については、出所や出典が明示されている。</li> </ul>
2 組織と 配列に 関すること							<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上学年では、毛筆教材の後に硬筆教材が配置されている。毛筆学習で習得した技能を硬筆に生かすといった、毛筆と硬筆学習の一体化が図られている。</li> <li>○ 学年ごとに巻頭に、目次とともに目標が設定されており、年間で学ぶことが明確になっている。また、学習を見通すことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字の正しい書き方を理解し、習得するために、写真を大きくしたりポイントを明示したりして、2学年のまとまりごとに知識・技能を習得できるよう工夫している。</li> <li>○ 各学年に発達段階や語彙・言語環境を考慮した教材の分量になっており、限られた時数の中で効果が上がるように配慮されている。</li> <li>○ 「生活と書写」のコーナーの設定において、手紙・掲示物の書き方、原稿用紙の使い方等が取り上げられており、児童会活動や地域連携活動に結びついている。</li> </ul>
3 学習と 指導に 関すること							<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考える～確かめる～いかす」の3ステップで、段階を踏みながら、自分の気付きを生かして主体的に学習できるよう工夫している。</li> <li>○ 一つの教材に対して一つの目標を掲げ、学習のめあてと自己評価の項目が設定されている。自分の振り返りができ、学習の達成感を味わえるように工夫されている。</li> <li>○ 運筆の力を高めたり、書き誤りやすい文字を練習できるように第1学年の巻末には、水書用紙が付いている。</li> <li>○ 「国語の広場」や「生活と書写」、「言葉の窓」のコーナーが設置されており、各教科や日常生活との関連が図られている。</li> <li>○ 巻頭にHPアドレスが掲載されており、学習の参考となる動画の情報提供がされている。</li> </ul>
4 表現と 体裁等 に 関すること							<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章表現が簡潔である。各学年の巻末漢字表では、当該漢字について硬筆と毛筆の両方で掲載されており、どちらでも確認できるよう工夫されている。</li> <li>○ キャラクターによる問い掛けの場面を設定し、それと対話しながら主体的な学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 読みやすく、手本文字に着目させる配色や文字の太さになっている。</li> <li>○ 教科書の書き込み欄を手本文字の下に配置し、右利きと左利きの両方に配慮している。</li> <li>○ 教科書の表紙には、水や墨に汚れにくい表面加工が施されており、油インクと再生紙を使用し、児童や環境に優しい配慮がされている。</li> </ul>

種 目	社会	発行者の 番号・略称	17	教科書の 記号・番号	社会 303 403 503 603	書 名	小学社会3 小学社会4 小学社会5 小学社会6
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「社会科の見方や考え方」を各学年の巻頭に掲載するとともに、社会的な見方・考え方を働かせた学習が促されるように資料の内容やその掲示の仕方が工夫されている。</li> <li>○ 「社会科の学習の進め方」を各学年の巻頭に掲載するとともに、学び方や調べ方の学習、問題解決的な学習が展開できるように工夫されている。</li> <li>○ 児童の生活経験と結びつきの深い身近な事例を示すことで、学習意欲を高めるように工夫されている。</li> <li>○ 防災に関する内容においては、学年の発達段階が意識され、各学年の指導内容が関連付けられている。また、6学年では岩手県の事例を取り上げ、今回の改訂のポイントである、自分たちでできることを考えたり、選択・判断したりできるように配慮されている。</li> <li>○ 児童の興味・関心に応じて活用することのできる教材や資料、コーナーが適宜配置され、補充的・発展的な学習を図ることのできるよう配慮されている。</li> <li>○ 対象を捉えやすいイラストや大きく鮮明な写真等が資料の特性や目的に配慮しながら配置されており、資料の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年を通して、公民としての資質・能力が培われるように配慮されている。さらに、生活科、中学校との接続を意識した配列になっている。</li> <li>○ 単位時間ごとに「この時間の問い」と「次につなげよう」を明示することで、小単元を通して一貫性のある問題解決的な学習が展開されるように工夫されている。</li> <li>○ 各単元の終末に「まとめる」「ひろがる」コーナーを設置し、学習内容の整理と定着を確認したり、発展的な学習につなげたりできるように工夫されている。</li> <li>○ 内容や分量は適切であり、地域や学校の実態に応じて選択できるように工夫されている。</li> <li>○ 地域や学校の実態に応じて、実際にできる観察や見学、聞き取り調査等の学習やそれに基づく表現活動の令が分かりやすく紹介されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3学年、4学年の巻頭に「他教科とのかかわり」を掲載することで、教科横断的に学ぶ社会科の特性を児童に意識付けるように工夫されている。また、5学年、6年では主体的に学習するためのノートの活用の仕方が学べるように工夫されている。</li> <li>○ 学習の展開を見通すモデル図や、調べ方、表現方法等の学習技能について解説した「学びの手引き」を掲載し、問題解決的な学習に見通しをもつことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 児童同士の対話的な学習や、様々な人々から話を聞き取る対話的な学習を促す教材を多様に位置付けることで、多角的に理解したり、考えを深めたりできるように工夫されている。</li> <li>○ 地域や学校の実態、児童の興味・関心に応じて、補充的・発展的に活用することのできる教材や資料を掲載することで、多角的に理解したり考えを深めたりできるように工夫されている。</li> <li>○ 挿絵や写真、図表等の資料や学習の手引きが効果的に配置されている。また、「まなびリンク」の情報がQRコード、URLが各学年の目次に掲載されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当該学年以上の配当漢字や固有名詞、社会科用語等には振り仮名が付けられ、平易な文章表現や語句の解説をすることで内容が読み易くなるように工夫されている。</li> <li>○ 同年代の児童のキャラクターが登場し、児童が親しみをもちながら共感的な学習を進めることができるように工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインに基づいて配色したりすることで、見やすいものになっている。</li> <li>○ 単元時間毎に見開きで構成され、本文と資料が明確に区分されている。また、レイアウトをパターン化することで視認性が高められるように工夫されている。</li> <li>○ 製本が堅牢で、装丁も汚れにくいように加工されている。また、再生紙を用いて植物油インキとグリーン電力を使用して印刷することで環境に配慮されている。</li> </ul>						

種 目	社会	発行者の 番号・ 略称	2	教科書の 記号・ 番号	社会 301 401 501 502 601 602	書    名	新しい社会3 新しい社会4 新しい社会5 上 新しい社会5 下 新しい社会6 政治・国際編 新しい社会6 歴史編
			東書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や我が国の国土の地理的環境及び歴史や伝統文化、社会の仕組みや働きを取り上げ、地域の様子や我が国の国土と歴史に対する歴史を促し、愛情を育てる工夫がされている。</li> <li>○ 地域の公共施設や店舗、歴史博物館等での校外学習場面を取り上げ、地域の身近な事象の観察や調査、見学等の体験的な学習活動を通じた理解を図るように配慮されている。</li> <li>○ 話合いの場面や児童のノート、まとめの新聞等、実際の表現活動や表現作品の例を示し、児童が活動を見通して意欲を高め、学習に主体的に取り組みやすいように配慮されている。</li> <li>○ 防災等の安全教育、道徳教育、領土、国旗、主権者教育、伝統や文化、国際理解の今日的な課題を精選して取り上げ、学習の充実と発展を図るように工夫されている。</li> <li>○ 防災教育では、第4学年～6学年で、児童の発達段階に応じて家庭や市の取組から県国の取組へと学習の発展が図られている。</li> <li>○ 内容や資料は最新のものであり、出所、出典が明示されている。学習題材として取り上げている地域の偏りは見られず、我が国全体の理解につながるように工夫されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の「めあて」や小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を示すとともに、学習段階（つかむ、調べる、まとめる、いかす）を併記して問題解決的な学習を促す工夫がされている。</li> <li>○ 小単元のねらいが「学習問題」として、「つかむ」段階だけではなく、「まとめる」段階でも示され、ねらいを意識して児童が学習内容をまとめることができるように配慮されている。</li> <li>○ 「ひろげる」を随所に設定し、児童が学習を通して身に付けた知識を広げたり、理解を深めたりすることができるように配慮されている。</li> <li>○ 目次に選択単元が明示されているなど、地域や学校の実態に合わせて年間指導計画に適合できるように配慮されている。</li> <li>○ 第4学年では、宮城県や仙台市、石巻市雄勝町、登米市登米町、松島町、第6学年では、気仙沼市が学習題材として取り上げられており、児童の生活や地域の実態に広く適合されるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小単元の「まとめる」段階では、文章でまとめたり話し合ったりするなどの言語活動の場면을例示し、身に付けた知識を生かして思考・判断・表現等ができるように配慮されている。</li> <li>○ 第6学年では、小単元の「まとめる」段階でパネルディスカッション的な話合いの例が示されるなど、主体的・対話的で深い学びが展開されるように配慮されている。</li> <li>○ 第3～5学年の巻末に、どのように学んだかを振り返ったり、別の学び方の進め方に取り組んだりできるような内容を取り上げ、多様な学びの機会を設ける工夫がされている。</li> <li>○ 算数科「ぼうグラフの読み取り方」等の関連する他教科の学習内容を示すため、「教科関連マーク」が新設、明示され、児童の理解を支えるように工夫されている。</li> <li>○ 挿絵、図表、写真等は適切に配置されている。学習に関連したウェブページには、巻頭のURL等からアクセスできるようにされ、教科書の当該ページに「Dマーク」が示されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の発達の段階に応じた文章表現になっているとともに、当該学年以上の配当漢字には振り仮名が付けられ、児童が理解しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 児童が親しみを持って学習を進めることができるように、アニメキャラクター等に留意事項や学習の様子を語らせるなどの工夫がされている。</li> <li>○ 字体や文字の大きさを児童の発達の段階に応じて配慮したり、教科書体の文字と手書きに近い字体の文字を内容に合わせて使い分けたりするなどの工夫が見られる。</li> <li>○ 幅広な判型を生かし、図表を大きく掲載したり、複数の資料を比較・関連させて示したりするなどの工夫が見られる。レイアウトやバランスは適切である。</li> <li>○ 製本は体裁がよく堅ろうである。再生紙や化学物質を抑えた植物油インクを使用するなど、環境やアレルギーへの配慮もされている。</li> </ul>						

種 目	社会	発行者の 番号・略称	116	教科書の 記号・番号	社会 304 404 504 604	書 名	小学社会 3年 小学社会 4年 小学社会 5年 小学社会 6年
			日文				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な事例やメディアの活用等，作業的・体験的な活動が児童の発達段階を踏まえて位置付けられた内容になっている。</li> <li>○ 全学年にわたって，学習問題を追究・解決する活動の充実が図られ，児童の興味・関心を高め，学習意欲を喚起するよう配慮されている。</li> <li>○ 各学年の目標を達成できるよう，適切な事例や事象が取り上げられている。また，学習指導要領に例示されている事例が選択単元として網羅されている。</li> <li>○ 内容が一面的，断定的な見解に偏らず，広く受容されているか吟味をした教材が掲載されている。また，資料の出所，出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が自ら見付け出した問題を解決するために，調べ活動や話し合い活動等の具体的な学習活動を通して，思考・判断・表現等の過程が分かりやすく配列されている。</li> <li>○ 小單元ごとに目標に沿って問題解決的な学習過程が生まれ，学習内容についての情報や資料，追求過程が1時間1見開きページでコンパクトにまとめられている。</li> <li>○ 本文は「学習活動」「子供の発言」「学習内容」の3部で構成され，児童が学習の見通しを持てるよう工夫されている。また，発展的学習へつなげるコーナーも配置されている。</li> <li>○ 児童の主体的・対話的な学習活動が展開できるように内容の重点化が図られ，小單元ごとに十分な調べ活動や話し合い活動ができるよう，適切な時数が配当されている。</li> <li>○ 事例地や産業，人物を選んで学習を進めるような選択教材を多く設定し，地域や学校の実態に合わせて指導できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「見方・考え方コーナー」，「学び方・調べ方コーナー」が配置され，社会的な見方・考え方の育成や主体的な学習態度の育成が図れるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習問題を共有する様子や交流活動の具体例，ノートの記事を示し，新たな疑問や考えを見出す過程が可視化され，問題解決的な学習を追究・解決する活動の充実が図られている。</li> <li>○ 話し合い活動や調べ活動，表現活動や学習内容の整理の仕方を示すことで，児童の実態や個々の能力に広く対応できるよう工夫されている。</li> <li>○ 1学年を1冊の教科書で構成することにより，年間を通して地域の行事，特別活動，他教科との関連が図りやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 資料は，学年の系統性や児童の発達の段階に応じた表現方法が取られている。ウェブページには，巻頭のURLからアクセスできるようになっている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の発達の段階を踏まえ，適切な用語・語句が使用されている。また，漢字は，当該学年以上の配当漢字等に振り仮名を付け，児童が理解しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 各学年において，6名の男女児童のキャラクターを登場させ，児童とともに学習に取り組む構成により，児童が親しみをもって意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 児童の発達段階を踏まえた活字の大きさが使用され，印刷も鮮明である。重要語句はゴシック体で表すなど，児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 図表等は，レイアウトやバランスが工夫され，全体を通して見やすくなっている。導入ページでは，大きな写真やイラストが配置され，児童の興味・関心を高めるよう配慮されている。</li> <li>○ 製本は丈夫なあじろ綴じが採用され堅ろう，大きく開くようになっている。また，植物インキが使用され，環境にも配慮されている。</li> </ul>						

種 目	地図	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	地図 301	書 名	新しい地図帳	
			東書					
1 内容に 関する点								<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図や地球儀を効果的に活用させるとともに、我が国の歴史や伝統・文化に関する内容や、世界の諸地域への内容が深められるように配慮されている。</li> <li>○ 広い視野から国土を眺めることができる地図を複数配置するなど、地図への理解が図られる内容になっている。また、外国語等、他教科や家庭での活用につながる工夫がされている。</li> <li>○ 初めて地図を使用する児童の発達の段階を踏まえ、地図の仕組みや約束事を分かりやすく解説するなど、地図に対する興味・関心や学習への意欲を高められる工夫がされている。</li> <li>○ 社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉えられるように工夫され、地図から実際の様子を想像する力が身に付けられるような内容になっている。</li> <li>○ 統計資料は、出所、出典が明示されており、写真やイラスト等の資料は、特定の地域に偏ることなく配置されている。</li> </ul>
2 組織と配列に 関する点								<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本列島を見渡すような地図から始まり、日本の地方図と都市圏図、世界地図、世界の州ごとの地図、資料図、統計資料、索引等が系統的に配列されている。</li> <li>○ 目次にイラストを取り入れ、広域図や拡大図、日本や世界の地図、資料地図、統計表の分類がなされ、学習内容と地図帳との関連が分かりやすく示されている。</li> <li>○ 日本の領土と周辺諸国に関する内容が充実している。また、日本の自然災害について南三陸町のハザードマップや石碑が取り上げられており、自然災害について身近なこととして捉えるとともに、多面的に考察し、要因や対策等を探る発展的な学習の対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 歴史的遺産や理科に関する資料、食に関連した資料等が豊富に配置されるなど、各学校の年間指導計画に広く適合できるように工夫されている。</li> <li>○ 東北地方の地図と他地域との関連を比較できる配置になっている。また、「自然災害と防災」のページは、南三陸町のハザードマップや石碑が取り上げられており、自分の住んでいる地域と災害との関係を考える学習の手掛かりになっている。</li> </ul>
3 学習と指導に 関する点								<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な地図の読み方や、地球儀の活用の仕方について写真で分かりやすく説明されている。また、索引の引き方や見方を示すことで、主体的な学習へも対応している。</li> <li>○ 冒頭の世界地図や日本地図でさまざまな事物が紹介され、児童の興味・関心を大切にしている。また、日本の歴史を学びながら、同じ時代の世界の様子が捉えられる工夫がされている。</li> <li>○ 写真やイラストを豊富に配置し、児童がイメージを膨らませながら学習に取り組むことができるように工夫されている。また、国の位置と国旗とを結び付けて調べる工夫が見られる。</li> <li>○ 国語や音楽、道徳等の学習に役立つ人物イラストや、記念館、東京及び京都・奈良の市街地図を取り入れ、他教科や総合的な学習の時間等に活用できるように配慮されている。</li> <li>○ 地図帳の使い方、挿絵、図表、写真等は各所に適切に配置されている。また、Dマーク（デジタルコンテンツ）を掲載し、学習に役立つウェブページの活用も可能である。</li> </ul>
4 表現と体裁等に 関する点								<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年以上の漢字に振り仮名を付け、児童が理解しやすいよう配慮されている。また、図や写真等の説明文は全て文節改行にして、読みやすいように配慮されている。</li> <li>○ 多彩なキャラクターが地図活用の手掛かりを児童の言葉で提示し、児童が親しみをもって意欲的に学習に取り組めるように配慮されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすく見やすい字体になっている。また、見やすく鮮やかな彩色・色調になっている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインの推奨に取り組む団体の検証を受け、誰もが見やすいレイアウトになっている。</li> <li>○ 製本は体裁がよく堅ろうである。本文ページは光の反射を適度に抑えた再生紙が使用され、児童の書き込みが可能である。また、環境に配慮した植物インキが使用されている。</li> </ul>

種 目	地図	発行者の 番号・略称	46	教科書の 記号・番号	地図 302	書 名	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年
		帝国					
1 内容に 関すること	○ 広い視野から国土を眺められる地図や地域、外国との関連を示した資料図が多数掲載されており、児童が主体的、多角的に学習問題を追及・解決することができる工夫がされている。 ○ 地図や地球儀の概念や基本的な使い方を詳細に解説しており、地図帳や地球儀、統計資料等を積極的に活用し、慣れ親しませることができるように工夫されている。 ○ 第3学年からの使用に対応するために、地図の仕組みや約束事を示した導入のページが設定されており、初めての学習でも段階的に理解できるように工夫されている。 ○ 各都道府県の産業、交通網による結び付き、歴史的事象等に関する記号やイラストを豊富に付し、各学年で取り上げる事例の重点化や発展を図りやすくするための配慮が見られる。 ○ 地図や統計資料、写真・イラストは、出所、出典が明示されている。写真資料は、位置を番号で地図上に示す工夫や地域間の偏りがないように配慮されている。						
2 組織と 配列に 関すること	○ 日本列島の地図から地方ごとの地図、世界地図へと内容が組織的、系統的に配列され、社会事象の特色や相互の関連を効果的に学習できるように工夫されている。 ○ 地理的な位置や空間的な広がり、社会事象と人々の相互の関連等の視点に基づいた地図や資料図が配置されており、教科の目標を踏まえた内容のまとまりに配慮が見られる。 ○ 地図や資料図に親しみのあるイラストや写真等を配置し、都道府県の産業や日本の歴史、外国の特色に関する基礎的・基本的な内容が理解できるように工夫されている。 ○ 日本と外国の地理的な位置や産業、相互の関連等と関連付けて地図や資料等が配置されており、各学校の年間指導計画に広く適合できるように配慮されている。 ○ 大きな折り込みの東北地方の地図が掲載されており、宮城県と東北地方の産業や交通網の特色が捉えやすい。						
3 学習と 指導に 関すること	○ 「地図のやくそく」や「地図の使い方」が巻頭に設定されており、地図記号、方位、縮尺、土地利用の読み方等、地図の活用技能の育成が効果的に図れるように工夫されている。 ○ 「日本をながめる地図」「くわしく見る地図」等、異なる縮尺の地図を複数配置し、日本や外国の特色を多面的、多角的に捉えながら思考活動が展開できるように工夫されている。 ○ 日本と世界との結び付きや日本の防災・減災への取組等が学習できる資料図が豊富に配置され、児童の興味・関心に幅広く対応できるように工夫されている。 ○ 日本の歴史や日本の自然災害等に加え、世界の挨拶や方位磁針の使用、距離の測定の仕方等が掲載されており、他分野や他教科との関連に配慮した内容となっている。 ○ 図表や写真、挿絵等は適切に配置され見やすい。ページ左上に二次元コードが掲載されており、必要に応じて二次元コード内のコンテンツの活用が図れるように工夫されている。						
4 表現と 体裁等 に 関すること	○ 都道府県の地名を正しく読めるように、全ての地名の漢字に仮名を付している。土地の高さや土地の使われ方を色分けし、立体的に表現することを捉えやすくしている。 ○ 児童が自学自習できる「地図マスターへの道」のページを設定し、日本の国土や自国の特色等に関する問題を解きながら、地図の活用に関心をもちながら工夫されている。 ○ 活字はユニバーサルデザインフォントを採用し、大きくて見やすい。文字の配置も重ならないように工夫してある。色覚特性を考慮した配色にも工夫が見られる。 ○ 図表やグラフ、写真資料が鮮明に配置されている。また、二次元コードの使用で、学習問題のねらいに応じて拡大地図や統計資料を提示できるように工夫されている。 ○ 従来ものから判型が大きくなり、軽量化が図られ、製本は体裁よく堅ろうである。耐久性に優れた再生紙や植物油インキを使用しており、環境に優しい工夫が施されている。						



種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数 101 102 201 202 301 302 401 402 501 502 601	書 名	あ た ら し い さ ん す う 1 ① あ た ら し い さ ん す う 1 ② あ た ら し い さ ん す う だ い す き ! 新 し い 算 数 2 上 2 下 新 し い 算 数 3 上 3 下 新 し い 算 数 4 上 4 下 新 し い 算 数 5 上 5 下 新 し い 算 数 6 数 学 へ ジ ャ ン プ !
			東 書				
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動を基にした問題解決型の学習展開に重点を置いている。ノートづくりやその活用の仕方、学習過程における数学的な見方・考え方の振り返りに関する例が示されている。</li> <li>○ 「学びのとびら」や「今日の深い学び」を設け、主体的・対話的で深い学びにつながる問題解決の過程を可視化し、思考力、判断力、表現力等の資質・能力を高められるように配慮されている。</li> <li>○ 単元の学習を活用して日常生活から問題を見出したり、活用したりすることができるよう配慮されている。また、「かたちであそぼう」を設け、児童が算数の楽しさを味わいながら学習意欲を高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 各授業のまとめでは、数学的な見方・考え方を可視化して価値付けたり、児童が意識したりすることができるように配慮されている。</li> <li>○ 内容に対し、適切な資料が使用され、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理解に時間を要したり、スパイラルに学習したりすることが効果的な内容については、単元を分割した段階的な取り扱いや配当時間数の適切な確保がなされている。</li> <li>○ 学習内容の確実な理解に向け、内容のまとまりごとに小単元を設けるとともに、「他教科関連マーク」を付けて他教科との関連を示し、教科横断的、合科的な指導への配慮がなされている。</li> <li>○ 巻末に「ほじゅうのもんだい」と「おもしろもんだいにチャレンジ」を設定し、児童の学習状況に幅広く柔軟に対応できるようにしている。</li> <li>○ 単元末に「たしかめよう」を、単元と単元の間に「おぼえているかな？」を設け、理解や技能の確実な定着を目指している。また、「おぼえているかな？」は、学力調査の結果分析に基づき、児童のつまづきや誤答の多い問題を中心に構成されている。</li> <li>○ 日常生活に関連する問題を配置して学習の有用性を実感させたり、各学年の系統性や他教科との関連性を考慮し、同時期に同じような単元を配置したりしている。また、宮城県が事例地として取り上げられ、児童の学習効果が上がるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つないでいこう 算数の目」を設定し、数学的に考える資質・能力を育てることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 高学年に「プログラミングを体験しよう！」が設定され、算数科の学習と関連付けてプログラミング的に思考する体験ができるように工夫されている。</li> <li>○ 6 学年では、中学マークを付けたり、「中学校体験入学コース」で中学校数学科の内容を具体的に経験したりするなど、中学校と円滑に接続できるよう工夫されている。</li> <li>○ 防災や国際理解等、今日的課題から問題を設定したり、理科との関連を踏まえ、重さや折れ線グラフの学習を設けるなど、他教科との関連を図っている。</li> <li>○ 「Dマーク」を付けて、学習に役立つデジタルコンテンツの活用を促す工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用語や定義の振り仮名表記や、文節の切れ目での改行がなされ、文章が読み取りやすくなっている。</li> <li>○ 問題解決のために図や発問、吹き出し等を設けて児童の思考を促すとともに、丁寧な文脈で可視化できるよう配慮されている。</li> <li>○ UD教科書体の字体の採用や、絵図に関する区別しやすい配色の工夫により、視認性を高めている。また、1年①をA4版とし、ノート機能と数学的活動の操作性を高める構成となっている。</li> <li>○ 日常生活との関連を意識しやすい写真や、思考を促す図表等をバランスよく配置し、視覚的に捉えやすいレイアウトになっている。</li> <li>○ 環境に優しい再生紙や化学物質をおさえた植物インキが使われ、環境や化学物質過敏症等への配慮がなされている。表紙や裏表紙の紙質、製本、体裁は堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	算数	発行者の 番号・略称	61	教科書の 記号・番号	算数		書 名	わくわく さんすう1 算数2上 算数3上 算数4上 算数5 算数6	1 2下 3下 4下
					108	209			
			啓林館		108	209			
					208	309			
					308	409			
					408	608			
					508				
					608				
1 記述内容 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」との2部構成になっており、一人一人の学びに対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 巻末の「学びのサポート」では、既習事項の確認ができる「じゅんび」、習熟度別補充問題として「もっと練習」や、説明の仕方や作図の仕方、考え方等が示された「算数資料集」が設けられており、個に応じた学習の補充や発展が図られるよう工夫されている。</li> <li>○ 児童の生活経験や算数の学習経験を重視した素材や活動的な題材が取り上げられ、児童が興味・関心をもてるように構成されている。</li> <li>○ 単元の終末にある「学びのまとめ」は、「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」の3ステップで構成されており統合的・発展的に学びを深めることができる工夫がされている。</li> <li>○ 内容に適した資料が用いられ、図表や写真、挿絵の最新の出所、出典が明示されている。</li> </ul>								
2 組織と配 列関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次では、「この本で学ぶこと」と並べて、「これまでに学んだこと」が表示されており、系統性を意識して指導にあたることができるとともに、既習事項の確認や類似問題で練習するなどして、学習の効果が上がるように配慮されている。</li> <li>○ 単元のはじめのページに単元のめあて「みんなで学ぼう」を表示し、さらに毎時間、「めあて」と「まとめ」が記載されているため、児童が「何を学ぶのか」意識して学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 「復習」というページが設定されており、習熟が必要な計算問題などは遡って取り上げられ、基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着するように配慮されている。また、全国学力調査等で正答率の低かった問題に☆マークをつけて、意識して取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 3学期制、2学期制どちらにも対応できるように配当時間数や単元配列、分量が配慮されている。</li> <li>○ 学期末には「算数の自由研究」や「もうすぐ〇年生」などが設定されており、児童の1年間の生活に合わせた配列がされている。</li> </ul>								
3 学習と指 導関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思考の助けとなる図、表、式などを多く例示し、話し合いの場面では、根拠や手順などを説明する活動を通して、数学的な思考力や表現力の育成が図られるよう配慮されている。</li> <li>○ 多様な考え方を充実させ、話し合いの場面も適宜設定することで、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにしている。</li> <li>○ 説明する場面や話し合いの場面では、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見や立場も尊重できるように配慮されている。</li> <li>○ 3年生以上の「みらいへのつばさ」で、健康、環境保全、食育、国際協力、防災などの題材が取り上げられ、志教育の観点からみても、自分自身や地域に目を向けた内容となっている。</li> <li>○ 紙面にQRコードを掲載し、ICT機器を使った学習のサポートができる準備がされている。</li> </ul>								
4 表現と体 裁関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字は原則として当該学年までの配当漢字を扱い、見開きの初出にふりがながふられている。また、算数用語には配当学年に関わらず、必要に応じてふりがながふられている。</li> <li>○ 児童が興味をもち楽しい活動がイメージできるように、また、問題の理解や解決に役立つヒントになるように、学年の発達段階を考慮した挿絵が採用されている。</li> <li>○ 認識しやすい文字（ユニバーサルデザインフォント）を使用しており、表記の仕方も読みやすくする工夫がされ、インクルーシブ教育に対する配慮がされている。</li> <li>○ 写真や挿絵を有効に活用したり、かき込みスペースを設定して余白を十分に確保したりするなど、視覚的に内容を捉えやすくなるように配慮されている。</li> <li>○ ページを左右いっぱいに関することのできる「あじろ綴」の製本形式が採用されており、環境に優しい再生紙や化学物質をおさえた植物油インキを使用するなど、配慮されている。</li> </ul>								

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数 104 105 204 205 304 305 404 405 504 505 604 605	書 名	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん上 1ねん下 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上 2年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上 3年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上 4年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上 5年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋
			学図				
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活や社会の事象の中から問題を発見する場面をイラストで示すことで、児童が興味・関心を持って数学的活動に取り組むことができるように配慮されている。</li> <li>○ 実生活における事象との関連が重視されている。特に第6学年では災害時の避難所運営の場面が問題として扱われており、本県の地域特性に合致している。</li> <li>○ 数学的活動に取り組む児童の様子が写真やイラストで掲載されており、児童に「やってみよう」という思いと課題解決までの見通しを持たせる効果が期待できる。</li> <li>○ 身に付けた基礎的・基本的な学習内容を単元末の「深めよう」の学習に生かすことで、学習の成果を児童に実感させることが期待できる。</li> <li>○ 写真、イラスト、資料等が学習のねらいに応じて使い分けされており、資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次で既習事項との関連を示したり、前学年で身に付けた算数の見方・考え方を示したりすることで、系統的に学習が進められるように配慮されている。</li> <li>○ 単元名の中の重要語句を拡大したり色分けしたりして学習内容が児童にも伝わるように示し、単元の中に小単元を設けて確実に学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 統計の学習では、単元を資料の整理をする単元と整理した資料を活用する単元に分割して設定し、学習効果を上げるための工夫がされている。</li> <li>○ 発達の段階に応じてねらいに即した適用問題が設定しており、内容も精選され、ゆとりを持って学習を進められるように配慮されている。</li> <li>○ 単元導入の問題は、児童にとって身近な社会事象から取り上げられているものが多く、興味を持って学習ができるように工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各ページに学びの手掛かりとなる言葉を示すことで、児童が課題解決までの見通しを持って主体的に学習できるように配慮されている。</li> <li>○ イラストや吹き出しを使って児童同士が対話する場面が例示されており、主体的・対話的で深い学びを実現するために工夫がされている。</li> <li>○ 問題解決に当たって児童が図を活用することを重視しており、児童が自分の考えを発達の段階に応じた図を使って表現できるよう配慮されている。</li> <li>○ 社会科や理科の学習と関連付けたり、データを整理しながら環境問題について考えたりする時間を設け、教科・領域を横断した単元の配列が工夫されている。</li> <li>○ AB版の教科書の広さを生かし、目的に応じて挿絵や図表、写真、QRコード等が配置されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年に応じて分かりやすく表現するとともに、振り仮名を付けたり、重要語句は色を変えて拡大して示したりすることで、児童が理解しやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 重視したい9つの「見方・考え方」を表すモンスターを活用しており、児童が楽しみながら様々な「見方・考え方」を生かして学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字をはっきりと読める書体にするなど、発達の段階に応じて文字の大きさを変えたり、児童が読みやすいように配慮されている。</li> <li>○ 教科書をAB版にして紙面の空白部分を増やして見やすくするとともに、教科書上で作業する部分を広く確保することで書き込みやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 再生紙や植物油インキを使用するなど、環境やシックスクールに配慮されている。また、表紙は汚れや破損に強い仕様になっている。</li> </ul>						

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数 106 206 207 306 307 406 407 506 606	書 名	しょうがくさんすう1 小学算数2上 2下 小学算数3上 3下 小学算数4上 4下 小学算数5 小学算数6
			教出				
1 記 述 関 内 す 容 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な数学的活動を写真等で示したり、学んだことを実際の生活の中で活用する場面を設けたりすることで、児童の思考力・表現力が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 数学的活動を通じた課題発見や課題解決により、児童が算数を学ぶことの楽しさや有用性を実感することができるように配慮されている。</li> <li>○ 単元の導入場面には児童に多様な考えを持たせるような発問が提示されており、学習意欲が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 適用問題にねらいがキーワードで示されており、児童が目的を持って取り組み、学習内容を充実させることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次と巻末のページに前学年までの学習内容との関連を示してあり、児童が既習事項を活用しながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 生活場面から問題を見だし、既習事項や数学的活動を基にして考えさせてから単元名を示すことで、児童に学習のねらいを明確に捉えさせるように配慮されている。</li> <li>○ 適用問題を早く解き終えた児童に挑戦させたり、家庭学習で活用させたりできる「ステップアップ算数」が設けられ、児童の実態に合わせて活用することができる。</li> <li>○ 文字の色分けをしたりイラストを用いたりして、学習内容のまとめを適切な分量で簡潔に示すように工夫されている。</li> <li>○ 学習時期と合うように問題場面で扱う季節が工夫されている。2学年では資料を整理したり時刻を理解する単元を早い時期に配置することで、日常生活と学習内容を関連させて学習できるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 指 す 導 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に「学習の進め方」が配置されており、主体的な学習態度を形成できるよう工夫されている。</li> <li>○ 学びの手引きのページに対話を基に作成したノート例が示され、主体的・対話的で深い学びのモデルとして活用できるよう工夫されている。</li> <li>○ 適用問題と巻末の「ステップアップ算数」がリンクしており、児童の実態や学習の進度に合わせて補充内容や問題数を調節できるよう配慮されている。</li> <li>○ 巻末の「広がる算数」では、算数科で学んだことが教科を問わず日常生活の様々な場面で役立てられていることを児童が実感できるよう配慮されている。</li> <li>○ 多様な挿絵や図表だけでなく巻末には「学びのマップ」が配置されており、児童が自ら学習内容を振り返ることができるよう配慮されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が読みやすいように句読点で開業するように工夫されている。巻末に算数用語を索引として掲載しており、既習の算数用語を活用できるように配慮されている。</li> <li>○ 単元の導入部分には学習内容に関連する数学的活動を行う場面が設けられており、自ら見いだした疑問や気付きを基に課題設定できるように単元が構成されている。</li> <li>○ 「UD教科書体」を使用し、発達の段階や学習のねらいに沿って文字の大きさや太さを使い分けており、支援を要する児童にも読みやすくなるように配慮されている。</li> <li>○ 写真や資料、吹き出し等は配置やレイアウトが適切で、児童が問題場面をイメージしたり課題解決したりする場面で活用できるように配慮されている。</li> <li>○ 製本は堅ろうで、環境に配慮した再生紙と食物油インキを使用している。軽量だが丈夫で裏写りしない紙を使用しており、軽量化が図られている。</li> </ul>						

種 目	算 数	発行 者の 番号 ・ 略 称	1 1 6	教科 書 の 記 号 ・ 番 号	算数	書 名	し ょ う が く さ ん す う 1 ね ん 下 小 学 校 算 数 2 年 上 2 年 下 小 学 校 算 数 3 年 上 3 年 下 小 学 校 算 数 4 年 上 4 年 下 小 学 校 算 数 5 年 上 5 年 下 小 学 校 算 数 6 年
		日 文		110 111 210 211 310 311 410 411 510 511 610			
1 内 容 関 連 す る こ と	○ 側注の「カギマーク」では、知識・技能を習得し、それらを活用・探究するための手がかりを示すことで、本管内の課題の一つである「数学的な見方・考え方」を働かせるための手立てにつながる。 ○ 「次の学習のために」や「たしかめポイント」が設定されていることで、基礎基本に対して繰り返しアプローチを図るとともに、自主学習や家庭学習の習慣の確立にもつながることができる。 ○ 「ハロー！さんすう（上学年はHello! Math）」や「つなげる算数」を設けることで、学習指導要領で各学年に設定されている「数学的活動」を具現化するとともに、総合的・発展的に考える力や姿勢を育てることが期待できる。また、「データの活用」の力の育成にも関連付けることができる。						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	○ 目次では既習事項との関連、巻頭での既習事項の確認、反復練習が必要な単元はできるだけ早い時期に学習できるような配列など、学習内容の効果が上がる配列や習熟のための配慮がされている。 ○ 「次の学習のために」を設けることで、新単元に入る前にこれからの学習する内容の既習事項を確認したり、単元のねらいを明確にしたりしている。 ○ 第6学年では「マテマランドを探検しよう！」「6年間のまとめ」「もうすぐ中学生」を設けることで、学習内容の定着と図るとともに、みやぎ志教育の視点の一つでもある小中連携（進学先への期待感や、スムーズな接続）を図ることが期待できる。 ○ 各学年とも年間10～18時間程度の予備時間を設定されていることで、全体的にゆとりが設定されているとともに、各学校のカリキュラムに対応しやすい。						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	○ 教室での学習場面を模した紙面構成であったり、「学び方の4ステップ」として一単位時間の学習内容が課題設定・自力解決・学び合い・振り返りやまとめまでの配列になっていたりすることで、児童が主体的・対話的に学びに取り組むことができる。 ○ 第2学年以上の巻末の「算数マイトライ」では、「ぐっとチャレンジ」で各単元に対応した応用的・発展的な問題に取り組めるとともに、「もっとジャンプ」は、複数の単元を横断した応用的・発展的な問題に取り組める。本管内の学力の状況を鑑みて、補充・発展問題が設定されていることは重要である。 ○ 道徳や防災教育の観点から資料を取り上げたり、プログラミングの内容が含まれていたりなど、様々な学習との関連を図ることができるとともに、本市の重点施策の一つである防災意識への啓発につながる内容になっている。						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	○ 問題文や重要事項を枠囲みや網掛けで明確にしたり、カラーユニバーサルデザインや読みやすい工夫をしたりなど、現代的な諸課題に対応された表現になっている。 ○ 一年生の教科書では、重量の負担を軽減するための文量となっていたり、幼保小連携への対応のために、幼稚園や保育所等で行ってきたことと関連できるような写真等が用いられている。 ○ 伝統・文化などの季節感を感じる内容であることや、児童の身近にあるものを写真で扱うなど、学習に対して興味や関心を高める工夫がされている。 ○ 表紙や本文には再生紙が用いられていたり、植物性のインキを使用したりするなど、環境への配慮や、アレルギーをもつ児童への配慮がされている。						

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4  大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算数 1 0 3 2 0 3 3 0 3 4 0 3 5 0 3 6 0 3	書 名	たのしいさんすう1ねん たのしい算数2年 たのしい算数3年 たのしい算数4年 たのしい算数5年 たのしい算数6年
1 記 述 内 容 す に る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年生以上の全時間に「学習のめあて」の項目を設置するとともに、本時の学習のめあてとまとめが対応することで、知識と技能を確実に定着させる工夫がされている。</li> <li>○ 「算数たまてばこ」や「おうちで算数（1～3年）」・「ふくろう先生のかなるほど算数教室（4～6年）」を設けることで、日常生活と算数との関連に気付かせる題材を盛り込み、学びに向かう力の向上や人間性の涵養につなげる工夫がされている。</li> <li>○ 単元末に「ふりかえろう」を設けたり、適用問題を充実させたりすることで、児童が既習事項の関連を図ったり、自他の考えを確認したりと、児童が主体的・対話的に学習する工夫がなされている。</li> <li>○ 全国各地のの写真や資料が使用されていることで、児童の興味・関心を高める工夫がされており、内容に偏りがなく、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 配 す 列 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次で既習事項や関連事項を確認できるとともに、数学的な見方や考え方を巻末の「ひらめきアイテム」にまとめさせることで、学習で獲得した見方や考え方を関連付けて学習することができる。</li> <li>○ 各学年とも20時間程度（6年生は50時間近く）の予備時間を設定されていることで、全体的にゆとりが設定されているとともに、各学校のカリキュラムに対応しやすい。</li> <li>○ 「算数お仕事インタビュー」では、算数を仕事に生かしている方々へのインタビューを掲載することで、算数と職業との関連に気付かせるとともに、みやぎの志教育の視点の一つである「よりよい生き方を『もとめる』」に関連した学習を展開することが期待できる。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 指 導 す に こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末の「たしかめ問題」では、「しっかりチェック」で基礎・基本の再確認を行うとともに、問題番号の色分け（難易度分け）がされていることで、個に応じた指導が柔軟に行えるよう配慮されている。また、巻末の補充問題「プラス・ワン」との関連を示すことや、「チャレンジ！」を設けることで、応用的・発展的な問題に取り組める。本管内の学力の状況から、補充・発展問題が設定されていることは重要である。</li> <li>○ 「リンク家庭科」など、他教科との関連がある学習や合科での扱いが可能な学習をリンク付けることで、教科横断的な学習ができるとともに、本市の重点施策の一つである防災意識への啓発につながる内容にもなっている。</li> <li>○ 各学年の主要な時間を「じっくり深く学び合おう！」と位置付けることで、主体的・対話的で深い学びや、児童の思考力・判断力・表現力の育成につながっている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 体 裁 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ メインキャラクター以外は全学年で共通されている（外国にルーツがある児童もいる）ことや、読みやすい位置での改行など、全ての児童が見やすく、理解しやすい配慮がされている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインに配慮されていたり、インデックスの領域別カラーは色と模様で判断できるなど、現代的な諸課題に対応された表現になっている。</li> <li>○ 全学年が一冊にまとめられていることで、学習の振り返りがしやすいとともに、学習全体の見通しをもてることで、児童は期待を膨らませることができ、保護者はいつどんな学習ができるかを知ることができ、家庭での学習にもつながられる。</li> <li>○ 表紙は丈夫で汚れにくい加工がされ、環境に配慮された紙を使用。印刷は植物性のインキを使用することで、化学物質に過分に反応する児童への配慮がされている。</li> </ul>						

種 目	理科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4  大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理科 3 0 2 4 0 2 5 0 2 6 0 2	書  名	たのしい理科 3年 たのしい理科 4年 たのしい理科 5年 たのしい理科 6年
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理科の見方・考え方を働かせ見通しを持って観察、実験に取り組む構成になっており、問題解決に必要な資質能力が育成されるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が身近な自然の事物・現象から問題を見いだすとともに、直接体験を重視し、系統性を踏まえた問題解決が展開されるように工夫されている。</li> <li>○ 意欲的に取り組めるような観察、実験を採り上げたり、問題意識を深めさせるために課題の再設定をしたりするなど、興味・関心を持って学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 身に付けた知識及び技能の活用や、次の学年へのつながりが分かるような内容に触れる事柄が取り上げられ、学習の充実と発展が図られるように工夫されている。</li> <li>○ 問題解決の過程に沿った資料が偏りなく掲載されており、その出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入に既習事項を想起させる内容を提示しているとともに、「理科のたまたまばこ」「サイエンスワールド」などを通して深い学びが実現され、学習の効果が上がるよう配慮されている。</li> <li>○ 巻頭に、各学年で身に付けさせた問題解決の力が示され、各単元では、「見つけよう」「調べよう」など、学習過程に沿った共通の項目で内容がまとめられており、整理されている。</li> <li>○ 「確かめよう」や「チャレンジ問題」などで、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それを活用して課題を解決させることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 観察、実験の方法が精選され、ゆとりを持って学習活動に取り組むことができる。また、少ない時数でも指導できるように構成されており、各学校の年間指導計画や発展的な学習にも柔軟に適合することができる。</li> <li>○ 飼育・栽培を行う動植物を複数取り上げており、地域や学校の実態に応じて実践できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭で「理科の学び方」の手順が示され、見通しを持って問題解決に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 例示された疑問形の会話をヒントに自分の考えを持ったり、児童同士の対話の例から問題解決の見通しを持ったりなどの主体的・対話的な学習活動を通して、深い学びができるように配慮されている。</li> <li>○ 問題解決において主体的に実験、観察に取り組めるように、身近な対象が複数掲載されていることで、児童の多様な個性や能力に幅広く対応できるようになっている。</li> <li>○ 他の教科や他の学年で学習したことやE S D、防災教育などに関連する項目にマークが付けられており、他教科や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。</li> <li>○ 巻頭や巻末には、実験器具の使い方やノートの書き方について示すとともに、ウェブページでの検索、科学館・博物館の利用など調べ学習に向けた資料も掲載されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きページごとに配当学年以上の漢字には振り仮名を付けたり、文章を文節で改行して読みやすくしたりするなど、表記、表現が学年に応じている。</li> <li>○ 導入での身の回りに起きている理科的事象に関する写真の掲載や、シール、図鑑、すぐろくゲーム等の付録を充実させることで、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるよう配慮されている。</li> <li>○ A B版の大きな誌面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。</li> <li>○ 導入では大きな写真や図表等が採用され、考察場面では対話の具体例を会話形式で配置するなど、深い学びにつながるように紙面がレイアウトされている。</li> <li>○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに、表紙に丈夫で汚れにくいコーティング（PP貼加工）を施して堅ろうに仕立てられており、環境に配慮した紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。</li> </ul>						

種 目	理科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 3 0 5 4 0 5 5 0 5 6 0 5	書 名	楽 し い 理 科 3 年 楽 し い 理 科 4 年 楽 し い 理 科 5 年 楽 し い 理 科 6 年
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な事物・現象・素材を教材化し、児童が興味・関心を持って主体的に追究しながら、理科の見方・考え方を働かせながら問題解決できるように内容が工夫されている。</li> <li>○ 単元の導入に、観察、実験などの直接体験を位置付け、体験を通して得られた気付きや疑問を基に授業が展開できるように工夫されている。</li> <li>○ 巻頭に全学年共通の「理科の学習の進め方」や、学年に応じて「観察カードの書き方」「学習の準備」などを大きな写真や図表を掲載し、児童の学習意欲を高める工夫がされている。</li> <li>○ 観察、実験の手順や方法を、文や写真・絵図などで具体的に示し、児童が主体的に学習を展開できるよう工夫されている。</li> <li>○ 複数の動植物の写真やイラストを構成するなど、内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節に適した単元配列になっており、適した時期に観察や実験、飼育、栽培ができるよう配慮されている。</li> <li>○ どの単元もねらいに迫るために、自然の事物・現象との出会わせ方、調べる内容、方法が吟味され、学習過程に沿った共通のマークで学習のまとまりが示されている。</li> <li>○ どの学習活動においても児童のノート例を示し、基礎的・基本的な内容を捉えやすくする一方で発展の学習内容を端的に示し、児童が興味・関心に応じて学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻頭の「1年間の学習」に学習内容と時期が明記されるとともに、内容や分量や区分も計画的に配置され、見通しを持って学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 適した時期に観察、実験ができるように順序性が確保され、各学校の実態に合わせて単元を組み替えられるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予想を集約して立てた「問題」をタイトルとして示し、「観察」「実験」「調査」のマークを掲載することで、学習することが明確になり、主体的な学習が行われるよう配慮されている。</li> <li>○ 単元の導入で課題に触れる際に、キャラクターのつぶやきや台詞から、問題・課題に対する疑問や課題解決につながる既習事項を引き出せるように配慮がなされている。</li> <li>○ 身近な素材を活用して事物・現象を調べさせたり、物作りを多く取り入れたりして、多様な方法で追究できるようにするなど、児童の個性や能力に対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 「生命・地球」「物質・エネルギー」の領域において、「環境教育」「防災教育」との関わりを意識した単元構成を行い、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮している。</li> <li>○ 問題解決の各過程において、児童が主体的に学習を進められるよう、図表や写真等が配置されている。また、巻頭のURLからウェブページにアクセスできるようになっている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の導入ページでは難読漢字に振り仮名を付けたり、児童のノートを想定したまとめ方の例を随所に掲載したりするなど、表記、表現が学年に応じている。</li> <li>○ 手書きのイラストや文字を図表として用いることで、児童が自らの学習の進め方の参考にでき、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるよう配慮されている。</li> <li>○ A B版の紙面に写真等を大きく掲載し、見出しやイラストの配色をカラーユニバーサルデザインにし配慮するなど、色彩、印刷が鮮明である。</li> <li>○ 導入場面では大きな写真や図表等を掲載するとともに、児童が書く学習カードの例を適切な大きさと掲載するなど、図表の大きさや配置が工夫されている。</li> <li>○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅牢に仕立てられており、環境に配慮した再生紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。</li> </ul>						



種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科	3 0 1 4 0 1 5 0 1 6 0 1	書 名	新 し い 理 科 新 し い 理 科 新 し い 理 科 新 し い 理 科	3 4 5 6
			東書						
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どの学年でも主体的・対話的な学習活動が展開される構成になっており、理科の見方・考え方を働かせながら問題解決に取り組むことで資質・能力が育成されるように工夫されている。</li> <li>○ 日常生活の疑問から、直接体験を基にした導入や、観察、実験が重視されているとともに、児童が興味・関心を持って問題解決を展開できるように工夫されている。</li> <li>○ 単元の導入では、自然の事物・現象との関わりやこれまでの経験を想起させる資料提示し、児童の思いを大切にしながら学習への意欲が高められるように工夫されている。</li> <li>○ 発展的な学習として「学びを生かして深めよう」を設定し、学んだことを生かして日常生活の事象について考えることができるように工夫されている。</li> <li>○ 様々な視点から気付きなどを促す多様な資料が採用されており、その出所や出典が明示されている。</li> </ul>								
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学んだことを使おう」のコーナーで既習事項の想起を促す資料を提示したり、「学びをつなごう」で他の学年や単元で学習したこととの関連を示したりするなど、学習の効果を高める配慮がなされている。</li> <li>○ 巻頭で各学年の学習内容を4つの区分で示し、内容構成を簡潔で捉えやすくしている。また、各章の学習の狙いを示し、意識しながら学習を進められるように配慮がなされている。</li> <li>○ 単元末の「たしかめよう」では基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るとともに、「考えよう」や「学びを生かして深めよう」では発展的に考える活動が展開されるように配慮されている。</li> <li>○ 各学年とともに、観察、実験の内容が工夫されており、単元や1単位時間における学習にゆとりを持って取り組むことができるように配慮されている。</li> <li>○ 季節に関連の深い内容に適した時期に配列されているとともに、実験器具の使用時期が他の学年毎重複しないように配慮されている。</li> </ul>								
3 学 習 と 指 導 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程に沿った構成で、「理科のミカタ」で理科の見方・考え方を働かせながら、知識及び技能の定着を図れるように配慮されている。</li> <li>○ 日常生活とのつながりや既習事項の振り返り等で主体性を高めるとともに、対話の場面例を示し、理科の見方・考え方を働かせながら学習できるように配慮されている。</li> <li>○ 観察、栽培の方法を複数例示したり、「理科のひろば」で学習内容と関連する発展的な事項を取り上げたりするなど、児童の多様な個性や能力に対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 「学んだことを使おう」や巻末の「資料」で、算数科で学んだことの活用例や、総合的な学習や他教科での既習事項との関連を図りながら学習を進められるように配慮されている。</li> <li>○ 巻頭や巻末には、観察、実験の方法だけでなく、ノートのとまとめ方や話合いの進め方を示したり、ウェブページの活用を促したりするよう工夫されている。</li> </ul>								
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元等の導入ページでは、すべての漢字に振り仮名を付けたり、文章を文節で改行して読みやすくしたりするなど、表記、表現が学年に応じている。</li> <li>○ 問題意識を高めるための漫画や、理科の見方・考え方の変容を自覚できるように学習の前後に同じ問いが配置され、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるよう配慮されている。</li> <li>○ A4版の大きな紙面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。</li> <li>○ 導入ではダイナミックな写真や図表等が採用され、考察場面では、対話の具体例を会話形式で配置するなど、深い学びにつながるように紙面がレイアウトされている。</li> <li>○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、リサイクル再生紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。</li> </ul>								

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科	3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4	書 名	みらいをひらく 小学校理科 3 未来をひらく 小学校理科 4 未来をひらく 小学校理科 5 未来をひらく 小学校理科 6
		教 出						
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理科及び各学年の目標達成に向けて、理科の見方・考え方を働かせることができるように、学年に応じた問題解決の力を系統的に構成したりするなど工夫されている。</li> <li>○ 巻頭の「学びを開く」「メッセージ」に理科の分野における第1人者からのメッセージが掲載されており、志教育とのつながりが図られている。</li> <li>○ 各学年ごと学習によって得られた知識や考え方を基に、発展的な課題や「ものづくり」などの活用が位置づけられることで学習意欲を高めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 発展的な学習を児童の興味に応じて弾力的に扱えるように、関連する学習の資料や科学読み物として扱われており、過度な負担にならないような配慮がなされている。</li> <li>○ 本市でも取り組む森と海のつながりの資料が巻末の「環境ミニずかん」に掲載されていたり、「地震や火山と災害」に近隣の市の災害の写真が掲載されたりしている。</li> </ul>							
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元のはじめに学習の系統を示したり、問題を解決する際に活用した既習内容を示したりして児童が系統的に学習を進められるように工夫がなされている。</li> <li>○ 理科の目標を踏まえて、各単元のねらいが達成できるように小単元が配置されており、問題解決を通して理解を深められるように内容がまとめられている。</li> <li>○ 単元導入ページに「学習のつながり」として、小学校4年間を見通した学習の系統が明示されていたり、単元末に「はってん」として中学校での学習内容につなげたりするなど系統性に配慮されている。</li> <li>○ 観察、実験の方法が精選され、各学年とも配当時数がゆとりをもって計画されており、内容の分量や年間配当時数に余裕をもたせるなど、工夫されている。</li> <li>○ 地域による動植物の成長の違いや気候条件には当地方とは、ややずれがある。</li> </ul>							
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭に目標に準じた話合いの話型等が掲示されていたり、「ノートの取り方」が学年に応じて提示されていたりすることで、児童が主体的に学習に臨み、思考力・判断力・表現力等が育成できるように配慮されている。</li> <li>○ 単元ごとに児童のキャラクターが問題を見いだしたり解決する姿を示し、「学びを広げよう」では生活との関連を示すなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。</li> <li>○ 課題の設定が、児童らの予想や疑問から問題解決へ向かうような構成にすることで、多様な個性や能力に広く対応できるように工夫されている。</li> <li>○ 「算数とのつながり」「国語で学んだ力を生かそう」など、他教科との関連がはっきりと明示され、他教科や総合的な学習の時間との関連が配慮されている。</li> <li>○ 観察・実験の方法が大きな写真で掲示されており、関連情報をウエーブページで検索できるように工夫されている。</li> </ul>							
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の導入ページでは単元初出の漢字に振り仮名を付けたり、文章を文節で改行して読みやすくするなど、表記、表現が学年に応じている。</li> <li>○ 児童や教師のキャラクターが4年間変わらず登場することで、児童がその登場人物たちと一緒に学び成長していくような気持ちで学習に望めるよう配慮されている。</li> <li>○ A4変形版の大きな紙面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。</li> <li>○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、環境負荷の少ない再生紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。</li> </ul>							

種 目	理科	発行者の 番号・ 略称	61	教科書 の記号 ・番号	理科	306 406 506 606	書 名	わくわく理科 わくわく理科 わくわく理科 わくわく理科	3 4 5 6
			啓林館						
1 記述 内容 関容 すに るこ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に問題解決に取り組めるように単元導入に、既習事項や日常生活を振り返る「思い出してみよう」を設定し、児童が十分な直接体験を想起しながら、学習を進められる展開になっている。</li> <li>○ 1年間の学習の最後に、次の学年の学習に向けて意欲が高められるようなコーナーが設定されている。</li> <li>○ 問題解決の流れが一目でわかるように問題解決の順序が示されることで学習に対する見通しが持ちやすく、児童の意欲が高められるような工夫がされている。</li> <li>○ 観察、実験が精選されるとともに、単元末の「つなげよう」で学習の充実と発展が図られるように工夫されている。</li> <li>○ 「火山や地震と大地の変化」では宮城県の資料が掲載され、児童の興味・関心を引く内容となっている。</li> </ul>								
2 組織 と 関配 す列 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習事項を生かしながら学習できるよう「思い出してみよう」が設定され、「これまでの学習をつなげよう」で単元末に学習を総まとめする作りとなっており単元の系統性を意識した構成と配列になっている。</li> <li>○ 単元の導入での「はじめに考えてみよう？」と同じ問いかけを、単元末に「もう一度考えてみよう」として再度考えさせるなど、学習内容の確実な定着を図っている。</li> <li>○ 「理科の広場」で、学習内容の総まとめを図るとともに、知識の活用や中学校での学習内容に触れる機会を設定し、扱えるよう配慮されている。</li> <li>○ 年間の標準時数で十分に指導できるように、余裕をもって構成され、学習内容の難易・領域・分野ができるだけ均等になるように配慮されている。</li> <li>○ 栽培教材については、地域性を考慮し、複数の教材を掲載するなど、内容や資料に偏りがないよう配慮されているが、当地方ではややずれがある。</li> </ul>								
3 学習 と 関指 す導 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に「フクロウはかせのしりょう室」が設定され、各学年毎に調べ方やまとめ方、器具の扱いなどが丁寧に提示されており、主体的に学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 考察の部分で、登場しているキャラクターのセリフやつぶやきの形で、実験結果から言えることや新しい課題に気付かせる工夫をしている。</li> <li>○ 単元導入で学習前の考えを児童に問い掛けることで学習内容に対する意欲を高めるとともに、多様な考え方を引き出せる工夫をしている。</li> <li>○ 「理科の広場」では他教科との幅広いつながりを示し、「フクロウはかせのしりょう室」では「算数のまど」としてグラフの書き方や算数的な考え方を明記することで関連が配慮されている。</li> <li>○ 挿絵や図表、写真を用いて観察、実験の手順を丁寧に示し、動画でよりわかりやすく解説できるように単元毎にウェブページのアドレスが明記されている。</li> </ul>								
4 表現 と 関体 す裁 る等 こに と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の文字の大きさが見やすく、資料写真や図表も大きく掲載されており、見やすい作りになっている。</li> <li>○ 導入でのダイナミックな写真の掲載や、屋外でも使える観察シートなどを付録とすることで、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるように配慮されている。</li> <li>○ AB版の大きな紙面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。</li> <li>○ 導入では大きな写真や図表などが採用され、観察、実験の捜査を写真やイラストで丁寧に示すなど、児童が学びを進めやすいように、レイアウトやバランスが工夫されている。</li> <li>○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、白さや発色を改良した再生紙と植物インキを使用するなど、環境への配慮がある。</li> </ul>								

種 目	理科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 3 0 3 4 0 3 5 0 3 6 0 3	書  名	みんなと学ぶ 小学校理科 3 みんなと学ぶ 小学校理科 4 みんなと学ぶ 小学校理科 5 みんなと学ぶ 小学校理科 6
			学 図				
記 述 内 容 に 関 連 す る こ と	1	○ 単元冒頭では、その単元で身に付させたい資質・能力を示し、単元末の振り返り場面では、単元冒頭で挙げてある資質・能力と対応させるなど工夫されている。 ○ 表紙には12人の科学者が取り上げられ、近代科学の発展には多くの人々が関与してきたことを伝えるなど、志教育との関連が図られている。 ○ 問題解決の場面で、リード文やキャラクターで児童の考えを引き出すようにし、学習意欲が高まめるように工夫されている。 ○ 単元末の「まとめてみよう」では知識の振り返りと活用問題を設け、単元で学んだことを基に説明できるようにし、より確かな知識の定着が図れるように工夫されている。 ○ 学習内容が各学年の発達段階に応じて配置され、掲載している資料の出所、出典が明示されている。					
組 織 と 関 連 す る こ と	2	○ 単元の初めや課題に触れるとき、児童自身の実体験や日常生活での経験を想起させ、問題解決の糸口を見つけるような配慮がされている。 ○ 学習のねらいが達成されるように、単元の冒頭で小単元の流れを示す写真を掲載するなど、内容のまとまりについて配慮されている。 ○ 単元末の「できるようになった」の部分で学習内容を確実に振り返り、重要語句は「大事な言葉」として別に提示することで、基礎・基本の定着に配慮がなされている。 ○ 各学年配当時数が、標準時教内で実施できるように配慮がなされている。 ○ 他の学年とのつながりを考慮した栽培計画が掲載されているが、当地方ではややずれがある。					
学 習 と 関 連 す る こ と	3	○ 「大事な言葉」として重要語句を明示し、基礎・基本の定着を図るとともに、「資料」の中に「発展」として指導要領外の内容も記載し、児童の意欲に応じた主体的な取り組みを促す工夫をしている。 ○ 課題の内容に合わせて、話し合い活動を設定し、それぞれの予想や考えを表現する場面を設定することで問題を見つけさせるなど、主体的・対話的で深い学びへの工夫がされている。 ○ 巻頭に詩を掲載したり、裏表紙に科学者の言葉を掲載したり、イラストで、教科書に登場した子供たちの将来なりたい姿を表現するなど児童の多様な個性に広く対応するよう配慮されている。 ○ 教科書内に掲載されているイラストや資料により、キャリア教育や防災教育、インクルーシブ教育への対応がなされている。 ○ 自然の事物・現象の変化に着目したイラストや写真を掲載したり、学習に関連した内容をウェブページのアドレスで検索できるように示したりするなどの工夫がされている。					
表 現 と 関 連 す る こ と	4	○ 写真やイラストに配慮し視覚的に理解しやすいようにしたり、作業を細かく分けて記載したりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 単元の振り返り場面「やってみよう」で効果的にものづくりを扱うことで、学んだ知識を生かす場面が設定され、児童が理科の学習に対して親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ 書体、配色ともにユニバーサルデザインが用いられており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。 ○ 導入では大きな写真や図表などが採用され、観察、実験の操作を写真やイラストで丁寧に示すなど、児童が学びを進めやすいように、レイアウトやバランスが工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、白さや発色を改良した再生紙と植物インキを使用するなど、環境への配慮がある。					

種 目	生 活	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2  東書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	生活 101 102	書 名	どきどきわくわく あたらしいせいかつ 上 あしたへジャンプ 下
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼児期の学びを小学校生活につなげるように、スタートカリキュラムがどの学校でも適切に編成できるように構成されている。また、下段に設けられた、「10の姿」では、保護者との連携に配慮された説明文や挿絵が用いられている。</li> <li>○ 児童の基盤となる言語環境を考えた話形が各活動場面で例示されており、言語能力の育成にも配慮している。</li> <li>○ 児童が活動を通して、安全に安心して生活できるように、3つの災害への対応（地震や津波等の避難の仕方）を掲載したり、保護者と連携した避難の仕方を例示したりすることで、安全に対する意識をもてるようにしている。</li> <li>○ 必要に応じて屋外に持ち出すことができる図鑑を活用して、身近な草花や昆虫などを、実物大の資料と照らし合わせて観察し、学習効果を高めることができる。</li> </ul>						
2 組 織 配 と 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節によって単元が構成されており、児童が四季の変化を感じられるとともに、年間を見通した学習計画が立てられるようになっている。</li> <li>○ 大単元が広く設定されており、児童、学校、地域の実態に応じた指導計画が立てやすくしている。</li> <li>○ 下巻では、中学年以降の学習につながる学びを意識した見方や考え方が段階的に吹き出しや写真で例示されており、スムーズに接続できるようになっている。</li> <li>○ 気付きを多様な方法で表現する学習活動が、発達の段階や特性に応じて、上下巻にわたって掲載されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びをふかめる」コーナーでは、主体的・対話的で深い学びの学習過程が例示しており、児童が具体的にイメージをもつことができるようになっている。</li> <li>○ 単元での活動の仕方を丁寧に巻末で分かるようにしている。</li> <li>○ 「つながる ひろがる」が設けられていることで、生活科で育成された資質や能力を、他教科や3年生の学習に生かすことができるようになっている。</li> <li>○ 下巻巻末の「かつどうべんりてちょう」では、学習と関連づけて活用できるようになっており、気付きの質を高めるような学習活動ができるようになっている。</li> <li>○ 段階的に、振り返る活動や伝える活動が例示され、それをもとに児童の伝える力を身に付けさせるようになっている。</li> </ul>						
4 表 現 体 と 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ すべての児童が読みやすいように、ユニバーサルデザインフォントが使われていたり、小単元名、マークなどでもすべての児童が分かりやすいように同じ位置に掲載したりするなど工夫がある。</li> <li>○ 低学年児童の発達段階に合わせて字の大きさ、ひらがなからカタカナというように工夫されている。</li> <li>○ 写真や挿絵、吹き出し、表現作品が多く使われており、児童がイメージしながら学習できるようになっている。</li> <li>○ 児童の作品が多く用いられ参考になる。また、発表の仕方についても話形が示されていて児童に分かりやすい。</li> <li>○ 外国の児童や障害のある児童を挿絵にさりげなく登場させるなど多様な他者との協働にも配慮している。</li> </ul>						

種 目	生活	発行者の 番号・略称	4	教科書の 記号・番号	生活 103 104	書 名	たのしいせいかつ 上 なかよし たのしいせいかつ 下 はっけん
		大日本					
1 内 容 に 関 連 す る こ と	○ 活動後の児童の振り返り場面から、児童の思いや願いをもとに次の活動に移ることができるように、単元と単元のつながりを意識した内容となっている。 ○ 交通安全や自然災害、人的災害に関する配慮事項を入れることで、自分の身を守るための習慣や技能が身に付けられるよう安全教育の充実を図る工夫がされている。 ○ 生活科の活動や体験での学びが他教科の学習や3年生の学習へと広がり、他教科領域の学習成果が生活科の活動につながるような相互の関連に十分配慮されている。 ○ 児童の活動が写真やイラストで大きく効果的に示されており、児童が興味関心をもって取り組み、思いや願いをもって活動に取り組めるように配慮されている。 ○ 活動の振り返りの場면을位置付けて気付きの質を高め、交流することで考えを広げたり深めたりし、学びを実生活に生かそうとする工夫がされている。						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	○ 季節に沿った大単元で構成されており、四季の移り変わりや児童の実生活に沿って活動と結び付けながら学習を進められるように工夫されている。 ○ 見開きで活動内容が分かりやすく示され、児童が活動内容を理解し、見通しをもって学習できるように配慮されている。 ○ 学校の実態に応じて、2学期制や3学期制に対応できるように、個々の活動単元の組み替えができるように、季節やまとまりなどに配慮して配列されている。 ○ 各教科との関連を意識し、特に合科的・関連的指導が効果的な場面には活動例に教科名のマークが明記され、教科横断的な活動を意識した編成になっている。 ○ 巻末「がくしゅうどうぐばこ」で多様な活動例や資料が提示され、地域や学校の実態に応じて選択したり、深い学びを意識したりした配慮がされている。						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	○ 児童の生活圏にある身近な人々、社会及び自然を学習の対象とすることで、児童が繰り返し対象に関わり、自分との関係の中で活動を進められるよう配慮されている。 ○ 絵や言葉、動作など多彩な表現活動の例示があり、交流し伝え合う場を位置付けることで、気付きの共有化や質の高まりを目指した工夫がされている。 ○ 道徳教育との関連を意識し、自分自身、身近な人々、社会及び自然と直接関わる活動や体験を豊かに行えるような場や機会を意図的に取り入れている。 ○ 上巻はスタートカリキュラムに対応しており、入学後に生活科を中心とした合科的・関連的な活動が設定できるように工夫されている。 ○ 児童が課題意識をもって活動ができるような吹き出しなどの表記が工夫され、見開きごとに活動内容を端的で分かりやすい言葉で示している。						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	○ 本文の書体に大きめの教科書体を用い、文章を分ち書きしたり、読みやすい位置で改行したりして見やすく読みやすい工夫がされている。 ○ 環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、表紙は丈夫で汚れにくく、製本は児童にとって安全で奥までよく開くアジロ綴じを採用している。 ○ 上巻の2学期に当たる単元までは平仮名表記、3学期に当たる単元からは1年生で学習する漢字を使用しており、ページで最初に出てくる漢字にはルビを付けている。 ○ 吹き出しで、児童の思いや願い、つぶやきを活動と結び付けて分かりやすく表現されており、活動の見通しをもつことができる。 ○ サイズの異なるページや透明シートを使用したページ、モノクロ表現でイメージを膨らませるページなど、児童の具体的活動が生まれるような工夫がされている。						

種 目	生活	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 名	生活 105 106	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
			学園				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童と身の周りの対象（人々や自然）との関わりに目を向けられるよう、児童の言葉に近い表現で単元名や小単元名が記述されており、同時に目標とする姿になっている。</li> <li>○ 学習を合科的・総合的に進めることができるように、他教科での学びを生かして記録したり、まとめたりできるよう工夫が図られている。</li> <li>○ 上下巻とも、児童の発達段階に合わせた学習カードの例が示されており、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 発展的な学習につながるよう、関連する単元や次学年の学習内容に関わる問いかけや写真が示されている。</li> <li>○ 児童に親しみやすい写真や挿絵で学習活動が記されており、学習意欲の向上が期待できる。また、各単元とも偏りなく挿絵や写真が掲載されており、学習の手立てとなりうる。</li> </ul>						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の実生活や季節などの変化に合わせた単元構成になっており、体験活動を基にした気づきの質の向上や探究的活動につながるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元のねらいと学習活動が明確に表現されているなど、学習のまとまりを理解することが容易になるよう配慮されている。</li> <li>○ 各単元に関する基礎となる知識が、写真や挿絵を用いながら示されており、単元のねらいを達成する一助となることを期待できる。</li> <li>○ 幅広い内容について示されており、学校や学校周辺の被災状況などによって、各学校の年間指導計画に適合できるような内容構成になっている。</li> <li>○ 町の人々との関わりについての学習が連続的・系統的に配列されており、志教育に関わる指導に生かすことができる。</li> </ul>						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長期的な単元の学習を段階的にできるよう工夫されており、自分自身の気づきを重ねながら、体験活動や発展的学習が進められるように構成している。</li> <li>○ 児童が関心をもちやすいよう、写真や挿絵、活動例を分かりやすく示している。また、話合いに発展する対話例などを吹き出しで示し、話合いの手立てとしている。</li> <li>○ 発表の際の話し始めの例を示したり、朱書きのある学習カードを示したりして、多様な能力の児童に配慮している。</li> <li>○ PDCAサイクルを生かした学習活動を示すことで、学習の充実化を図っている。また、自己決定の機会にできるようにしている。</li> <li>○ 上下巻とも、巻末に「まなびかたずかん」を示し、観察の仕方や発表の仕方、まとめ方など、児童の学びのみちしるべとなる例が提示されている。</li> </ul>						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挿絵や写真中心の構成を、発達段階に応じて徐々に言葉や問いかけを増やした構成にして、児童の深い学びを導けるよう工夫している。</li> <li>○ 児童が親しみやすいタッチの挿絵を活用することで、学習意欲を引き出す工夫がされている。また、写真は被写体を大きく写すことで分かりやすくしている。</li> <li>○ 言葉は精選し、最低限にしつつ、目標を大きく示したり、色彩を変えたりするなど、学習の目標をつかみやすくしている。印刷も鮮明であって、読みやすい表現になっている。</li> <li>○ 見開き単位で構成されており、図表の配置やレイアウトなどを工夫することで、多様な児童にも分かりやすい表現になっている。</li> <li>○ 堅ろうに製本されているが、児童の手でも開きやすいよう、製本を工夫している。表紙は厚い紙が使われており、破損に耐えられるようになっている。</li> </ul>						

種 目	生活	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	生 活 1 0 7 1 0 8	書 名	せいかつ上 みんななかよし せいかつ下 なかよしひろがれ
		教出					
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童と身近な人々との交流から気付きが生まれることを重視している。体験活動を通し、児童が本来もっている能力を発揮しながら、思考や表現できる内容や構成になっている。</li> <li>○ スタートカリキュラムの中核的教科として、遊びなどの幼児教育から小学校教育へとスムーズに連結できるよう、単元の構成を工夫している。</li> <li>○ 児童の発達段階に合わせた学習内容が設けられており、学習意欲を自然に引く出すことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元ごとに理科や社会科、総合的な学習の時間につながるコーナーを設けており、次学年の学習内容にスムーズに接続できるよう配慮されている。</li> <li>○ 登場する少年と少女を上下巻で同じ人物にすることで、自分自身を投影させて客観的に自身の成長を捉えることができるようにしている。</li> </ul>						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長期的な学習内容であることを配慮し、体験活動を基にした学びの連続性や系統性に気付くことができるよう、単元が配列・構成されている。</li> <li>○ 見開きごとに単元のねらいを明確に示しているため、児童が学習の見通しをもつことが容易である。また、学習の流れを明確にした絵図の配置となるよう配慮している。</li> <li>○ 各単元に振り返りのコーナーがあり、書き込めるようになっている。自己肯定感や学習意欲の向上につながることを期待できる。</li> <li>○ 1 ページごとの情報量に配慮してあり、ゆとりをもった学習ができるよう、時数等が設定されているため、学校周辺の被災状況などに合わせながら、年間指導計画に適合させられる。</li> <li>○ 上級生や町の大人と関わることで、様々なことに気付く視点を育てることを意図した構成となっており、人との関わりを重視した志教育の土台づくりに生かすことができる。</li> </ul>						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小単元ごとに、右ページに問いかけがあり、児童の自発的な探究心を揺さぶることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 教科書に登場する担任が、児童に話合いの観点などを示すことで、対話的で深い学びつなげられるよう、配慮している。</li> <li>○ 学習に必要な力や技能を明確にし、児童がくり返し活用できるよう、サイコロのアイコンを使って小単元ごとに明示し、巻末には「学びのポケット」で示している。</li> <li>○ 「理科へのまど」や「社会科へのまど」で中学年以降の学びにつなげ、生かすことができるよう工夫している。</li> <li>○ 学習の流れをつかむことができるよう、イラストを使って板書を例示している。また、学習の様子がよく分かる写真をバランスよく掲載している。</li> </ul>						
4 表 現 関 と す 体 裁 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達段階に応じて、ひらがなやルビ付き漢字を適切に用いることで、児童の読み取りに支障を来さないように配慮して表現している。</li> <li>○ 躍動感あふれる写真やイラストを活用することで、児童の学習意欲を引き出し、思いや願いを膨らませる工夫をしている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォント及びユニバーサルデザインを意識した色彩を用い、多様な児童へ配慮している。</li> <li>○ 児童が扱いやすいよう、A B版を採用している。見開き単位で構成されており、写真などの大きさも適切で、分かりやすい。</li> <li>○ 堅ろうに製本されている。さらに、表紙は厚い紙が使われており、児童の扱いに耐えられるようになっている。加えて、軽量である。</li> </ul>						



種 目	生 活	発行者の番号・略称	3 8	教科書の記号・番号	生活 1 1 1 2	書 名	せいかつ上 まいにち あたらしい せいかつ下 だいき あみつけた
			光村				
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻を通して、児童が身近な人々、社会及び自然と積極的・継続的に関わりながら学びを深めていけるように工夫されている。</li> <li>○ 活動場面には、児童が考えるためのヒントが示されており、試行錯誤したり繰り返したりしながら、自ら学びを深めていけるように工夫されている。</li> <li>○ 就学前の幼児との交流活動が取り上げられており、幼保小が円滑に連携できるように配慮されている。</li> <li>○ 上下巻ともに、飼育・栽培単元があり、継続的な活動がしやすいように工夫されている。また、地域によらず、どこでも飼育・栽培しやすい学習材が取り上げられている。</li> <li>○ 上下巻の巻末には、「ジャンプ大しゅうごう」が設けられ、各単元のジャンプ（振り返り）をまとめ、1年間の学習全体を振り返ることができるように工夫されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四季に沿って単元が構成され、配列されている。目次は、単元名が季節をイメージした色枠の中に示されており、年間の見通しを持ちやすいように工夫されている。</li> <li>○ 単元は、活動のまとまりごとに構成されており、指導の順序を柔軟に入れ替えることができるようになっている。</li> <li>○ 多様な活動場面や、様々な学習材を適切に取り上げており、地域や学校、児童の実態に応じた指導ができるように工夫されている。</li> <li>○ 全単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成されており、学習のスタートからゴールまでを児童自身が見通せるように工夫されている。</li> <li>○ 上巻では自然体験、下巻では地域やそこに住む人々の変化などが取り上げられており、学習活動や資質・能力等が段階的に高まるように、系列的に配列されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入段階「ホップ」のページは、見通しコーナーが設けられ、児童自身がその単元の学習の流れを確認できるように工夫されている。</li> <li>○ 児童の発達段階や活動内容に合った多様な表現方法が「ステップ」のページに示されているとともに、巻末の「ひろがるせいかつじてん」にもまとめて掲載されている。</li> <li>○ 他教科との合科的・関連的な指導のヒントが、吹き出しの言葉等で数多く示されている。特に、スタートカリキュラムページでは、様々な教科との関連が図られている。</li> <li>○ 単元末の「ジャンプ」のページは、児童ができたことやもっとやってみようなどをシールに書いて表現する活動を通して、自己評価ができるように工夫されている。</li> <li>○ 児童の思いや願いを大切にしながら試行錯誤し、体験活動と表現活動を繰り返しながら学びの質が高められるような学習のプロセスが明確に示されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イラストが、落ち着いた色合いで描かれており、目に優しい。鮮やかな写真とイラストが効果的に配置されている。</li> <li>○ 色覚特性のある児童でも学習に支障を来すことのないように、イラストや図版の配色が配慮されている。</li> <li>○ 複数の写真やイラストを組み合わせて構成したページでは、それぞれの境界をはっきりさせて見分けやすいようにするなど、特別支援教育への配慮がされている。</li> <li>○ 吹き出し内の文字は、会話の様子が表れるように手書き風の文字になっている。また、その文字はとめやはらいに配慮した字形が使用されている。</li> <li>○ 印刷は、環境に優しい植物油インクで印刷されており、鮮明で見やすい。</li> </ul>						

種 目	生 活	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	生 活 1 1 3 1 1 4	書 名	わ く わ く せ い か つ 上  い き い き せ い か つ 下
		啓 林 館					
1 内 容 に 関 連 す る こ と	○ 写真やイラストの資料に偏りがなく、配置や大きさ、構図も工夫されており、児童が興味関心を持ち楽しみながら学習を進めることができるように配慮されている。 ○ 各単元が、導入「わくわく」展開「いきいき」終末「ぐんぐん」の3段階で構成され、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 ○ 対象に直接働き掛ける学習活動や気付いたことなどを表現する活動を通して、児童の学びの質が高まるように工夫されている。 ○ 児童の安全指導に関するページでは、自然災害や交通災害の適切な行動や基本的な知識が身に付くよう資料が充実している。 ○ 単元末「ぐんぐん」では、振り返りの視点が示されており、児童が自分の成長や学びの深まりを実感し、次の活動へつなげることができるように工夫されている。						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	○ 主として、上巻は「学校」、下巻は「地域」を主とした活動が展開できるようになっており、学習指導要領の9つの内容が児童の発達段階を配慮して配列されている。 ○ 上巻、下巻ともに、季節に沿って単元が構成され、単元が進むにつれて活動が広がり、深まっていくように構成されている。 ○ 体験・活動を通して学んだことを表現する言語活動が、児童の発達段階を考慮して系統的に設定されている。 ○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえたスタートカリキュラム単元が設定されており、幼児期教育との接続が十分に配慮されている。 ○ 活動例や学習対象が多様に紹介されており、その中から、学校や児童の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。						
3 学 習 と 関 指 導 に 関 連 す る こ と	○ 「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の合い言葉で、3段階の構成になっており、児童が学習の進め方をイメージできるように工夫されている。 ○ 活動の中で生まれた気付きや次の活動への願いが、めくり言葉として示されており、児童の主体的な学びの実現に向けて工夫されている。 ○ 「すたあとぶっく」は、幼児教育の発想をふんだんに取り入れ、合科的・関連的な学習活動が工夫されている。 ○ 「すてっぷぶっく」は、2年間の生活科を振り返る中で、学習への満足感や自分の成長を感じて3年生へ進めるように工夫されている。 ○ 「がくしゅうずかん」は、記録カードの書き方やまとめ方、話合いの進め方等が児童に分かりやすく明記されており、学び方が自然に身に付くように工夫されている。						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	○ ユニバーサルフォントが使用されていたり、紙面内の構成要素の位置が原則固定となっていたりして、児童の多様性に配慮されている。 ○ 各挿絵のイラストやキャラクターがかわいく描かれ、児童が親しみやすいものになっている。 ○ 紙面に登場するイラストには、車いすに乗っている児童や外国人の児童などが登場しており、多様性に配慮されている。 ○ 教科書の裏表紙に、「じぶんのまあく」を描く場所があり、生活科の教科書や学習に愛着を持てるような工夫がされている。 ○ 上巻はひらがなのみの表記から始まり、国語科の指導と合わせて、段階的に片仮名や漢字が使用されている。						

種 目	生活	発行者の番号・略称	26	教科書の記号・番号	生活109 生活110	書 名	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ
		信教					
1 内容 に関する こと	○ 小学校生活への入門期であることを配慮し、学校の施設や学校で働く人々や友達、自然に興味・関心をもてるような内容が工夫されている。 ○ 児童にとって身近で、地域の豊かな自然環境や日常的な事象を取り上げ、直接体験を通して培われる、感じる心や感じる体を大切にした内容となっている。 ○ いつもの遊び場や散歩道などを取り上げることで、四季を通して繰り返し足を運び、多様な気付きや発見、ふるさとへの愛着が深められるよう工夫されている。 ○ 児童の活動写真やイラストを生活や季節の活動に応じて位置付けることで、四季の移り変わりを実感できるような内容になっている。 ○ 活動での「感動体験」、試す・確かめるなどの「探求活動」、体験を振り返る「表現活動」を多様に示し、より深い学びや活動につながるように工夫されている。						
2 組織と 関配 す列 るに こ と	○ 児童の生活や季節に合わせた単元構成となっており、四季を感じ取りながら探求活動や栽培活動を進められる配列となっている。 ○ 季節の変化と関わりのある地域の行事に込められた人々の願いや思いを調べる活動を扱い、人々と関わりながらくらしをつくっていけるように構成されている。 ○ 公共施設について児童が自然に興味関心をもって単元が展開されるよう、地域の行事との関わりなど単元間のつながりに配慮されている。 ○ 各単元において、多様な体験活動や探求活動、表現活動が示されており、学校や児童、地域の実態に応じて活動を展開できるようになっている。 ○ 小1プロブレムや入学期の児童の発達特性を考慮し、遊びや活動を重視して総合的に学習を展開できるよう配慮されている。						
3 学 習 と 関指 す導 るに こ と	○ 栽培・飼育など動植物との継続的な関わりを大切にし、長期的な活動を位置付け、家庭・地域や外部機関と連携して課題を解決していけるようになっている。 ○ 実践に基づいた児童の姿や発せられる言葉を、吹き出し、対話、詩、作文などで示し、体験や活動の質が高まるような工夫がされている。 ○ 全単元にわたって挿絵で個々の児童の願いや実態に応じて選択したり発展したりする学習の展開が図れるよう個に応じた学びに配慮されている。 ○ 各単元での振り返りの場面を大切にし、自分や友達、地域との関わり方などを通して自分の成長に気付くことができるように工夫されている。 ○ 聞き取りやインタビューの仕方、地域調べと地図への表記など、他教科や3年生以降の教科との関連、情報機器の導入等総合的な学習の時間との関連も考慮されている。						
4 表 現 と 関体 す裁 る等 こ と	○ 国語科における文字の習得に配慮し、上巻のはじめは平仮名表記、後半からは片仮名での表記、下巻においてはルビを付けて全ての児童が読めるようにしている。 ○ 上巻における文章表記は少なめで、下巻においては適切な文字の大きさとなっている。写真やイラストの色彩や印刷が鮮明で、全てカラー印刷されている。 ○ 児童目線による写真やイラストが取り入れられ、観察や探求活動のヒントとなるよう配慮されている。 ○ 振り返りや共有場面を意識できるように、写真やイラストで活動の流れを示し、見通しをもって学習できるような表現が工夫されている。 ○ 再生紙、植物油インキを使用し、見開き部分には丈夫な用紙が使われ、内容が多くの人に伝わるようにカラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。						

種 目	生 活	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	生 活 1 1 5 1 1 6	書 名	わたしとせいかつ 上 みんな なかよし わたしとせいかつ 下 ふれあい だいすき
			日 文				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元に、学習のめあてが明示されていることで、授業で何に着目させ、どう展開させていくかが明確になっている。</li> <li>○ スタートカリキュラム、学校探検などで、実践写真を用いながら繰り返し安全についての指導を行えるようになっている。</li> <li>○ 身近な人々や社会との関わりが多く紹介しており、そのことにより、児童自身が身近な人々の存在に気づき、自ら進んで関わろうとする意欲をもつことができる。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻共に、スタートカリキュラムが取り入れてあり、児童が学習に適応しやすくなっている。</li> <li>○ 地域や児童の実態に合わせた単元構成になっており、自校に合った指導計画が立てやすくなっている。</li> <li>○ 単元毎に、「めあて」、「活動」、「振り返り」の構成となっており、児童が見通しをもって取り組めるようになっている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入から振り返りまでの板書が掲載されていることで、児童が見通しをもち、持続的に意欲をもって取り組めるようになっている。</li> <li>○ 学習活動を振り返る内容や、次の学びにつなげる活動などを「まなびのまど」で示してあるので、児童の学習への意欲を継続することができる。</li> <li>○ 子供の発達段階に合わせた学習カードを作成し例示してあるので、より児童が使いやすいものを工夫して作成することができる。</li> <li>○ 板書事例やキャラクター、巻末の「ちえとわざのたからばこ」など、知識や技能を自然に身に付けることのできる学習材が多く盛り込んである。</li> <li>○ デジタルカメラや実物投影機など、ICT活用についての場面も例示されており、どの場面で活用したらよいか分かりやすくなっている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の見通しをもつことができる実践的な写真が多く使われており、児童はそれを見通しをもった学習活動ができる。</li> <li>○ 文字の大きさや色使いなど全体的に、ユニバーサルデザインを取り入れている。</li> <li>○ 学んだことを振り返り、次への学習意欲が高まるような学習カードの活用が紹介されており、児童の学習の定着と、学習意欲へとつながるようになっている。</li> <li>○ 活動内容の紹介では、児童が創意工夫できたり、対話のある活動がイメージできたりするような写真や、吹き出しで構成されている。</li> <li>○ 掲載されている学習カードなどは、表記の仕方を十分考慮するなど他教科との関連についても配慮されている。</li> </ul>						

種 目	音 楽	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 7  教 芸	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	音 楽 102 202 302 402 502 602	書  名	小 学 生 の お ん が く 1 小 学 生 の 音 楽 2 小 学 生 の 音 楽 3 小 学 生 の 音 楽 4 小 学 生 の 音 楽 5 小 学 生 の 音 楽 6
1  内 容 関 連 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の発達段階に応じた無理のない内容構成になっており、学年が上がるにつれて、着実に学習を積み重ねられるように内容の工夫がなされている。</li> <li>○ 身近にある音楽を通して、いろいろな伝統や文化との関わりを感じ、豊かな情操を育むことができるように工夫されている。</li> <li>○ 身体表現を多く取り入れたり、音楽づくりを「学び・思い・意図」を相互に生かせるようにし、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年において、児童が一年間の見通しを持って学習ができるように、「学びの地図」を掲載し、学習の充実と発展を図れるように工夫されている。</li> <li>○ いろいろな国やジャンルなどを考慮し、6年間で広く触れられるように取り上げられている。また、作詞者・作曲家・編曲者や演奏に関わる内容が明示されている。</li> </ul>						
2  組 織 と 関 連 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 系統性をもって発展的に教材が配列されており、音楽の学習における資質・能力が高まるように表現や鑑賞を関連づけている。</li> <li>○ 題材のねらいや学習内容が明確で、表現や鑑賞の活動が教科全体や各学年の目標を踏まえた内容になるようにまとめられている。</li> <li>○ 教材の配列が相互に関連性を持ち、積み重ねの学習や繰り返しの学習が行われるように配慮されている。</li> <li>○ 題材、教材の分量やバランスは、学年の授業時数を配慮したものとなっており、各校の実態に応じて年間指導計画を作成できるようになっている。</li> <li>○ 音楽にまつわる情報をコラムとして掲載したり、地域に伝わる郷土芸能を紹介したりするなど、児童の生活や各地域の実態を考慮した教材の配列が工夫されている。</li> </ul>						
3  学 習 と 関 連 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「音楽を形づくっている要素」を各題材ごとに示したり演奏技法を図で分かりやすく提示したりし、児童が主体的に音楽活動に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ キャラクターによる吹き出しなどで、学習の仕方や考え方のヒントになるよう工夫されており、児童が「主体的・対話的で深い学び」ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 題材ごとに教材、活動、程度などを柔軟に選択できるように組織されていることから、個性や能力に応じた取り扱いができるように工夫されている。</li> <li>○ 音楽活動を切り口にして、他の学習に広げられるような曲やコラムを取り上げることにより、発展学習につながるように配慮されている。</li> <li>○ 学習したことが定着できるよう振り返りのページを設けたり、発展的に学習ができるようにQRコードを適宜提示されている。</li> </ul>						
4  表 現 と 関 連 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材理解に必要な情報を写真や挿絵として提示したり、学年の発達段階に応じて活動の見通しが持てるような説明や問い、アドバイス等を見やすく表記したりしている。</li> <li>○ イラストや写真などの取り上げ方に工夫が見られ、児童が親しみや魅力を感じることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字の配置は、学年に応じて見やすく表記されており、必要に応じて色や囲みを変えるなど、工夫されている。</li> <li>○ 児童の学習活動に必要な図表やワークシートを掲載し、理解を深め定着を促すような配置やレイアウトがなされている。</li> <li>○ 再生紙や植物性インキを使用しており、環境への配慮がなされていると共に、開きやすく繰り返し使用に耐えられる丈夫な作りになっている。</li> </ul>						

種 目	音 楽	発行者の 番号・略称	1 7	教科書 の記号・ 番号	音楽	1 0 1 2 0 1 3 0 1 4 0 1 5 0 1 6 0 1	書 名	小学音楽 小学音楽 小学音楽 小学音楽 小学音楽 小学音楽	おんがくの 音楽のおく りもの	の 1 の 2 の 3 の 4 の 5 の 6	
			教出								
1	内容 関 す る こ と										<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目標及び内容をふまえて精選された内容と教材になっており、児童の主体的な学びとの関連も図りながら、音楽の目標が着実に達成できるよう配慮されている。</li> <li>○ 児童の生活や経験と結びついた教材が多く、音楽活動を通して豊かな情操を育み、将来の夢や希望を持つことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 楽器の使い方が細やかなステップアップで活用できるようになっているなど、児童の発達段階を考慮して、学習意欲を高められるよう配慮されている。</li> <li>○ 身体表現を多く取り入れたり、琴や篠笛を学習したりするなど、幼・小・中の学びのつながりを意識し、学習の充実と発展を図れるように工夫されている。</li> <li>○ 内容や教材に偏りが無く、いろいろな国やジャンルを取り入れている。また、作詞・作曲・編曲者や演奏に関わる内容が明示されている。</li> </ul>
2	組 織 と 関 配 す 列 る に こ と										<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 領域・分野ごとの系統性に基づいて教材が配置されており、学習を振り返るマークが施されるなど、積み重ねに配慮されている。</li> <li>○ 発達段階に配慮された題材のねらいが明示されている。また、表現や鑑賞の活動が効果的に組み合わせられるようになっている。</li> <li>○ 「スキルアップ」で常時活動を促したり、「音楽のもと」で授業のポイントを確認したりできるように、基本の学習や発展的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 適切な分量で、児童に分かりやすく示されている。また、教材を組み合わせることにより、各学校の実態や指導計画に柔軟に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 共通教材の他に「音楽ランド」や「日本の歌、季節の歌」に多くの歌を掲載すると共に、児童の生活や各地域の実態に合わせて教材が配列されている。</li> </ul>
3	学 習 と 関 指 す 導 る に こ と										<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として明示し、それを中心に基礎的な知識・技能を取得できるような配慮がなされている。</li> <li>○ 透明シートや巻末資料を用いることで興味や関心を高めたり、「学び合う音楽」のコーナーを使って、児童が見通しをもって主体的な学びができるよう工夫されている。</li> <li>○ 様々な曲を取り上げていることにより、児童の実態に合わせて選択したり取り上げたりできるように配慮されている。</li> <li>○ 音楽に関わる様々なジャンルの人からのメッセージや復興に関わる内容を取り上げるなど、他教科等と関連して学習が深められるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習に関わる図表や挿絵等が見やすく適切に配置されており、必要に応じてウェブのページで確認できるよう工夫されている。</li> </ul>
4	表 現 と 関 体 す 裁 る 等 こ に と										<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容や活動の流れが理解できるよう発達段階に合わせた表現が使われており、「音楽のもと」などで使用する言葉等も正しく表記されている。</li> <li>○ 児童が音楽活動に親しみや魅力を感じられるよう、見開きにした大胆な写真やレイアウトにするなど工夫がされている。</li> <li>○ 必要な言葉は色を変えて強調するなど、教材の内容に合わせ、視覚的に見やすくするなどの工夫がされている。</li> <li>○ 必要に応じて書き込みができるレイアウトにするなど、児童の学習活動に合わせた配置になっている。</li> <li>○ 3年生以上は高さが大きくなっており、楽譜や指導内容が十分掲載できるようになっている。また、折り込み部分には十分な厚さの紙が使用されている。</li> </ul>

種 目	図画工作	発行者の 番号・ 略称	116  日本文教	教科書の 記号・ 番号	図工 103 104 303 304 503 504	書  名	ずがこうさく1・2上 たのしいな おもしろいな ずがこうさく1・2下 たのしいな おもしろいな 図画工作3・4上 ためしたよ 見つけたよ 図画工作3・4下 ためしたよ 見つけたよ 図画工作5・6上 見つけて 広げて 図画工作5・6下 見つけて 広げて
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱に基づく学年に応じた学習のめあてと題材で求められる内容が児童向けの言葉で示されているので、指導者にとっての評価の手だてとすることができる。</li> <li>○ 低中高それぞれ2年間見通しをもち、児童の資質と能力を育てるために必要な指導内容が計画されている。</li> <li>○ 題材名とともにリード文で活動への意欲を引き出す投げかけの言葉で表現され、発達段階に合わせながら題材を系統的に設定し学びをつなげる題材構成になっている。</li> <li>○ 精選された内容が構成の順番も吟味された学習の充実と、更に発展を図ることができる工夫がされている。</li> <li>○ 心が動く・学びを支える・学びを広げる三つの視点に沿った、教育課程編成を支える、偏りのない豊富な題材で構成されている。アーティストやその作品、美術館、プロジェクトや取組の例などについては出所、出典を味覚に示している。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの学びを振り返ることによって、その学びを児童が明確に自覚するとともに、次の学びに生かし学び続けることができる学習効果を考えた内容となっている。</li> <li>○ 観点別の評価を基に見取る内容と個人内の評価を通して見取る2段階を設定し、表示もしている。</li> <li>○ 充実した実践ができるよう活動の仕方についてもいくつかの例を示しているのので、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図ることができ、更に発展的な学習へ選択しながら学びをつなげることができる。</li> <li>○ 年間計画や学校や児童の実態に応じて選択できるよう、同一の題材につき活動内容や活動場所のパターンを複数示している。</li> <li>○ 地域文化や日本の伝統文化について考え、伝統工芸や地域の良さを作品や伝える活動の事例をあげている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題を解決する思考力・判断力・表現力を育成し、主体的な学習態度の形成を進めることができるよう6年間の経験を見通した構成となっている。</li> <li>○ 学びを支える点として、導入、意欲の引出、目当ての共有、確認、対話を含めたヒント、気付き、活動振り返り、生かす、など主体的、対話的で深い学びを実現するための展開や設定の仕方について見開きのページを活用して指導者が考えることができる。</li> <li>○ 児童の多様な個性や能力に広く対応できるよう実際に試しながら発想を広げることができるように、児童が材料や対象に働きかけたくなる行為をテーマにしている。また、生活や社会の中にある多様な図版を掲載し、児童の身近なものから美術作品まで示し個性や能力に広く対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「図画工作のつながる・ひろがり」のページには、地域やや中学生などと繋がる取組とについて挙げられ、文化や歴史についての対話やまとめた作品紹介などを通して、総合的な学習のテーマや課題とも関連付けることができる。また道徳との関連性の高い題材についてページにマークで表示し対話に結び付けることができる。</li> <li>○ 挿絵や図表及び写真などについては材料や用具の基本的な扱い方を丁寧にわかりやすく丁寧に示している。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資質・能力の三つの柱に基づく学年に応じた学習のめあてが挙げられていると共に、題材の内容が示されて児童に分かりやすい。</li> <li>○ 実際の児童作品だけでなく取り組む過程の児童の姿と共に紹介されているので、制作工程を想像しやすく更に自分にもできるという意欲と期待感を持たせることができる。また、アーティストとその作品の紹介ページにより、作品や制作に対し魅力を感じることができる。</li> <li>○ 各学年の活字、字体、また、めあて、活動の種類や道具のマークの統一がされ見やすい。また、学年に応じた更には「！」や「？」により興味関心をひきつけ、意欲を引き出そうとする工夫がされている。題材名についても、学習や活動内容に合わせた色使いや書体に工夫が表れている。</li> <li>○ 色使いや写真のサイズの違いにも工夫がみられる。更に児童だけでなく、キャラクターのつぶやきの吹き出しにより、児童が活動中の品ヒントやアドバイスを得ることができる。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインに配慮され、植物性インキと再生紙を使用している。ミシン目が細やかであり丈夫に作られている。ゆえに低学年は慣れるまで開きづらいページもある。</li> </ul>						

種 目	図画工作	発行者の 番号・略称	9  開隆堂	教科書の 記号・番号	図工 1 0 1 1 0 2 3 0 1 3 0 2 5 0 1 5 0 2	書 名	ずがこうさく1・2上 わくわくするね ずがこうさく1・2下 みつけたよ 図画工作3・4上 できたらいいな 図画工作3・4下 力を合わせて 図画工作5・6上 心をひらいて 図画工作5・6下 つながる思い
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材の目標として三つの育てたい資質・能力に対応した「学習のめあて」を冒頭に明示され、目標に向かって活動できるよう製作の流れが写真やコメントが掲載される等、見通しをもって主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 「みんなのギャラリー」には、各地域の伝統的な文化や歴史に関する資料があり、地域や身近な社会への関心を高め、美術的な観点から地域をより深く学べるよう配慮されている。</li> <li>○ 児童の発達段階に応じた題材内容を精選し、活動の様子や作品例、製作手順の流れを順に写真やイラストで示し、「学びのギャラリー」で鑑賞の方法等を示し児童が、学習意欲を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 各学年の目標に対応した題材を設定し、児童の意欲・関心をもち主体的に取り組めるよう学習のめあてを示し、それに対応したふりかえりの設定、「発想を広げよう」の資料など学習の充実と発展が図れるよう配慮されている。</li> <li>○ 各学年の発達段階に即した題材・領域が、偏り無く精選して掲載されており、掲載された作品については、作品名や作者等が明記されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の発達段階に応じて題材を精選し系統立てて配列されており、各題材で基礎的・基本的な内容を定着させ、その既習事項を生かして次の題材に取り組めるように配慮されている。</li> <li>○ 各題材のめあてについて「学習のめあて」として明示してあり、特に重点的なめあてについては色分けし、各題材において育てたい力の内容を配慮した題材構成になるよう配慮している。</li> <li>○ 各題材で必要な技法について、写真やイラストでの説明があり、また、基礎的・基本的な制作方法等については、巻末の「学びの資料」で確認ができるよう配慮されている。さらに「ためしてみよう」で発展的な内容の作品を紹介する配慮がされている。</li> <li>○ 各題材の内容の分量について精選しており、材料や表現方法等多様な作品例が掲載され、各学校の年間指導計画や児童の関心・実態から幅広く選択できるよう配慮されている。</li> <li>○ 児童にとって身近にある材料を使った題材や作品例を数多く掲載し、発想や構想が広げられるように題材の配列が工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習で使う用具や技能等のコーナーが写真やイラストを使用し、基礎的・基本的な知識や技能を習得し活用することにより思考力や表現力等を育成や主体的な学習態度の形成ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 「学習のめあて」についてキャラクターを使用し児童がより分かりやすくめあてをつかみ、活動できるようヒントを明示し、主体的・対話的に活動できるよう配慮されている。</li> <li>○ 児童の発達段階や多様な個性等に対応できるよう、多様な活動の様子や作品例、活動や技法のヒント等が示されており、児童の個性に応じた活動や製作ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 「あわせて学ぼう」があり、関連する教科名を明示し、他教科で学習したことを生かしながら活動できるよう教科横断的な学習ができるよう工夫している。</li> <li>○ 必要な材料や作り方等を製作順に説明文と共に写真やイラストが適切に配置し、QRコードで、ウェブページにつながるができる。また各安全コーナーと巻末の「学び資料」で安全の配慮をしている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年の発達段階に合わせて、題材と共に児童が取り組む内容について発想や構想を広げられるような説明文や学習のめあてが明示してあり、児童が見通しをもって取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 表紙を開くと、書名の題字に即して著名な作家の作品や学習する内容に関する写真や資料が掲載され、導入時に、児童が意欲を持って取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 題名や説明の文字の字体や色は、分かりやすく見やすいように項目毎に統一されており、より作品や文字や見やすいように、背景色を工夫しており、カラーユニバーサルデザインに配慮がなされている。</li> <li>○ 制作過程や活動の様子が写真や吹き出し、矢印と共に掲載され児童が戸惑うことなく見通しをもって取り組めるよう配置や大きさが工夫されている。</li> <li>○ 製本については、開いて扱いやすいページ数と安定した製本になっている。また、環境に配慮した用紙やインキを使用している。</li> </ul>						



種 目	家庭	発行者の番号・略称	9 開隆堂	教科書の記号・番号	家庭 502	書 名	小学校 わたしたちの家庭科 5・6
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生活の営みにかかる見方・考え方」を働かせて生活を見つめることができるよう、「案内役クローバー」を設定し、学習が進めていける内容となっている。</li> <li>○ 生活の中で心がけておきたいこととして「防災マーク」が随所に設けられており防災意識を高めることができる内容となっている。</li> <li>○ 発達の段階を考慮し、基礎的なもの、易しいものから段階的にで習得できるよう配慮されている。実習後には技能レベルに合わせた実践例・製作例が示され、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容が精選されており、児童が学習のポイントをつかみやすいよう配慮されている。また、各題材の最後には「生活に生かそう」のコーナーが設けてあり、家庭での発展的な実践につなげやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 学習内容に偏りがなく、児童が活用しやすい資料が提示されており、その出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な内容から始まり、それを生かした応用的・発展的な技術の習得になるよう配列している。また、技能の習得レベルに合わせた実習を行えるように配慮されている。</li> <li>○ 学習のめあては、大題材ごとに「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の各項目で示されており、学習内容が明確で、児童が見通しを持って取り組めるようになっている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識および技能をスモールステップで習得できるよう配列されている。また、学んだ内容を活用し、発展的な学習ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各学年の題材内容の分量が適切に配列されている。題材が細かく区切られているので、各学年の年間指導計画に柔軟に対応できる内容となっている。</li> <li>○ 住生活と環境、消費生活と環境など、地域や学校事情等に合わせた使い方ができるつくりとなっている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活の中から課題を見つけられるような「なぜ・何・どのような」等の記述が配置され、主体的に学ぼうとする意欲を高めることができる。さらに「見つける・気付く」「わかる・できる」「生かす・深める」の流れに沿って課題解決に向かうことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう配慮されている。</li> <li>○ 各題材の導入を「フォトランゲージ」で始めることにより、一人一人の気付きをもとにした主体的・対話的で深い学びに繋がる工夫がなされている。</li> <li>○ 児童が「つくってみたい」と感じる実践例や製作例が豊富にあり、多様な個性や特性（例：右利き、左利き）及び能力に対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 様々な学びとの関連を示すアイコンマークを設けることにより、他教科との関連について一目で分かるようになっている。また、中学校との関連は巻末に示されている。</li> <li>○ 図や写真、イラスト、QRコード、「一口メモ」などが適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が理解しやすいような平易な文章で書かれており、また行末に単語が切れないうよう調節されるなど配慮されている。</li> <li>○ キャラクターの吹き出しによる語りかけや、分かりやすい写真・イラストにより、児童の関心を高め、親しみやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。重要語句を太字にして、表記のめりはりをつけている。</li> <li>○ 課題を解決するための手掛かりとなる写真や本文内容の理解を助ける資料が、効果的な配置、分量で示されている。</li> <li>○ 製本は堅ろうであり、表紙には水に強い加工が施されている。また、再生紙・植物油インキを使用しており、環境に配慮されている。</li> </ul>						

種 目	家 庭	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	家庭501	書 名	新しい家庭5・6
		東書					
1 内 容 関 連 す る こ と	○ 巻頭で家庭科の見方・考え方4点を説明し、それらを働かせて生活を見つめるために、各題材の冒頭に「家庭科の窓」を設定し、重視すべき視点を明示している。 ○ 多くの題材に伝統文化に関する内容や地域の人々、各界のプロのインタビュー記事等を掲載し、郷土の歴史・文化への理解を深め、仕事や生活への興味が高められる。 ○ 発達段階を考慮し、日常生活に生かせる活動例や実習例を重点的に取り上げている。 ○ 学習の充実を図ることができるよう「活動 深めよう」が配置されている。また、「実践の進め方」を示し、学んだことを家庭で活用しやすいように工夫されている。 ○ 学習内容に偏りがなく、内容に広がりをもたせる資料があり、その出所、出典が明示されている。						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	○ 学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて、系統的に配列されている。基礎的な知識・技能の多くを5年生で学習できる配分とし、6年生で更に難度の高い知識・技能の習得につながるよう配列されている。 ○ すべての大題材を①課題発見、②課題解決・実践活動、③評価・改善の3ステップで展開し、ステップ毎の学習のめあてがタイトル下に示されていて、見通しをもって学習が展開できるように配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な内容を、「いつも確かめよう」として巻末資料としてまとめて示したことで、何度も確認することができ、定着につながるよう配慮されている。また、全ての大題材で家族や家庭生活と結びつくよう配慮されている。 ○ 複式学級や実習、学習環境等の整備や準備がしやすいように、第5、6学年で時期により指導内容を同時期に行うよう配列されている。 ○ 大題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるものになっている。						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を実習とセットで扱い、実生活に生かせるようにしている。また、3ステップの問題解的な学習及び小題材に「活動」を設置することによって、思考力・判断力・表現力等を育むことができるよう配慮されている。 ○ 各大題材には、学びを深めるために必要な活動が明確な指示とともに掲載されていることで、主体的・対話的で深い学びを実践につなげられるようになっている。 ○ 全ての大題材の導入に、タイトル、リード文、学習の流れを明示し、学習の見通しが立てやすいよう工夫している。また、児童の手や体の巧緻性に配慮した写真や、童の多様な個性や特性(利き手による違い)及び能力に対応できるよう工夫されている。 ○ 「他教科との関連を示すマーク」や、各学年に「まとめ」のページを設定することで、他教科等や中学校の技術・家庭科の内容との関連が図れるよう配慮されている。 ○ インターネットに接続詞が活用できる「Dマーク」が配置され、学習を支える関連資料や基礎技能等の動画の視聴が可能である。						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	○ 国語科との関連を図り、6年生の担当漢字には、見開きごとにふり仮名が付けられている。また、絵や写真は、ジェンダーフリーや共生に配慮したものとなっている。 ○ 学習を導くキャラクターの語り掛けが児童の気付きを促し、児童と等身大の男女のキャラクターによって親近感をもたせ、学習意欲を喚起するよう配慮されている。 ○ 写真が鮮明で、実習のイメージをもちやすい。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザイン教科書体を使用し、且つ、カラーバリアフリーとなっている。安全、防災、日本の伝統等に注目するための各種マークが設定されている。 ○ 判型は、A4判を用い、ゆったり一つの実習を見開きで概観することができるようなレイアウトになっており、且つひらいた状態を保持できる。 ○ 2年間の使用に耐えるよう、堅ろう且つ軽量の紙を使用し、表紙は防水・強度の高い加工が施されている。再生紙・植物油インキを使用するなど環境にも配慮している。						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2  東書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 3 0 1 5 0 1	書  名	新 し い ほ け ん 3・4 新 し い 保 健 5・6
1  内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領で求められる問題解決的な学習が意識されており、主体的・対話的で深い学びとなるように各項目が4つのステップで構成されている。</li> <li>○ 学校や地域で健康や安全を守るために様々な人が働いていることを取り上げ、普段の生活や自分の将来の生き方について考えられるような配慮がされている。</li> <li>○ 児童の学習意欲が高められ、実生活に生かせるような写真やイラストが資料として掲載されている。また、思考・判断・表現したことを記述する欄が設けられている。</li> <li>○ 児童にとって身近ですぐにでも取り組めるような内容が取り上げられており、実践を促すことが出来るよう配慮されている。</li> <li>○ 内容、資料ともに偏りが無い。今日的な健康課題についての資料を豊富に取り上げている。出所、出典も明記されている。</li> </ul>						
2  組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の配列に合わせて各学年の内容が配列されている。また、他学年の保健の内容と他教科との関連が図られている。</li> <li>○ 各章の始まりに課題から目標達成までの学習内容が示されていることで、児童自らが見通しをもって学習を進められるように配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容が簡潔に書かれており、特に大切な部分についてはゴシック体で示している。</li> <li>○ 単位時間の巻末に資料があり、発達段階に応じた発展的な内容になっている。</li> <li>○ 基本的に1項目を1単位時間4ページ構成されており、2時間扱いとなる項については区切りとなる箇所が明示されている。</li> <li>○ 各項のまとめでは実生活と関連づけて考えられ、今後に生かせる工夫がされている。</li> </ul>						
3  学 習 と 関 指 す 導 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各項の冒頭で「学習の課題」を明示し、その課題解決に向けて考えたり調べたりする活動とそれをもとに話し合ったり伝え合ったりする活動が設定されている。</li> <li>○ それまで学習したことをもとに考え、調べ、話し合い、まとめるという主体的・対話的で深い学びが中心となる学習になるように配慮されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインの観点から紙面の色数が限定されている。また、デリケートな内容については「個人差」という記述を多く用いている。</li> <li>○ 関心や意欲を高めたり、気付きを促すための挿絵や図表、写真等が配置されている。また、Dマーク（デジタルコンテンツ）が掲載されている。</li> <li>○ 自然災害に関する学習では、備えや起きた時の対策だけではなく、自分ができることを考えられるようになっている。</li> </ul>						
4  表 現 と 関 体 す 裁 る 等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章表現が各学年の発達段階に応じたものになっており、ふりがなについても初出だけでなく、必要な漢字全てに付けられている。</li> <li>○ 文字の色彩や字体は表題や学習事項等であえられており、特に字体については独自に開発した字体を用いて従来よりも太く視認性に優れたものになっている。</li> <li>○ 色彩については色覚の多様性に配慮されており、見やすく、落ち着いたレイアウトを意識した工夫がされている。</li> <li>○ A4サイズでイラストや図、表、写真が大きく視覚的に児童の興味関心を高められるように配慮されている。</li> <li>○ 用紙は書き込みがしやすく、軽量で丈夫な再生紙が使用されている。また、表紙も高防水効果、強度を高める加工が施されている。</li> </ul>						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4  大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 3 0 2 5 0 2	書 名	たのしい ほけん たのしい 保健
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の保健領域に新しく追加された「技能」について確実に習得できるように実習の活動が設定されている。</li> <li>○ 章のはじめに「学習ゲーム」を掲載し、行うことで課題に気づき、意欲的に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 学校や地域で保健活動に関する職業を紹介することで身近な健康を支える人々に関心を持つとともに自分のこれからの生活について考えられるよう配慮がされている。</li> <li>○ 課題解決の学習を進めることで児童が課題を見つけ生活に活かせるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容、資料ともに偏りが無い。現代的な諸課題について多くの資料を取り上げている。出所、出典も明記されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に沿って身近な生活における健康安全に関する基礎的な内容を分かりやすく実践的に学習できるように工夫されている</li> <li>○ 各項のはじめに自らの課題に気付くことができ、また、学習内容が示されていることから見通しをもって学習を進められるようになっている。</li> <li>○ 学習の最後に「活用して深めよう」と学習した内容を更に深めたり、広げたりすることが出来るように配慮されている。</li> <li>○ 1単位時間が見開き2ページで構成されている。指導計画は3学期制、2学期制に対応しており、各学校の年間指導計画に広く適合できる内容・分量となっている。</li> <li>○ 教材が身近なものから地域社会へと配列させており、また家庭や地域で学習したことを活用できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての章で自らの課題を発見し、主体的に考えたり資料から読み取ったりする活動や話し合い、今後の生活に生かそうとする活動が設定されている。</li> <li>○ 章の終わりに知識・技能を定着させるための問題の設定やケガの手当の方法等について技能を習得するための活動の設定がなされている。</li> <li>○ 他教科と関連した題材を適宜扱う内容になっており、他教科に関連していることが分かるようにマークで示されている。</li> <li>○ 自然災害に関する学習では、起きた時の対策だけではなく、安全マップ作成を作成し普段から身の回りの危険を意識するように配慮されている。</li> <li>○ 挿絵、図表等が関心や意欲が高められるよう配置されている。また、デジタルコンテンツが用意されており、それに対応するものにマークが示されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字は原則的に学習指導要領に示されている配当学年より1学年遅らせて使用することにより読みやすい工夫がなされている</li> <li>○ グラフや表については児童が視覚的に興味・関心をもてるように配慮されている。特に参考資料については科学的根拠にもとづいた最新のデータを採用している。</li> <li>○ 文字の大きさや字体、色については見やすく読みやすいように配慮されており、ユニバーサルデザインの観点から配色も工夫されている。</li> <li>○ 写真やイラストについては大きく効果的に配置されており、学習内容が児童に伝わり康用に工夫されている。</li> <li>○ 環境に配慮した紙や化学物質に過敏な児童に配慮し、植物油インキを使用している。表紙は丈夫で折れにくいコーティングを施している。</li> </ul>						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 0 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 3 0 3 5 0 3	書 名	わたしたちのほけん 3・4年 わたしたちの保健 5・6年
			文 教 社				
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康的な生活やそのための行動等を児童の実生活と関連付けた学習内容であり、実践に結びつけることができるようになっている。</li> <li>○ 県教育委員会の体育科における重点事項である、運動領域との関連をもたせた指導となるよう、各単元の章末には「わたしの〇〇せん言」コーナーが配置され、習得した知識を運動を含めた実生活へつなげさせる工夫がされている。</li> <li>○ 被災地として、災害時の対応に加え、減災の視点として、自分の行動である「自助」に加え、身近な地域住民との「共助」、自治体の「公助」まで取り扱っている。</li> <li>○ 児童にとって身近で、現代的な諸問題に関する資料を多く取り上げている。</li> <li>○ 資料は官公庁などの信頼性のあるものを取り上げ、出所、出典も明記されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に基づいた内容で取り上げ、児童が各学年や運動領域と関連付けて学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 大単元のはじめに、学習の見通しをもたせるとともに、身近な生活から学習課題を見付け出し、自ら解決するような「動機付けページ」が配置されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識が身に付く内容、配列となっている。また、発展のコーナーが設けられ、身近な人、地域へも目を向け、将来について主体的に考える場面や、資料を通して発展的な内容にも対応できる配慮がなされている。</li> <li>○ 一単位時間のページ数が、学習内容によって柔軟に構成されている。また、年間指導計画に適合できる内容・分量となっている。</li> <li>○ 児童の発達を考慮した教材の配列となっており、児童の実生活や地域の実態にも広く適合できる内容となっている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 指 す 導 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男女2人の子供キャラクターが対話形式をとることにより、児童にとって身近な雰囲気の中で安心しながら、より身近な課題として考えることができるような工夫がされている。</li> <li>○ 養護教諭や警察官などの大人のキャラクターを通して、基礎・基本の理解する内容を習得することができるようにするとともに、学習意欲が高まる工夫がされている。</li> <li>○ 学習したことを自分のものとして実践できるように、道徳心を養うことができるような活動を取り入れる工夫がされている。また、欄外に「つぶやきくん」の言葉で知識を広げ、身近な人たちへの気持ちを考えさせたり、理解させたりすることができるようにされている。</li> <li>○ 各時間の終末「新しい自分にレベルアップ」、各単元の章末には「わたしの〇〇せん言」として、記述する欄を設け、思考力、判断力、表現力を高められるようにされている。</li> <li>○ 児童の理解度に応じて、記述の手助けとなる意見例等が記載されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章表現は簡潔で分かりやすく、読みやすい配慮がなされている。</li> <li>○ 文字の大きさや色、字体はユニバーサルデザイン等の観点を取り入れ、読みやすくわかりやすい配慮がなされている。また、重要語句を太字で示している。</li> <li>○ 当該学年までに配当された教育漢字を使用し、新常用漢字についても実態に即して対応している。また、配当漢字以外でも、わかりにくい場合にはルビが振られている。</li> <li>○ 学習事項に即した写真やイラストが効果的に配置され、児童の学習効果を高められるように工夫されている。</li> <li>○ 用紙には再生紙や植物油インクを使用され、環境に配慮されている。</li> </ul>						

種 目	保 健	発行者の番号・略称	208	教科書の記号・番号	保健 304 504	書 名	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年
			光文				
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された内容を、児童の発達段階に即して、生涯にわたり健康な生活を送るために必要な知識、内容が取り上げられている。</li> <li>○ 知識の習得に終わることなく、家庭や地域における生活と関連付けさせながら、主体的な健康づくりへの意欲を高める工夫がされている。</li> <li>○ 情報化社会での健康や共生社会の実現など、今日的な話題を豊富に取り上げている。</li> <li>○ 学習指導要領で求められている、主体的・対話的で深い学びとなるよう、話し合っ て考える活動や自分の考えを他者に説明する活動等を多く取り入れている。</li> <li>○ 内容、資料とも偏りが無い。健康や安全についての知識を身に付けられるように資料を適切に掲載し、出所、出典も明記されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の発達段階と教材の系統性を考慮して、体系的に構成されている。</li> <li>○ 導入の活動として、学習課題と自身の生活との関わりをもたせるために、自分の生活を振り返る「はじめに」のコーナーが毎時間設定してあり、学習課題を自分のこととして捉えさせようとする工夫がされている。</li> <li>○ 目標の達成に向けて「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」等のコーナーが適宜設定してあり、学習課題が解決できるように工夫されている。</li> <li>○ 終末の活動として「生かそう・伝えよう」のコーナーが設定されており、実生活と学びを関連付け、実践的な理解を図ることにつながる内容となっている。</li> <li>○ 学習指導要領に沿って各学年の学習内容が示されている。目次には、どんな学習をするのか具体的にイメージできるように、単元名に児童向けの言葉で問い掛けを記されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の学ぶ意欲を高め、健康な生活が将来の夢の実現には不可欠であることを実感できるように、巻頭ページにオリンピック、パラリンピック教育の視点も絡めて、一流アスリートからのメッセージを掲載している。</li> <li>○ PCやインターネットを活用する際の注意事項を記載した上で、児童がより学びを深めたい内容を学べるように、QRコードが掲載されており、動画コンテンツを気軽に見ることが出来る配慮されている。</li> <li>○ 運動領域の「体ほぐし運動」や、特別の教科道徳をはじめ、各教科・領域との関連が図られるように工夫されている。</li> <li>○ 知識・技能の習得と、それらを活用する学習が位置付けられおり、主体的・対話的な課題解決学習を促す工夫がなされている。</li> <li>○ 関心・意欲を高め、気付きを促す挿絵や図表、写真等が効果的に配置されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 簡潔でわかりやすい文章で記述されており、基礎的・基本的な事項は太字や色字で目立つように配慮されている。また、図やグラフの配色は、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>○ 当該学年配当漢字や専門用語などは、初出だけではなく都度ルビが振られ、児童の読みの負担を軽減する配慮がなされている。</li> <li>○ 一単位時間を原則見開き2ページの構成としており、各内容の分量をバランスよく配置している。また、学習の流れに沿った配置をしているため、一目で学習の見通しがもて、確実な知識・技能の習得ができるように工夫されている。</li> <li>○ A4版を採用し、写真やイラストを大きく掲載して児童の興味・関心を高め、記入欄を大きくして、児童の考えを十分に表現できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 表紙、本文ともに再生紙を使用し、印刷には植物油インクが用いられている。また、本の厚みを抑えて、軽量化を図りながらも、堅牢性を保つよう配慮されている。</li> </ul>						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4  学研	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 3 0 5 5 0 5	書  名	み ん な の ほ け ん 3・4年 み ん な の 保 健 5・6年
1 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された内容を適切に取り上げ、系統的に学習ができるように配慮されている。</li> <li>○ 主体的・対話的かつ協働的な学習活動がなされるように「友達と」のコーナーや、教え合い、学び合う活動を取り入れる工夫がされている。</li> <li>○ 児童が自らについて考えるだけでなく、家庭や地域との連携を意識した内容が取り入れられている。</li> <li>○ 運動や食事だけではなく、PCの使用など、児童の日常にと密接した問題や今日的な課題を多く取り入れている。</li> <li>○ 調べ学習や専門家キャラクターの登場により、本県で取り組んでいる志教育に関連する、キャリアや職業についても考えられる工夫がなされている。</li> </ul>						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つかむ」「考える・調べる」のコーナーで生活や経験を振り返ったり、実験など実践的な学習を取り入れたりして、基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるよう工夫されている。</li> <li>○ 児童の心身の発達段階に応じて、身近な問題、自らの課題として取り組めるような工夫がされている。</li> <li>○ 各学年ともに、学習指導要領で示された配当授業時数内で指導できるように構成されている。また、一単位時間を見開き2ページの基本構成とし、見通しをもって学習できるように配慮されている。</li> <li>○ 「もっと」のコーナーで、児童が興味・関心に応じて選択的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 「実習」のコーナーが設けられており、体験的な学習を通して実生活と関連づけ学習できるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」の流れで構成され、課題解決に向けて、思考力、判断力、表現力を養うよう工夫されている。</li> <li>○ 児童が運動領域や各教科・総合的な学習の時間等と関連付けて学習できるように、口絵などが工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容が身につけられるように配慮されている。また、「発展」のコーナーでは、中学校の内容にも触れられる設定となっている。</li> <li>○ キャラクターや学習の流れを示す記号、マークが効果的に使われており、児童が主体に学習したり、振り返ったりすることができる工夫がなされている。</li> <li>○ 科学的な認識をもてるようなコーナーを取り入れている。また、資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書体や文字の大きさは、児童の発達段階を考慮して選定されている。また、重要語句は太く強調されるなど、工夫がなされている。</li> <li>○ 児童の実生活に即したイラストや写真、感想等が取り入れられ、自分のこととして親しみながら考えられるように工夫されている。</li> <li>○ 図表やイラスト、写真は学習事項と関連付けられており、その大きさや掲載数は、児童の学習効果を高められるように工夫されている。</li> <li>○ 環境に配慮された紙、インキ、印刷方式を使用し、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</li> <li>○ 製本は特殊加工を施しており、2年間の使用に耐えられるように、堅牢に仕上げられている。</li> </ul>						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英 語 5 0 1  5 0 2  6 0 1	書 名	NEW HORIZON Elementary English Course5 NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course6	
			東書					
1 内 容 に 関 する 事 項								<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の教科書と、2年間を通して使う表現をまとめた別冊「Picture Dictionary」と併せて使うことで、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力が育つように工夫されている。また、目標設定と振り返りが一体化されており、2年間を通した目標を意識したものになっている。</li> <li>○ 外国語活動からの接続と、中学校への橋渡しを意識した学習内容になっており、充実した言語活動が行われるようになっている。</li> <li>○ 第5学年では「日本」、第6学年では「世界」をテーマに構成され、学年が進むにつれ、児童の英語学習に対する意欲が高められるように工夫されている。</li> <li>○ 地球規模の課題やSDGsにも関連した話題を豊富に取り入れている。</li> </ul>
2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項								<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各Unitにおいて表現の目標が明確に示され、コミュニケーションを楽しむ学習の流れになっている。また、Unitのまとまりごとに学びを振り学習が設定されている。評価の累積を行うことができる。</li> <li>○ Unit全体を通して、聞く・話す活動に親しめるような構成になっており、楽しみながら学習効果が上がるように工夫されている。</li> <li>○ 各活動が、短時間学習や60分授業など、各学校の年間指導計画に適応しやすくなっている。</li> <li>○ 「出会う」「慣れる」「楽しむ」の後に、「広げる」「確かめる」のステップを設け、児童の学びを充実したものに工夫がある。</li> </ul>
3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項								<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の興味・関心のある話題を取り上げ、会話に必要感を持たせている。児童が会話したくなるような構成になっている。</li> <li>○ 既習の英語表現は話題に変化を付けながら何度も扱われていることで、児童が英語表現に自然に親しむことができるようになっている。また、繰り返すことで知識・技能の定着も図ることにつながっている。</li> <li>○ 他教科で学んだ題材を英語で扱うなど、他教科・領域との関連が図ることができるようになっている。自分の住んでいる地域を紹介したり、自分の思いを発表したりすることができるように工夫されている。</li> <li>○ 児童の学びたい気持ちを引き出しながら、QRコードで児童に本物の英語に親しむ機会を設けている。指導を助けるデジタルコンテンツが充実している。</li> </ul>
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項								<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインの書体を使用し、多様な児童への配慮がなされている。また、4線の幅は3:4:3と設定され、初めて英語を読み書きする小学生に配慮され、使いやすくなっている。</li> <li>○ A4版サイズで、紙面がゆったりとしていて見やすい。</li> <li>○ 4技能を表すキャラクターや活動の種類を示すマークが設定され、児童が学習に親しみやすく、学習すべきことが理解しやすく工夫されている。</li> <li>○ 写真やイラストも活動に合わせた配置になっている。また、児童が書き込みながら学習できる用紙を用いている。</li> <li>○ 環境やアレルギーに配慮されたものになっている。</li> </ul>



種 目	英 語	発行者の番号・略称	9	教科書の記号・番号	英語503 603	書 名
			開隆堂			
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭のCAN-DOマップは、1年間の見通しを持つだけでなく、次の学年を見通して学習をすすめることができるようになっている。個人での評価の累積もでき、次の学習への意欲も高めることにつながる。</li> <li>○ Lesson1～9まで繰り返し活用でき、対話によるやりとりをしたくなるような英語の表現を扱い、コミュニケーションの基礎となる資質・能力を育てることができるよう工夫されている。</li> <li>○ Lessonの最初に学習の見通しを持たせ、多様な活動を通して繰り返し学習させることで基礎・基本の定着を図り、それらを活用できるようになっている。また、児童の興味・関心が高い内容を題材として取り上げていることも学習意欲を高める工夫がされている。</li> </ul>					
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各 Lesson の Lesson 名とイラストによって、何を題材とし学習を進めていくのか児童にも分かりやすくなっている。また、まとめの活動まで見通しを持つことができるように工夫されている。</li> <li>○ 繰り返し英語に慣れ親しむ活動は、15分単位で構成され、短時間学習に対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 児童の日常生活に即した題材が取り上げられ、児童の興味・関心に沿った学習を進めることができるように配列されている。また、ペアやグループ活動を設定し、児童同士が教え合い学び合う中で生きたコミュニケーション活動が行うことができるように工夫されている。</li> <li>○ 第5学年では身近な社会、第6学年では世界との関わりについて題材を扱っており、児童の視点を広げさせる題材配列になっている。</li> </ul>					
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の前半では語彙や表現に繰り返し触れられるような活動、後半では既習事項を生かしたコミュニケーション活動ができるように工夫されている。単元を通して児童同士が関わり合いを持てるように配慮がなされている。</li> <li>○ 目次で単元と関連する教科を示しており、児童が他教科・領域との関連を意識しながら学習できるように配慮している。プログラミング教育を意識した活動も取り入れるなど、工夫が見られる。</li> <li>○ 各単元での活動が明確に示されており、児童が見通しをもって学習に参加できるようになっている。各活動も短時間で終わることができるものであり、モジュール等、各学校の年間計画に対応できるものになっている。</li> <li>○ 年間2回のProjectにより、復習を行いながら、話す(発表)活動へと無理なく進められるように工夫がされており、他教科と関連させながらの活動も可能にしている。</li> <li>○ QRコードがページの定位置に配置され、児童の主体的な学習を可能としている。また、中学校英語へを配慮したページを配置している。</li> </ul>					
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動の指示は例も示すなど、児童が理解しやすいよう工夫している。ページ脇にスペリングを入れたり、Unit番号を入れたりなど工夫が見られる。</li> <li>○ 温かみのあるイラスト、鮮明な写真が利用され、児童が内容を理解しやすいように配慮がなされている。</li> <li>○ 手書きに近いフォントやカラーユニバーサルデザイン等、特別支援教育への配慮がある。</li> <li>○ 堅牢な製本で、開きやすい。児童が書き込みながら学習できるように配慮している。</li> </ul>					

種 目	英 語	発行者の番号・略称	1 1	教科書の記号・番号	英語 5 0 4 6 0 4	書 名	JUNIOR TOTAL ENGLISH1
			学図				JUNIOR TOTAL ENGLISH2
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な場面で実際に使ったり、気付きや相手意識を大切に交流をしたりすることで、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力が育つように工夫されている。</li> <li>○ 各 Lesson の扉に Can-do としての目標と学習の進め方が明示され、Lesson 末には Check Time で学びを振り返ることで、児童自身が自己評価できるように工夫されている。</li> <li>○ 各 Lesson の場面が国内の出来事を取り上げながらも他国の人物とも交流する内容となっており、児童自身の生活と重ね合わせながら意欲的に取り組める内容となっている。</li> <li>○ 1 つの Lesson で 1 つのテーマを扱うことで学習内容が明確で、書き込むスペースも多く設けられているため、児童が繰り返し言語材料に触れられる内容となっている。</li> <li>○ 自分自身の今や将来、地域と世界など、児童の夢と志を育むことができる内容となっている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第 5 学年ではインプットを多くし、第 6 学年ではアウトプットを増やすように段階を追った配列となっており、段階的に学習の効果を上げられる配列になっている</li> <li>○ 各 Lesson の初めが歌や Chants など聞く活動から始まり、話す・書く活動へとつながるまとまりを考えた構成となっている。</li> <li>○ 巻末に 10 曲分の英語の歌詞とその学年で使った言語一覧が紹介されており、児童がこれまで耳にした英語の振り返りと新たな気付きを促す配慮がなされている。</li> <li>○ 1 つの Step が 15 分で行われる分量になっており、各学校の実情や年間指導計画に合わせて柔軟に対応できるようになっている。</li> <li>○ 言語材料（語彙・表現）が第 3・4 学年で慣れ親しんだものや身近な対象を扱ったものなどから入り、児童の抵抗や負担が少なくなるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語を使ってコミュニケーションを行う必要性や目的、場面や状況が明確になっており、言語活動を通して児童の判断力や表現力を高める工夫がなされている</li> <li>○ 児童自身の気持ちや知識、経験と結び付けながら話したり書いたり伝えたりすることを重視しており、主体的で対話的な学びができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各 Lesson で扱う内容が、児童が生活している学校や地域の実態と特長に応じて工夫できるものとなっており、児童の意欲を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 国際理解や人権、職業と将来の夢、感謝と礼儀、共生など、道德の価値項目と関連した話題を扱っており、みやぎの志教育にも関連できる内容となっている。</li> <li>○ 各 Lesson に共通する学習の手引きが巻頭に掲載されており、学習への見通しが立てやすく意欲的に取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語表記においては学年に応じて徐々に難易度が高くなっているとともに、日本語表記においては上位学年配当漢字にルビが付けられており、児童の読みやすさに対応している。</li> <li>○ 巻頭に見開きで教科書の使い方が示されており、児童の興味関心と意欲を高められるように配慮されている。</li> <li>○ 英語学習入門期や色覚の個人差に配慮し、文字を認識しやすい書体及使用され印刷も目に優しい色彩である。</li> <li>○ リスニングの助けとなるイラスト中心のページと、情報を得るための写真や文字、イラスト、情報を伝え合うためのページのバランスがよく配置されている。</li> <li>○ 製本が堅牢で紙面が広く綴じられており、再生紙など環境にも配慮されている。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	1 5	教科書の記号・番号	英語 5 0 5 6 0 5	書 名	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. 6
			三省堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が対話したくなるような題材や場面、対話例を多く掲載していることでコミュニケーションの基礎となる資質・能力が育つように工夫されている。</li> <li>○ 各 Lesson の扉には目標を示し、各学年の巻末にどの技能と関連しているのかが分かる CAN-DO リストが掲載されていることで、学年の目標が明確になるとともに振り返りによる自己評価がしやすいように工夫されている。</li> <li>○ 身の回りに関する内容を中心に、日本の伝統文化や他国の文化、動植物、自然や施設、将来の職業や夢など、児童の興味・関心と学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各 Lesson には、児童や学校、地域の実態に合わせて多様な活動を工夫できるページと英語に多く触れられる活動が段階的に配置されている。</li> <li>○ 英語圏のみならず世界の様々な国の文化が写真やイラスト等で多く紹介されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元は全て HOP, STEP, JUMP の段階で構成され、各 Lesson の学習内容とつながりへの見通しを立てながら学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各 Lesson が、見通し、習得、活用という流れになっており、前半での多くのインプットから、後半での自分の思いや考えを伝え合いアウトプットするというコミュニケーションを充実させる構成となっている。</li> <li>○ 表現のターゲットと各 Lesson のゴールを明確にし、繰り返し多様な活動を通して既習の表現に触れ、無理なく英語の表現が定着できるようにしている。</li> <li>○ 活動が 1 5 分間のモジュール可能な分量であり、長期休み前の 1 時間を活動調整できる指導計画になっている。</li> <li>○ 自分のことから始まり、身の回りのこと、世界や自分の将来のことなど、段階的に扱う題材となっている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 互いの気持ちや考えを聞き合い、伝え合う活動の場面を多く設けている。各大単元の最後には、既習の表現を活用し自分の考えを周囲に発信する活動を設定している。</li> <li>○ 高学年児童の知的好奇心を刺激し、既習の表現や児童自らの知識、経験と結び付けながら、ペアやグループによる主体的・対話的な学びを促す工夫がされている。</li> <li>○ 語彙や表現を助ける豊富なイラストや写真が多く配置されており、選択や推測、吹き出しなど児童の 4 領域での言語活動を充実させる工夫がなされている。</li> <li>○ 英語圏以外の世界の文化や自然、観光などを取り上げ、他教科・領域との関連が図られた題材が配置され、児童の視野を広げ学習効果が上がるよう工夫されている。</li> <li>○ 様々な言語や文化への興味関心を高めるようなコラムやクイズ、QRコードなどコミュニケーションの仕方について自ら考えさせ活用できるコーナーが工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字表記には学年に応じてルビが振られ、児童の読みやすさに対応している。</li> <li>○ 単元ごとに多様なデザインによる多くのイラストや写真が配置され、児童が親しみや魅力を感じられるように配慮されている。</li> <li>○ 書く活動のための書体は手書きに近い書体を採用し、文字の大きさや印字の濃さも鮮明である。</li> <li>○ 各 Lesson において繰り返して行う活動は、分かりやすく色分けするとともに、ユニバーサルデザインに配慮して大きく見やすい配置がなされている。</li> <li>○ 製本も堅牢であり、再生紙や植物油インクを使用するなど環境に配慮している。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者の 番号・略称	1 7	教科書の 記号・番号	英語 5 0 6 6 0 6	書 名	ONE WORLD Smile 5 ONE WORLD Smile 6
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童に身近で興味関心を持てる題材を取り上げ、他者との関わりを意識した活動が十分に確保されており、主体的にコミュニケーションを図れるよう工夫がなされている。</li> <li>○ 冒頭で、前学年までの学習を振り返る内容を配置し、学年の学習に無理なく入れるような配慮が見られる。また1年間の学習目標、各単元の目標を示すこと、また単元ごとの3観点の振り返り表を配置することで、児童が学びを確かなものにできるよう工夫されている。</li> <li>○ 2年間で基礎的な言語事項が段階的に配置されており、実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な技能が身に付けられるよう工夫されている。</li> <li>○ 我が国及び世界の文化をバランスよく取り上げており、イラストや写真等の資料の出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童に身近な話題から、日本や世界の話題まで、幅広い題材を配置しながら、2学年を通して徐々に視野を広げられるよう、学習内容が段階的に配列されている。</li> <li>○ 各単元のはじめに単元の目標を示しており、見通しをもって学習に入れるよう配慮している。十分なインプットから徐々に簡単なアクティビティ、話す活動、発表等へと移行している。</li> <li>○ 段階的に、かつスパイラル的に活動を繰り返すことで、既習事項を生かしながらコミュニケーションの基礎を身に付けられるよう単元内の活動が工夫されている。</li> <li>○ 各アクティビティは10分から15分で終わることが可能であり、モジュール学習にも対応できることから、各学校の年間計画に柔軟に対応できるものとなっている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が主体的にコミュニケーションを取れるよう、十分なインプットを行った上で、相手とのやり取りや発表の活動を設定している。また、巻末のカード等も豊富であり児童同士のコミュニケーションが円滑にできるよう工夫されている。</li> <li>○ 児童自身のことや児童に関心の高い話題が豊富にあり、相手意識や話す目的を明確にし、主体的に活動することを可能にしている。</li> <li>○ 前学年までに他教科で学習した教材、また同学年の他教科との関連を意識した活動が設定されており、学年や教科の枠を超えた学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 各単元末に英語の音声と文字の関係を学習するコーナーを設け、児童の気付きを促しながら文字を習得できるよう配慮されている。</li> <li>○ イラストや写真がバランスよく使用されており、偏りが無い。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年の発達に応じて、徐々に表現の幅が広がっており、適切である。</li> <li>○ 鮮明で魅力的な写真、柔らかいタッチのイラスト、児童が親しみを持てる登場人物など、児童が興味を持てるような紙面となっている。</li> <li>○ 手書きのアルファベットに近い書体である。範読しやすい配列、レイアウト等、特別支援教育への配慮もなされている。</li> <li>○ イラストや写真が活動内容に応じて分かりやすく、バランスよく配置されており、学習内容が分かりやすい。</li> <li>○ 堅牢な製本である。環境やユニバーサルデザイン等へも配慮して作られたものであることが児童にも伝わるように、裏表紙にも示されている。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者の 番号・略称	3 8	教科書 の記号・ 番号	英 語 5 0 7 6 0 7	書 名	Here We Go! 5 Here We Go! 6
			光村				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気持ちや考えを対話形式で伝え合う場面が設定されており、生活の1場面に入りが入り込んで、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めることができる。</li> <li>○ 英語を母国語とするまたは母国語としない12か国の子供たちの生活の様子を知ることができ、多様な人種、文化、言語等への理解と興味・関心を高める内容である。</li> <li>○ 多様な曲調のチャンツや歌、ゲームや遊びが取り入れられており、高学年児童においても学習意欲を高めながら楽しく無理なく英語の表現に慣れ親しむことができる。</li> <li>○ たずね合う、伝える、紹介する等の活動を行いながら、考えや気持ちを伝えあう場面が多く設定されていて、コミュニケーションをしようとする意欲を喚起できる。</li> <li>○ 幅広い時代や国や地域の英語の歌や物語、詩を多く掲載しており、写真や映像も含め適切であり、資料の出所や出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit は、Hop→Step1→Step2→Jump で構成されており、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの各活動が無理なく進められるように配列されている。</li> <li>○ 各 Unit ごとに Goal が明確に示されており、児童がこの単元で何ができるようになればよいかを理解し、見通しを持って学習に取り組むことができる構成になっている。</li> <li>○ Alphabet Time の設定や、巻末のペンマンシップ・シートにより、児童が各活動に興味をもって無理なく取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ Unit 内の各活動が10分程度の短時間の指導にも対応しており、モジュール等の短時間の学習にも対応している。</li> <li>○ 自己紹介、夏休みの思い出等を扱った内容が児童の学校生活に沿って配列されている。また、世界の友達の声を聞く設定もあり、世界への興味や関心を喚起する配列である。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語習得理論に沿っており、聞くこと→話すこと→書くこと、の流れで学習を進めることができる。また、イラストと文字が一体となっており、読むことにも配慮がある。</li> <li>○ 学んだことを生かしながら、児童が協働で次のステップに挑戦できるように、Let's try. や You can do it. が設定されており、主体的・対話的な学びができる。</li> <li>○ 英語が使われている場面が、児童の生活に沿っており、英語を使う目的や必要性を感じながら学習できる工夫がなされている。</li> <li>○ 英語と他教科の学習を横断的に関連させた内容が年間を通して設定されており、英語で学んだことが他の教科の理解の基に効果を発揮する内容である。</li> <li>○ Review 等のコーナーに、QR コードが配置され、映像を視聴することができる工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見やすい写真や親しみやすいイラストがたくさん掲載されており、児童が視覚的にも興味を持ったり、理解を深める工夫がなされている。</li> <li>○ アルファベットの書体が見やすく、児童が書き写す場合も間違えることなく学習を進めることができる工夫がある。</li> <li>○ 学習の流れがフローチャートのように分かりやすく表記され、児童が見通しをもって学習に取り組む工夫がなされている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から表現が工夫されており、どの児童にとっても見やすく親しみやすい表記となっている。</li> <li>○ 環境に配慮した紙や植物油インキを使用し、環境保全に配慮した取り組みがなされている。また、製本がしっかりしており、長期間の使用にも耐えられる作りである。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	6 1	教科書の記号・番号	英 語 5 0 8 6 0 8	書 名	Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6
			啓林館				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 後半の Activity で学習で学んだことを生かして活動する設定があり、実際に英語を使うことで定着を図る工夫がなされている。</li> <li>○ Goal(めあて)と Looking Back(振り返り)が明確であり、児童がめあてを意識しながら学習を進め、自分で振り返りができるように工夫されている。</li> <li>○ 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことに関する内容が無理なく学習できるように工夫されており、興味・関心に基づき学びに向かう力の向上を図る内容である。</li> <li>○ 実際の学校生活や日常生活に沿った題材を扱っており、実際の場面を思い浮かべながら英語の有用性を意識し学習を進めることができる。</li> <li>○ 国や地域による文化や言語を学ぶコーナーが各 Unit ごとに設定されており、学習した内容と照らし合わせながら国際理解・異文化理解を進める工夫がなされている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習事項を復習できる Pre Unit が配置され、学期末に行う Review では、学習した内容を生かして新たな活動に挑戦する工夫がなされている。</li> <li>○ チャンツが各 Unit に配置され、リズムに乗って英語を体感する工夫がなされている。Jingle では、QR コードを利用して単語や表現を英語で聞くことができる配慮がある。</li> <li>○ Let's Read and Write では、文字と音との関係に注目させながらアルファベットを書くコーナーが設定されており、児童は無理なく書く活動を進めることができる。</li> <li>○ Did you know?では、外国の文化や習慣が紹介されており、国際理解・異文化理解を深めるきっかけとなる。</li> <li>○ Unit の構成が 2 期制、3 期制のいずれにも対応できる構成である。また、余裕時数が設定されており、学校や学年の実態に合わせた学習の進め方ができる。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を身につけさせるため、様々な活動が配置され、それに沿って学習を進めることで、無理なく定着を図ることができる。</li> <li>○ 児童が臨場感をもって主体的に学習を進めることができるように、先生や友達、動物等のキャラクターを設定し、児童が登場人物の一人になったような気持ちで学習を進めることができる。</li> <li>○ 他教科と横断的に関連させながら、英語を身に付けつつ他教科の学習内容の理解を深めるための配慮がなされている。</li> <li>○ 外国の様々な話題が取り上げられており、異文化を理解しながら自国の文化との違いに気づき、国際理解・異文化理解を進めるきっかけ作りがなされている。</li> <li>○ QR コードが掲載されており、デジタルコンテンツを利用してより臨場感のある学習場面をつくり、家庭学習にも対応したりする工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各 Unit の最初のページは見開きになっており、めあての確認や学習への意欲の喚起をする内容である。また、Small Talk によるコミュニケーションが容易な構成である。</li> <li>○ 4 技能 5 領域を示すマークが明記されており、指導者が「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」と学習内容を対比させながら指導できる表記になっている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントが採用され、視認性・可読性が高められている。</li> <li>○ 再生紙と植物油インキが使用されており、環境保全への配慮が見られる。</li> <li>○ 印刷がきれいで、作りが堅牢であり、長期間の使用に耐えられる作りである。また、書きやすく消しやすい用紙を使用している。</li> </ul>						

種 目	道徳	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	道徳	書名	新訂	あたらしいどうとく	1
			東書		101 201 301 401 501 601				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、児童同士の交流を促しながら道徳的価値について考えることができる教材が工夫されている。</li> <li>○ 「いじめ問題」、「防災・安全」、「ESD教育」等、現代的な課題や宮城県や当地方で力を入れている教育に関する内容が各学年で取り扱われている。</li> <li>○ 児童の発達段階を考慮し、身近な場面を取り上げたり、導入教材で道徳の学習についての見通しを持たせたりし、学習意欲を高めている。</li> <li>○ 各学年での重点指導内容を繰り返し学習することができ、段階的に理解することができるとともに、6年間を見通して内容が扱われ、学習の充実と発展を図ることができる。</li> <li>○ 近年話題となっていることや長く親しまれている物語などの幅広い内容が、伝記や実話、意見文等の多様な形式の教材として取り扱われている。資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>								
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年でオリエンテーションのページがあり、年度当初に目標を立てて、適宜振り返ることができるようになっている。さらに、各学年のまとめ、次学年へのつながりがあり、道徳性を主体的に養えるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習指導要領で示されている4つの視点が網羅されている。それを受けた各項目のねらいが児童に分かりやすいように明確に示され、「何を学ぶのか」見通しを持つことができる。</li> <li>○ 内容項目が関連的・発展的に捉えられている。県の重点項目である「いじめ問題」については、「いじめのない世界へ」として特化し全学年で扱われている。</li> <li>○ 一つの内容項目に複数の教材が配当されていることで、各学校で定めた重点項目や年間指導計画に適合させやすくなっている。</li> <li>○ 生活科や行事などの体験的な活動と関連する教材内容について、学習時期を考慮した配列がなされている。大島と気仙沼港を結ぶ連絡船「ひまわり」や、震災を耐えて残った高田松原の「一本松」など、当地方に関連した教材も多く、児童の関心を高めることができる。</li> </ul>								
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的諸価値について、自分の考えを深める発問と自分との関わりで考える発問とが設定されており、自己の生き方について考えを深める学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 問題解決的な学習を取り入れ、児童が問題意識を持ち、主体的に考えたり積極的に議論したりできるように工夫されている。発達の段階に応じて、段階的に考えを深めたり、話し合いを進めたりできるような手引きが示されている。</li> <li>○ 児童にさまざまな活動をさせる教材が工夫されており、多様な考えを引き出すことができる。1年生に向けては、導入部分のページで小学校生活についてのオリエンテーションがあり、スタートカリキュラムの一つとしても活用できる。</li> <li>○ 各教科と関連した教材や付録が掲載されていたり、特別活動と関連する内容が取り上げられていたり、他教科等との関連が図られている。</li> <li>○ 挿絵・写真・デジタルコンテンツのマークなどが適切に配置されていて、児童が興味・関心を高め、内容を捉えたり、考えを深めたりすることができるように工夫されている。</li> </ul>								
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材文は、児童の読みやすさや見やすさに配慮して書体が工夫されている。また、発達の段階に応じて、文字の大きさや行間、分かち書きなどの工夫がなされ、平易な文章で書かれているので、児童の読みの負担が軽減されている。</li> <li>○ テレビアニメのキャラクターを挿絵にしたり、教材によって挿絵の雰囲気を変えたり、児童が親しみを持てるよう、工夫されている。</li> <li>○ 本文と振り仮名の字体を変える配慮がなされており、印刷も鮮明で見やすい。</li> <li>○ 挿絵や写真がバランスよく配置されおり、本文と関連させて自然に目に入るレイアウトになっている。</li> <li>○ 用紙は軽量で丈夫なものが使用されており、扱いやすい。また、環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、環境や健康への配慮もなされている。</li> </ul>								

種 目	道徳	発行者の 番号・略称	17	教科書 の記号・ 番号	道徳	書 名
			教出		104 204 304 404 504 604	
						小学どうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学どうとく4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多角的に考えることのできる教材を取り上げ、自分の考えを持ちながら、みんなで考え議論することができる内容となっている。</li> <li>○ 「いじめをなくす」、「生命を尊重する」、「情報モラルを考える」を全学年で取り扱っている。更に、現代的な課題や宮城県で力を入れている教育に関する内容が各学年で取り扱われている。</li> <li>○ 物語教材、生活教材、人物の生き方を扱った教材と、児童の発達の段階に合わせた内容の教材文が扱われ、児童の学習意欲を高めている。</li> <li>○ 各学年での重点指導内容を繰り返し学習することができ、段階的に理解することができるとともに、6年間を見通して内容が扱われ、学習の充実と発展を図ることができる。</li> <li>○ 近年の話題を取り上げた教材や長く読み継がれてきた教材等、多様な教材が取り扱われている。資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>					
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領で示されている4つの視点が網羅されており、発達の段階に配慮して系統的に配列されている。</li> <li>○ 内容項目ごとにいくつかの教材がまとめて配列されている。学習のねらいが明確で、一つの内容項目に対して多面的に捉え、考えを深めることができる。</li> <li>○ 内容項目が関連的・発展的に捉えられている。3つの重点テーマに沿って取り扱われた教材については、色分けされたマークが明示しており、児童にとって分かりやすい。</li> <li>○ 一つの内容項目に複数の教材が配当されている。また、30の教材に加えて補充教材が準備され、各学校で定めた重点項目や教育活動の実態に合わせやすくなっている。</li> <li>○ 学習時期と教材内容が一致するように配列されている。海洋教育、志教育の関連教材として、震災からの海の復興活動（大船渡市）が取り上げられ、児童の関心を高められるよう配慮されている。</li> </ul>					
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容項目ごとに「ねらい」が明記され、問題解決的な学習を通して考えを深められるように配慮されている。</li> <li>○ 全学年、巻頭にオリエンテーションのページがあり、自己を見つめることや学習への動機付けからスタートしている。教材末の「考えよう」「深めよう」により、自分の考えを基に話し合いができるよう配慮されている。</li> <li>○ 役割演技、日常体験からの話し合いができる「やってみよう」や、モラルについてトレーニング的に学ぶ「スキル」があり、体験活動を生かした学習で考えを深めることができる。</li> <li>○ 全学年で、児童の学校生活に即した話題が取り上げられている。特に中学年には重点的に取り上げられ、内容項目について「自分事」と考えることができるように配慮されている</li> <li>○ 挿絵、写真、キャラクターの吹き出し等が効果的に掲載され、学習の方向付けや、児童の理解の助けになっている。</li> </ul>					
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年に応じた漢字を用いて、平易な文章で書かれており、児童の負担が軽減されている。難しい言葉や必要な情報については、本文の下に解説が加えられ、内容がつかみやすくなっている。</li> <li>○ 児童が親しみを持って教材に関わるように、6年間を通じて同一の親しみやすいキャラクターを活用している。</li> <li>○ 活字の大きさや行間は発達の段階に応じている。特に低学年のうちは分かち書きがなされ、読みの負担が軽減されている。字体は読みやすく誤読されにくい。</li> <li>○ 文章の量や内容と図表や挿絵のバランスが適切で、見やすく、児童の理解の助けにもなっている。</li> <li>○ 再生紙と植物油インクが使用され、環境や児童のアレルギーに配慮されている。教科書は厚すぎず、重量による児童の負担を軽減することができる。</li> </ul>					



種 目	道徳	発行者の 番号・略称	208	教科書の 記号・番号	道徳	書 名	しょうがく どうとく ゆたかな ころ
			光文		108 208 308 408 508 608		1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころ 2年 小学 どうとく ゆたかな心 3年 小学 どうとく ゆたかな心 4年 小学 道徳 ゆたかな心 5年 小学 道徳 ゆたかな心 6年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 深く考えることのできる教材を取り上げるとともに、道徳の学習の流れを明確に示してあることで、目的意識を持って主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「いじめを生まない心」、「防災教育」、「情報モラル」等、宮城県で力を入れている教育や現代的な課題に関する内容が各学年で取り扱われている。</li> <li>○ 児童の発達の段階を考慮し、身近な場面を取り上げたり、地域教材を多数配置したりするなどして学習意欲を高めている。宮城県からは鳴子峡や仙台港を走る貨物列車等が取り上げられている。</li> <li>○ 「生命の尊重」をはじめ、特に考えさせたい内容を重点主題としている。繰り返し学習して段階的に理解することができるとともに、6年間を見通して内容が扱われ、学習の充実と発展を図ることができる。</li> <li>○ 近年の話題を取り上げた教材や読み継がれてきた教材等、児童の興味関心を引きだし心を揺さぶる教材が取り扱われている。資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領で示されている4つの視点が網羅されており、発達の段階や年間のバランスに配慮して系統的に配列されている。</li> <li>○ 「内容項目別教材一覧」により、各教材のねらいと関連性のある項目が明確に示され、内容項目についての考えが深まるように工夫されている。</li> <li>○ 各学年の重点主題について、いくつかの教材がまとめて配列されている。学習のねらいが明確で、一つの内容項目に対して多面的に捉え、考えを深めることができる。</li> <li>○ 一つの内容項目に複数の教材が配当されている。また、1年生34、2～6年生35の教材に加えて付録の教材が準備され、各学校で定めた重点項目や教育活動の実態に合わせやすくなっている。</li> <li>○ 生活科や行事などの体験的な活動と指導時期を考慮した配列がなされている。防災・安全の関連教材として、東日本大震災の緊急期や復興期のことが取り上げられている。「復興への思い」として他の地域の人の声も取り上げられ、児童の関心を高められるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーションを通して、日常生活から問いを見つけて道徳の学習を行い、日常生活に結び付けてさらに道徳の学習に戻っていくという流れが示され、主体的な学習につながる配慮がなされている。</li> <li>○ 各教材の冒頭に「問い」を設置し、問題解決的な学習ができるようにしている。また、教材の下端にも考えるための投げかけを設け、児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫している。</li> <li>○ 全学年で、学習のまとめとして具体的な道徳的行為を行ってみる活動や、コミュニケーションスキルを高める「みんなでやってみよう」があり、体験活動を生かした学習で考えを深めることができる。</li> <li>○ 文化遺産で社会科と関連させたり、学校探検で生活科と関連させたりするなど、他教科との関連が図られている。また、特別活動との関連も図られ、指導の効果を高めるように配慮されている。</li> <li>○ 挿絵、写真、キャラクターの吹き出し等が効果的に掲載され、学習の方向付けや、児童の理解の助けになっている。道徳ノートの例も示されており、変容を児童自身も把握しやすくなっている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前学年までに学習した漢字を用いて、平易な文章で書かれており、児童の読みの負担が軽減されている。</li> <li>○ A4判よりも一回り大きく、スペースが大きいことから見やすい紙面となっている。6年間を通じて同一のキャラクターを活用し、児童が親しみやすくなっている。</li> <li>○ 活字の大きさや行間は発達の段階に応じている。単語をまとまりごとに捉えやすいよう、文節での改行をするように工夫されている。</li> <li>○ 文章の量や内容と図表や挿絵のバランスが適切で見やすい。紙面構成が統一され、児童がつかみやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 植物性のインクを使用し、環境と共に児童のアレルギーにも配慮している。</li> </ul>						

種 目	道徳	発行者の番号・略称	116	教科書の記号・番号	道徳	書名	しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる カ 2 小学どうとく 生きる カ 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる カ 3 小学どうとく 生きる カ 3 どうとくノート 小学どうとく 生きる カ 4 小学どうとく 生きる カ 4 どうとくノート 小学どうとく 生きる カ 5 小学どうとく 生きる カ 5 道徳ノート 小学どうとく 生きる カ 6 小学どうとく 生きる カ 6 道徳ノート
			日文		106 107 206 207 306 307 406 407 506 507 606 607		
1 内容に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の目標達成のために3つの基本方針である「主体的な学び」「豊かな対話と学び合い」「社会的課題」を柱としている。分冊として、「道徳ノート」がついている。</li> <li>○ 各学年とも、いじめ問題を重視した教材が複数用意されており、いじめ防止ユニットで人権尊重の精神を育成していくよう配慮されている。</li> <li>○ 保幼小連携・小一プロブレム、高学年の中学校へのスムーズな移行を考慮した系統性を工夫している。</li> <li>○ 教材と関連した内容や活動を「心のベンチ」で学年ごとに5回設け、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えられるように工夫している。</li> <li>○ 多様な教材が扱われており、出所、出典が明確である。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳科」がどのような学習なのか、どのように学ぶのかについて、「道徳のとびら」や「道徳の学び方」があり、学習効果の向上を図る工夫がされている。</li> <li>○ 教材に入り込むきっかけとなる発問やねらいに迫る発問、生かしていくための発問があり、ねらいが明確化され、見通しを持って学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 重要なテーマについては、学級の実状をふまえ、教材が系統的に配列されている。</li> <li>○ 学習指導要領の内容項目が過不足なくおさえられている。また、「ふろく」として各学年3教材を収めている。</li> <li>○ 東日本大震災に関する題材を始め、ESDやSDGs、伝統文化教育に等広く適合している。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 別冊の「道徳ノート」は、自由記述が設けられており、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。</li> <li>○ 学習方法が、「気付く」「考える・深める」「見つめる・生かす」と流れが示されており、主体的・対話的で深い学びができるようになっている。</li> <li>○ 協働的な学びを重視する観点から、ペアやグループトークの学習形態の工夫が示されており、児童の多様な個性や能力に対応することができるようになっている。</li> <li>○ 「学習の手引き」には、実践活動を生かした展開例を記しており、他教科等との関連に配慮されている。</li> <li>○ 写真や挿絵、図表等が適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 固有名詞等の漢字には、全て振り仮名が付けられており、読む側の抵抗が少なくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 6年間共通して登場するキャラクター4人の児童が、児童に親しみを持って学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 学年の発達段階に応じた文字の字体や大きさや文字量になっている。</li> <li>○ 「学習の手引き」や「心のベンチ」は中綴じになっており、図表等が大きくて見やすく掲載されている。</li> <li>○ AB判の採用にともない、軽量紙が使用されている。</li> </ul>						

種 目	道徳	発行者の番号・略称	11	教科書の記号・番号	道徳 102 103 202 203 302 303 402 403 502 503 602 603	書 名	かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん よみもの かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 よみもの かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 活動 かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 5年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 5年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 6年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 6年 活動
			学図				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の目標達成のために、児童が主体的に課題意識を持ったり道徳的諸価値を自分との関わりとして捉えたりできるよう、「きづき」と「まなび」の2分冊で構成されている。</li> <li>○ 現代社会で課題となっている事柄について学習することができるよう「いじめ問題」「情報モラル」「防災・安全教育」「交際理解教育」等に関わる教材を扱っている。</li> <li>○ 多様な価値観に触れられており、児童の心身の発達の段階を考慮し、児童の学習意欲を高められるよう工夫している。</li> <li>○ 道徳的実践力につなげるために、「まなび」の「つなげていこう」では、教育内容の質の向上と発展を目指し、PDCAサイクルの確立に役立てるよう配慮されている。</li> <li>○ 「命」「人」「文化」「夢」との4つのつながりを基に教材が選定されており、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の最初にガイダンスのページがあり、道徳の学習の仕方を示しており自分の考えを持つことの大切さに配慮されている。</li> <li>○ 教材文の「きづき」と発問や体験的な学習の「まなび」の2分冊で構成することで、学習のねらいが明確で内容にまとまりがある。</li> <li>○ 4つの視点に基づいてバランスよく配列されている。また、いじめに向き合う心を育てる多様な教材が複数用意されている。</li> <li>○ 児童の発達段階に応じて、内容項目の数や分量が工夫されている。低学年は「A」、高学年は「C」が多くなっている。</li> <li>○ 防災やスポーツに関する教材では、気仙沼市出身の佐藤真海選手の教材文が取り上げられており、児童の関心を高められるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が主体的に考え、自己を見つめ、対話を通して多面的・多角的に物事を捉え、問題解決的な学習等、多様な学習活動ができるように配慮されている。</li> <li>○ 「まなび」の「つなげていこう」では、児童が現在の状況を把握し自分との関わりで捉えられるよう配慮されている。</li> <li>○ 「まなび」の欄には、振り返り欄があり、自らの将来に進んで生かそうとする児童の個性に対応している。</li> <li>○ 他教科や総合的な学習の時間等との関連がなされており、「まなび」の中に言語活動が盛り込まれている。</li> <li>○ 教材に興味を持たせるための効果的な挿絵や写真が配置されている。QRコードが配置されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が読みやすいように、振り仮名を付けたり、分かち書き等を工夫している。</li> <li>○ 児童が親しみやすいような配色やデザインに配慮している。学び方マークが工夫されており、一目で学習内容が分かるように配慮されている。</li> <li>○ 児童の発達段階に応じた文字の大きさになっている。</li> <li>○ 2分冊で目的に応じた紙面構成であり、シンプルな色彩となっている。</li> <li>○ 2冊とも軽量で扱いやすい。「まなび」は中綴じで書き込みやすい。</li> </ul>						

種 目	道徳	発行者の番号・略称	232	教科書の記号・番号	道徳 110 111 210 211 310 311 410 411 510 511 610 611	書 名	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいの どうとく じぶんでみつけ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく3 自分を見つめ、考える どうとくノート3 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく4 自分を見つめ、考える そうとくノート4 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳5 自分を見つめ、考える 道徳ノート4 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳6 自分を見つめ、考える 道徳ノート6
			廣あかつき				
1 内容に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本冊と別冊の2冊を併用することで、児童の豊かな情操と道徳心を培うことができ、道徳の目標が達成できるように工夫されている。</li> <li>○ いじめ防止と人権尊重、「いのち」の教育の充実を図り、全学年においていじめと関連する内容項目も含め3教材を配当している。</li> <li>○ 児童の学習意欲を高めるために、読み物教材だけでなく一枚の写真や一篇の詩、漫画等を幅広く掲載している。</li> <li>○ 内容が精選されており、バランスがよい。</li> <li>○ 特定の見方や考え方に偏ったりしないように留意されており、多様な見方、考え方ができるように配慮されており、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生の教材では、動物を登場人物とした物語教材を多く取り上げ、場面絵を掲載し視覚的に内容理解を促す工夫がされている。</li> <li>○ 児童の実態を踏まえた「ねらい」を設定し、その達成を目指すために「道徳ノート」を構成している。</li> <li>○ 別冊には、学習の記録や話し合い活動の記録等があり、各学校の実態に柔軟に対応できるよう工夫されている。</li> <li>○ 別冊の書き込み欄の量は、学年の発達段階に適した長さになっている。</li> <li>○ 多様な教材が掲載されており、児童の生活や各地域の実態に適合できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳ノート」には、話し合い活動の記録があり、積極的に他者と交流し自己の生き方について考えを深めることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 教材ごとに独立した型とならないように、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた「問い」を示すことで、深い学びができるように配慮されている。</li> <li>○ 「道徳ノート」を活用し、家庭や地域の人との連携も図られ、児童の多様な個性や能力に対して理解し認めることができるよう評価等も工夫している。</li> <li>○ 「学習を広げる」には、関連する本や人物の紹介がされており、幅広く他教科との関連が図られている。</li> <li>○ 挿絵等が明るく鮮明で捉えやすく、教材の内容を理解しやすくなっている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未習の漢字には、全て振り仮名が付けられている。読む側に抵抗がないような工夫がされている。</li> <li>○ 現代的な人物の描き方で、表情が豊かで登場人物の気持ちを受け止めやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 色彩が鮮明で、シンプルで分かりやすい。活字の大きさも適切である。</li> <li>○ 分冊ノートを本冊の巻末に差し込めるように工夫されている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインに配慮しており、再生紙と植物油インキを使用して環境への配慮もされている。</li> </ul>						

種 目	道徳	発行者の番号・略称	38	教科書の記号・番号	道徳	書名
			光村		105 205 305 405 505 605	
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の目標達成のために多面的・多角的に考えるための多様な教材を配し、発達段階と教材に合わせて、登場人物への自我関与、問題解決的な学習、体験的な学習ができるように工夫されている。</li> <li>○ 「生命の尊さ」について、重点的に扱われている。また、「いじめ問題」や「情報モラル」などの現代的な課題も取り上げられている。</li> <li>○ 児童の発達段階を踏まえた系統性を意識し、児童が興味・関心を持ち、多様な価値観に触れられるような内容などに配慮されている。また、志教育では、気仙沼出身の人物が取り上げられているので児童の学習意欲を高めることができる。</li> <li>○ キャラクターによる児童への呼びかけを示したり、教材とコラムを組み合わせた「ユニット」が位置づけたりすることで、学習の充実と発展が図られるよう工夫されている。</li> <li>○ 「生命尊重」「地域・伝統文化」「安全・防災」「志教育」「国や郷土」など、多様な教材が取り上げられており、出所、出典が明示されている。</li> </ul>					
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校生活の実態と、児童の1年間の成長を考慮して、年間を3つのまとまりに分けて構成しており、学習の効果が上がるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習のてびきには、教材を通して何を学ぶかを意識できるよう「めあて」が示され、学習の目標が捉えやすいようになっている。</li> <li>○ 同じ内容項目を扱う教材は、児童の生活実態や発達段階に合わせて、内容や分量、世界の広がりなど、学年ごとに傾斜をつけた配当になっている。また、学年ごとの重点項目は、複数の教材、コラムで扱い、確かな学習経験となるよう配慮されている。</li> <li>○ 各学年の児童の発達段階や特性を考慮し、内容項目や分量が適切である。また、1教材1時間での扱いが可能となるよう、各学年35教材（第1学年のみ34教材）が配されている。</li> <li>○ 児童の生活に合わせた教材配列になっている。長期休み前に「夏休みに調べてみよう」などのコーナーが設けられ、児童の自主的な学びや家庭での話合いにつなげたりできる。</li> </ul>					
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決的な学習が豊富に取り入れられ、自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するために話し合ったりするなど、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えを深めることができるように配慮されている。</li> <li>○ 教材の冒頭に、キャラクターによる「児童への呼びかけ」が示されており、児童の経験や考えを引き出すことで、主体的に学習に入れるよう配慮されている。</li> <li>○ 児童が自己評価の記録を残す「学びの記録」が位置づけられており、児童の個性や能力に応じた成長の様子が把握できるように配慮されている。</li> <li>○ 教材末の「つなげよう」では、他教科で学習する内容との関連付け、特別活動や学校行事との関連付けなどが示されており、他教科や日常生活にもつながるよう配慮されている。</li> <li>○ 教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる挿絵や写真、説明内容を解説するための図やグラフが随所に配されている。</li> </ul>					
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年に応じて、分かち書きや平仮名表記、振り仮名など、読みの負担を軽減するための配慮がなされている。</li> <li>○ 共通して登場するキャラクターや漫画形式の教材等を活用し、児童が親しみを感じられるように配慮されている。</li> <li>○ 学年の発達段階や教材の内容によって、文字の大きさが配慮されている。また、読みやすい字体を使っている。</li> <li>○ 挿絵や図表等の配置が適切に考慮されている。また、挿絵の色遣い、配置など、ユニバーサルデザインの観点から十分な配慮がされている。</li> <li>○ 表紙は耐久性を高める加工を施して折れにくく、製本は堅ろうである。また、原料や製法については、環境への負担や児童の健康に配慮し、植物油インキを使用している。</li> </ul>					

種 目	道徳	発行者の番号・略称	224	教科書の記号・番号	道徳 109 209 309 409 509 609	書 名	新みんなのどうとく1ねん 新みんなのどうとく2年 新みんなのどうとく3年 新みんなの道徳 4年 新みんなの道徳 5年 新みんなの道徳 6年
			学研				
1 内容に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の目標達成のために、多面的・多角的に学んで道徳価値を追求する、問題解決的な学習や体験的な学習に合った教材を随所に取り入れている。</li> <li>○ いじめ防止につながる教材が様々な内容項目で取り上げられており、自他の生命を尊重し、他者と共によりよく生きることについて、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。</li> <li>○ 巻頭に自分を見つめるページ、巻末に学びをふり返るページを設定し、児童が1年間の自分の成長を感じ、自己の生き方を考えられるように工夫されている。</li> <li>○ 「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」の4種類の学び方のページが設定され、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 「生命尊重」「情報モラル」「防災教育」「志教育」「食育・健康」など、多様な教材が取り上げられており、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年部ごとに重点テーマを設定し、2年間を通じて系統的に学ぶことで、学習の効果が上がるように配慮されている。</li> <li>○ 1年間を通じてどのようなことを学習するかを確認できるページが設定されていると共に、内容項目ごとに教材がまとめられ、ねらいが明確にされている。</li> <li>○ 他者と共によりよく生きるための「いのちの教育」に重点を置き、全学年で「生命の尊さ」の教材を3点設定している。また、ユニット学習により、発展的な学習ができるように配慮されている。</li> <li>○ 各学年の内容項目や分量は適切である。また、1教材1時間での扱いが可能となるよう、各学年35教材（第1学年のみ34教材）が準備され、年間指導計画に適合しやすい配慮がなされている。</li> <li>○ 時期を考慮し、児童の生活に合わせた教材配列になっている。また、日本の各地域に関連した内容を掲載するなど、児童の生活や地域の実態に適合できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己肯定感や心の弱さと向き合うこと等について触れ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えを深めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 発達段階に応じて、授業での学び方を紹介するページを配置し、児童が見通しを持って主体的に学習に入れるよう配慮されている。</li> <li>○ 児童が考えを深めたり、自己を見つめたりできるような発問を明示したり、考えを書き込むスペースを設けたりするなど、多様な考え方を引き出す工夫がされている。</li> <li>○ 他教科で学習する内容や特別活動や学校行事との関連付けが図られており、また、家庭や地域との連携を図りながら道徳的な価値の視点で学習が深められるよう配慮されている。</li> <li>○ 教材内容の理解を促すような挿絵や写真が適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年に応じて、漢字や固有名詞に振り仮名をつけたり、内容のまとまりごとに、教材文を改行したり、読みやすくする工夫がなされている。</li> <li>○ 4つの視点ごとに色分けしたり、取り組み方が分かるマークを使用したりして、児童が親しみやすく取り組めるような工夫がされている。</li> <li>○ 児童の発達段階に応じて、文字の大きさ、書体、行間に配慮しており、活字は大きくて見やすい字体を使用している。</li> <li>○ 図表や挿絵、写真の配置は、本文との関係性に配慮して工夫されている。また、A4判型を採用し、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっている。</li> <li>○ 製本は無線綴で開きやすく、堅ろうである。環境に配慮して作成された紙、インキを使用し、目への負担が少ない色調の用紙が選択されている。</li> </ul>						

令和2年度使用

# 教科用図書採択調査研究資料

《小・中学校特別支援学級用》

気仙沼地区教科用図書採択協議会





種目	生活	書名	No.1 はっけんずかん どうぶつ改訂版	発行者名	学研
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校学習指導要領「生活サ 生命・自然」の内容に合致しており、自然や生き物に興味関心をもって学習できる内容になっている。</li> <li>・様々な動物の特性と共に動物同士のかかわりや生命の誕生、母子のつながり等生活する姿がリアルに分かりやすく描かれているので、様々な視点から学習できる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の住む場所や種類毎に配列されていて、環境と生活様式を関連させて考えることができる。</li> <li>・見開き1ページの中にたくさんの扉があり、それにより内容の広がりがある。さらに次のページでは、動物の写真と共に大きさや生息地に関する説明があり分かりやすい。日本に住む動物も取り上げられている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分で扉を開いて読み進めることができ、児童が興味をもって主体的な学習ができる。</li> <li>・扉を開いて絵を見比べることで動物の動きや生態を知ることができ、児童の実態やねらいに合わせて工夫して指導することが可能である。また挿絵や写真が大きく適切に配置されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく温かみのある描画に加えて写真でも動物が示され、見やすく分かりやすい。</li> <li>・扉があるため文字はやや小さめであるが、見やすいフォントで表現されている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>様々な動物が自然の中で生活している様子を豊富な絵や写真を通して理解でき、児童の実態に合わせて多様な指導内容を盛り込むことができる内容になっている。</p>				
種目	生活・道徳	書名	No.24 うれしいさん かなしいさん	発行者名	東京子ども図書館
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人が「うれしい」「かなしい」気持ちになる行動を簡潔に描いており、学習指導要領で示されている「他者を思いやる心」を育むために、望ましい行動について理解しやすい。</li> <li>・「うれしい気持ち」になる場面が社会には数多くあることが、中央の大きく見開くページに描かれており、社会参加への希望をもたせることができる教材だと考える。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前からでも後ろからでも読むことができるうえに、途中から一部を読んでも内容把握ができる利点があるので、児童個々のねらいに合わせて教材化することができる。</li> <li>・誰でも経験し得ることが端的に配列されており、児童は自分の経験と照らし合わせながら学習することができる。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央のページに数多くのイラストがあり、それを言語化させることで思考力や想像力を養うという国語科のねらいも同時に達成できる。</li> <li>・構成の工夫があり、少人数での読み聞かせやロールプレイング等様々な形態で使用でき、人とのかかわりを学ぶ際の教材としても適している。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うれしい気持ち」は赤、「悲しい気持ち」は青で表現されていることが、理解の手助けになる。</li> <li>・改行が言葉の途中でなく、文章や文節の間になっているので、言葉の理解がしやすい。</li> <li>・余計な装飾のないイラストが、登場人物の心情把握に適している。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>児童にとって身近な事象を取り上げて文章が構成されており、楽しく学習できると考える。</p>				

種 目	生 活	書 名	No. 30 手づくりBOX しぜんで工作しよう	発行 者名	岩崎書店
評       価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料が身近な自然素材になっている。特に「流木」「砂」は海が近い本地域の学校ならではの活動にすることができる。</li> <li>・児童がふるさとの良さを感じる機会を設定することが期待できる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「森」「川」「海」と、材料収集の場を広げられるようになっている。多様な季節の自然と触れ合える素材を使っている。</li> <li>・比較的短時間で作れる工作が多数紹介されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作活動だけでなく、材料収集時に季節感を味わったり、体験的な活動を通して生活経験を増やしたりすることができる。</li> <li>・出来上がりがイメージしやすく、児童の制作意欲につながる。</li> <li>・数・長さ・形・大きさなど、算数との関連を図りやすい。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留意点は吹き出しで書かれていて、目を引く表示になっている。</li> <li>・制作の過程が図で示されており、分かりやすい。</li> <li>・全ページ厚紙で印刷され、屋外の使用にも耐えられる。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>この本を使って、本地区の自然環境を生かした活動が期待できる。ふるさとを学びのフィールドにすることで、児童が自分の住む地域に愛着を持ち、生き生きと活動に取り組めるような内容になっている。</p>				
種 目	生活・道徳	書 名	No. 23 木村裕一 しかけ絵本(12) げんきにごあいさつ	発行 者名	借成社
評       価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはよう」から「おやすみ」まで、1日の生活の中で使う大事な挨拶を探り上げている。</li> <li>・それぞれの場面で、どんな挨拶をどのように行えばよいのかを学ぶことができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きで場面が変わり、児童の興味・関心が持続できる工夫がされている。</li> <li>・家族と接したり、友人の家に出かけたり、誕生会に参加したりと日常起こりうる場面の設定になっており、それぞれの場面で必要な身近な人との挨拶が交わすような工夫がされている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の部分が太字で示されており、場に応じた挨拶が学べる工夫がされている。</li> <li>・主人公がそれぞれの場面で出会った人に対し、自分がどのような挨拶を行えばよいのかを考える場面があり、場に応じた挨拶の仕方を学ぶ工夫がされている。</li> <li>・扉をめくると場面が変わる仕掛けがあり、児童の興味・関心を喚起するよう工夫がされている。相手を意識しやすいように工夫がされている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩が柔らかく、やさしい絵で描かれており、児童が親しみやすい。</li> <li>・見開きで生活の一場面描かれている。ページをめくると場面が変わるよう工夫されており、分かりやすい。</li> <li>・文字が大きめで、かな文字を使用しているので、読みやすい。</li> <li>・紙質が堅ろうでめくりやすく、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>主人公の1日の生活の流れが児童にも分かりやすく身近なものである。絵が柔らかく、文字の大きさや扉のしかけも工夫されており、児童が興味・関心を持ち、楽しみながら、日常生活の様々な場面での挨拶を学べるものとなっている。</p>				

種目	生活・外国語	書名	No16 ARで英語が聞ける はじめてのえいご絵じてん	発行者名	三省堂
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの生活に身近なものの名前や簡単で親しみやすい歌が取り上げられ、英語に対する興味・関心を高められる内容である。</li> <li>基本的な語が精選され、読みと綴り、意味を一致させながら覚えられるようになっている。また、AR（拡張現実）アプリを用いてタブレット端末等で音声聞くことができ、英語の音声やリズムに親しむことができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある英語からスタートし、挨拶や会話表現へと段階的に学習を進めることができる。</li> <li>見開き2ページに1つのテーマが取り上げられており、語や文の数が適切である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の語を確認するクイズのコーナーが設けられており、楽しみながら学習を進めることができる。</li> <li>それぞれのコーナーに保護者向けの注釈があり、指導の参考にすることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イラストは色彩が鮮やかで分かりやすく描かれており、活字とのバランスも見やすいように配置されている。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>豊富なイラストを見ながら日常生活に関連した英語を学習することができ、英語の学習を始める児童にとって適した内容になっている。また、AR（拡張現実）アプリを活用してネイティブ・スピーカーの音声聞くことで、日本語との違いに気付きながら英語特有の音声やリズムに親しむことができる。</p>				
種目	理科	書名	No12うちでもこんな実験ができるんだ！	発行者名	主婦と生活社
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活で触れているものや自然の現象について興味・関心を持ち、楽しく実験遊びができるような内容で、科学に触れる機会を持てるものとなっている。</li> <li>実験遊びを通して、予想を立てたり、疑問を持たせたりしながら問題解決に向けて、意欲をもち取り組める内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実験遊びごとに見開きで、見やすくまとめられており、実験内容や準備物等についても理解しやすい配列になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「静電気の不思議1」「鉄と酸素の反応の不思議」などでは、身近なものを使って実験遊びが手軽にでき、興味・関心を持ち取り組めるよう配慮されている。</li> <li>適度に写真やイラストにより、実験のポイントについて紹介し、実験の取組にも配慮されたものになっている。</li> <li>「液体と固体の性質の不思議」ではスライムを作り、「氷の不思議2」ではアイスクリーム作りでは、実験を身近に感じ、楽しく実験できる内容になっている。</li> <li>右下にまとめられている科学ノートでは、科学的根拠が示され、発展的な学習にも対応できる内容になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活字は小さいが、ルビが振られており、読めるように工夫されている。</li> <li>実験のコツや分かりやすいイラストにより、実験に取り組むやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>様々な実験に対して、生徒が興味・関心をもち取り組めるよう工夫された内容になっている。 実験準備などもしやすい内容で、被災地においても手軽に取り組める内容になっている。</p>				